

表-1:1998年度のマクロ経済指数

国内総生産 (PIB)成長率 (増減率)	4.7 %
年間平均通貨換算レート	Bs. 5.50/US\$.
年末通貨換算レート	Bs. 5.63/US\$.
通貨切下げ率	4.56%
年末累積インフレ率	6.5 %
年間平均インフレ率	7.88%
国内総生産 (PIB)予測額	Bs. 47,067,000,000.00
輸入成長率	7.01%
国内税増収率	3.0 %
関税増収率	6.0 %
財政赤字	(国内総生産の) 4.1 %

表-2: 公共部門の確定予算

(単位: Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	15,184,865,456.00	一般支出	14,122,531,303.00
営業収入	5,216,254,958.00	給料・賃金	3,648,581,521.00
資産・サービス売却	341,343,988.00	社会保険負担金	1,285,315,945.00
税 収	6,153,939,256.00	社会補償金	82,764,788.00
還元税収	1,008,218,494.00	資産・サービス費	3,974,774,997.00
社会保険金	652,263,583.00	対外公共債務利子	588,085,360.00
一般無償供与	453,495,320.00	国内公共債務利子	535,066,098.00
一般振替え	68,799,717.00	一般振替え	1,642,583,563.00
*民間部門	68,799,717.00	*民間部門	1,059,620,862.00
*公共部門	0.00	*公共部門	582,962,701.00
その他一般収入	1,290,550,140.00	その他一般支出	2,365,359,031.00
資本収入	1,257,883,955.00	資本支出	4,430,800,076.00
資本供与	501,307,057.00	固定資本粗形成	4,065,073,623.00
資本金振替え	180,787,401.00	資本振替え	334,681,952.00
*民間部門	9,844,573.00	*民間部門	164,066,337.00
*公共部門	170,942,828.00	*公共部門	170,615,615.00
その他資本収入	575,789,537.00	その他資本支出	31,044,501.00
融 資	6,849,817,179.00	融資返済	4,739,235,251.00
国際融資	2,396,763,143.00	対外公共債務返済	837,031,628.00
国内融資	4,453,054,036.00	国内公共債務返済	1,247,321,801.00
		その他債務適用資金	2,654,881,822.00
収入総計	23,292,566,630.00	支出総計	23,292,566,630.00

表-3:公共部門の暫定予算

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	20,556,206,084.00	一般支出	19,493,871,931.00
営業収入	5,236,345,418.00	給料・賃金	3,648,581,521.00
資産・サービス売却	341,343,988.00	社会保険負担金	1,288,707,152.00
税収	7,897,572,018.00	社会補償金	82,764,788.00
還元税収	1,009,634,158.00	資産・サービス費	82,764,788.00
社会保険金	655,654,790.00	対外公共債務利子	588,085,360.00
一般無償供与	453,495,320.00	国内公共債務利	555,189,622.00
一般振替え	3,671,577,188.00	一般振替え	5,245,361,034.00
*民間部門	68,799,717.00	*民間部門	1,059,620,862.00
*公共部門	3,602,777,471.00	*公共部門	4,185,740,172.00
その他一般収入	1,290,583,204.00	その他一般支出	8,002,417,666.00
資本収入	2,736,093,972.00	資本支出	5,909,010,053.00
資本供与	501,307,057.00	固定資本金粗形成	4,065,073,623.00
資本金振替え	1,658,997,378.00	資本金振替え	1,812,891,929.00
*民間部門	9,844,573.00	*民間部門	164,066,337.00
*公共部門	1,649,152,805.00	*公共部門	1,648,825,592.00
その他資本収入	575,789,537.00	その他資本支出	31,044,501.00
融資	7,397,535,276.00	融資返済	5,286,953,348.00
国際融資	2,396,763,143.00	対外公共債務返済	837,031,628.00
国内融資	5,000,772,133.00	国内公共債務返済	1,276,049,775.00
		その他債務通用資金	3,173,871,945.00
収入総計	30,689,835,332.00	支出総計	30,689,835,332.00

表-4:中央政府の暫定予算

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	9,571,671,698.00	一般支出	10,359,895,979.00
営業収入	0.00	給料・賃金	1,480,281,372.00
資産・サービス売却	103,913,537.00	社会保険負担金	493,220,454.00
税収	7,897,572,018.00	社会補償金	6,736,833.00
還元税収	546,800,667.00	資産・サービス費	6,736,833.00
社会保険金	0.00	対外公共債務利子	485,460,175.00
一般無償供与	448,327,833.00	国内公共債務利子	356,557,349.00
一般振替え	5,235,051.00	一般振替え	5,002,127,039.00
*民間部門	0.00	*民間部門	875,371,815.00
*公共部門	5,235,051.00	*公共部門	4,126,755,224.00
その他一般収入	569,822,592.00	その他一般支出	2,528,775,924.00
資本収入	466,490,048.00	資本支出	1,660,537,463.00
資本供与	263,950,180.00	固定資本金粗形成	557,445,448.00
資本金振替え	4,431,335.00	資本金振替え	1,093,925,481.00
*民間部門	0.00	*民間部門	108,805,400.00
*公共部門	4,431,335.00	*公共部門	985,120,081.00
その他資本収入	198,108,533.00	その他資本支出	9,166,534.00
融資	4,768,533,438.00	融資返済	2,786,261,742.00
国際融資	1,809,260,797.00	対外公共債務返済	673,913,450.00
国内融資	3,059,371,504.00	国内公共債務返済	1,238,995,966.00
		その他債務通用資金	873,352,326.00
収入総計	14,806,695,184.00	支出総計	14,806,695,184.00

表-5:分権・分離機関の暫定予算

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	658,793,188.00	一般支出	678,563,150.00
営業収入	0.00	給料・賃金	217,119,625.00
資産・サービス売却	134,370,608.00	社会保険負担金	40,274,717.00
税収	0.00	社会福祉金	17,508,265.00
還元税収	0.00	資産・サービス費	17,508,265.00
社会保険金	0.00	対外公債債務利子	0.00
一般無償供与	2,489,587.00	国内公共債務利子	1,500.00
一般振替え	172,624,080.00	一般振替え	205,045,990.00
*民間部門	68,799,717.00	*民間部門	161,311,721.00
*公共部門	103,824,363.00	*公共部門	43,734,269.00
その他一般収入	349,308,913.00	その他一般支出	181,104,788.00
資本収入	1,086,791,803.00	資本支出	1,186,768,302.00
資本供与	4,498,808.00	固定資本粗形成	949,840,066.00
資本金振替え	1,056,586,935.00	資本金振替え	233,027,674.00
*民間部門	0.00	*民間部門	27,199,555.00
*公共部門	1,056,586,935.00	*公共部門	205,828,119.00
その他資本収入	25,706,060.00	その他資本支出	3,900,562.00
融資	198,239,310.00	融資返済	78,492,849.00
国際融資	0.00	対外公債債務返済	0.00
国内融資	198,239,310.00	国内公共債務返済	3,600,802.00
		その他債務適用資金	74,892,047.00
収入総計	1,943,824,301.00	支出総計	1,943,824,301.00

表-6:全県庁の暫定予算

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	2,585,191,140.00	一般支出	1,934,735,491.00
営業収入	0.00	給料・賃金	1,563,698,619.00
資産・サービス売却	57,072,955.00	社会保険負担金	283,400,689.00
税収	0.00	社会補償金	0.00
還元税収	334,829,241.00	資産・サービス費	0.00
社会保険金	0.00	対外公共債務利子	1,129,005.00
一般無償供与	0.00	国内公共債務利子	17,508,295.00
一般振替え	2,108,430,400.00	一般振替え	3,203,741.00
*民間部門	0.00	*民間部門	2,383,482.00
*公共部門	2,108,430,400.00	*公共部門	820,259.00
その他一般収入	84,858,544.00	その他一般支出	60,795,142.00
資本収入	540,259,681.00	資本支出	1,326,030,581.00
資本供与	217,243,342.00	固定資本金租形成	985,062,806.00
資本金振替え	256,310,879.00	資本金振替え	340,107,355.00
*民間部門	9,844,573.00	*民間部門	9,061,686.00
*公共部門	246,466,306.00	*公共部門	331,045,669.00
その他資本収入	66,705,460.00	その他資本支出	860,420.00
融資	404,854,380.00	融資返済	269,539,129.00
国際融資	124,486,826.00	対外公共債務返済	21,248,337.00
国内融資	280,367,554.00	国内融資返済	24,168,319.00
		その他債務通用資金	224,122,473.00
収入総計	3,530,305,201.00	支出総計	3,530,305,210.00

表-7:全地方自治体政府の暫定予算

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	1,159,234,947.00	一般支出	203,365,357.00
営業収入	0.00	給料・賃金	0.00
資産・サービス売却	0.00	社会保険負担金	83,312,608.00
税 収	0.00	社会補償金	0.00
還元税収	0.00	資産・サービス費	0.00
社会保険金	0.00	対外公共債務利子	0.00
一般無償供与	0.00	国内公共債務利子	0.00
一般振替え	1,159,234,947.00	一般振替え	0.00
*民間部門	0.00	*民間部門	0.00
*公共部門	1,159,234,947.00	*公共部門	0.00
その他一般収入	0.00	その他一般支出	120,052,749.00
資本収入	211,174,955.00	資本支出	1,074,872,127.00
資本供与	0.00	固定資本金租形成	1,073,259,549.00
資本金振替え	211,174,955.00	資本金振替え	1,612,578.00
*民間部門	0.00	*民間部門	0.00
*公共部門	211,174,955.00	*公共部門	1,612,578.00
その他資本収入	0.00	その他資本支出	0.00
融 資	286,386,679.00	融資返済	378,559,097.00
国際融資	152,762,500.00	対外公共債務返済	0.00
国内融資	133,624,179.00	国内公共債務返済	0.00
		その他債務適用資金	378,559,097.00
収入総計	1,656,796,581.00	支出総計	1,656,796,581.00

表-8:社会保険部門全体の暫定予算

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	727,244,027.00	一般支出	648,026,004.00
営業収入	0.00	給料・賃金	243,972,283.00
資産・サービス売却	45,986,888.00	社会保険負担金	61,153,978.00
税収	0.00	社会補償金	22,337,637.00
還元税収	0.00	資産・サービス費	22,337,637.00
社会保険金	655,654,790.00	対外公共債務利子	1,000,000.00
一般無償供与	2,518,000.00	国内公共債務利子	0.00
一般振替え	0.00	一般振替え	16,763,063.00
*民間部門	0.00	*民間部門	10,642,456.00
*公共部門	0.00	*公共部門	6,120,607.00
その他一般収入	23,084,349.00	その他一般支出	280,461,406.00
資本収入	18,587,217.00	資本支出	84,154,543.00
資本供与	0.00	固定資本金租形成	79,527,693.00
資本金振替え	0.00	資本金振替え	0.00
*民間部門	0.00	*民間部門	0.00
*公共部門	0.00	*公共部門	0.00
その他資本収入	18,587,217.00	その他資本支出	4,626,850.00
融資	127,940,444.00	融資返済	141,591,141.00
国際融資	0.00	対外公共債務返済	4,300,000.00
国内融資	127,940,444.00	国内公共債務返済	0.00
		その他債務適用資金	137,291,141.00
収入総計	873,771,688.00	支出総計	873,771,688.00



表-9:非金融部門公営企業全体の暫定予算

(単位:Bs.)

収入の部		合計		支出の部		合計	
一般収入		5,313,762,837.00		一般支出		5,240,385,685.00	
営業収入		4,934,340,326.00		給料・賃金		94,639,227.00	
資産・サービス売却		0.00		社会保険負担金		317,730,860.00	
税収		0.00		社会給費金		31,598,643.00	
還元税収		128,004,250.00		資産・サービス費		31,598,643.00	
社会保険金		0.00		対外公共債務利子		17,415,823.00	
一般無償供与		159,900.00		国内公共債務利子		6,333,064.00	
一般振替え		221,052,710.00		一般振替え		2,175,546.00	
*民間部門		0.00		*民間部門		1,800,546.00	
*公共部門		221,052,710.00		*公共部門		375,000.00	
その他一般収入		30,205,651.00		その他一般支出		4,738,893,879.00	
資本収入		266,126,166.00		資本支出		388,473,898.00	
資本供与		4,075,100.00		固定資本粗形成		373,224,961.00	
資本振替え		12,629,049.00		資本振替え		4,696,335.00	
*民間部門		0.00		*民間部門		0.00	
*公共部門		12,629,049.00		*公共部門		4,696,335.00	
その他資本収入		249,422,017.00		その他資本支出		10,552,602.00	
融資		241,163,531.00		融資返済		192,192,951.00	
国際融資		79,939,417.00		対外公共債務返済		55,370,271.00	
国内融資		161,224,114.00		国内融資返済		9,284,688.00	
				その他債務通用資金		127,537,992.00	
収入総計		5,821,052,534.00		支出総計		5,821,052,534.00	

表-10:公営金融部門全体の暫定予算

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	540,308,247.00	一般支出	428,900,265.00
営業収入	302,005,092.00	給料・賃金	48,870,395.00
資産・サービス売却	0.00	社会保険負担金	9,613,846.00
税金	0.00	社会補償金	4,583,410.00
還元税収	0.00	資産・サービス費	4,583,410.00
社会保険金	0.00	対外公共債務利子	78,080,357.00
一般無償供与	1,845,174.00	国内公共債務利子	174,789,414.00
一般振替え	5,000,000.00	一般振替え	16,045,655.00
*民間部門	0.00	*民間部門	8,110,842.00
*公共部門	5,000,000.00	*公共部門	7,934,813.00
その他一般収入	233,303,155.00	その他一般支出	92,333,778.00
資本収入	146,664,102.00	資本支出	188,173,139.00
資本供与	11,539,627.00	固定資本形成	46,713,100.00
資本振替え	117,864,225.00	資本振替え	139,522,506.00
*民間部門	0.00	*民間部門	18,999,696.00
*公共部門	117,864,225.00	*公共部門	120,522,810.00
その他資本収入	17,260,250.00	その他資本支出	1,937,533.00
融資	1,370,417,494.00	融資返済	1,440,316,439.00
国際融資	230,313,603.00	対外公共債務返済	82,199,570.00
国内融資	1,140,103,891.00	国内公共債務返済	0.00
		その他債務適用資金	1,358,116,869.00
収入総計	2,057,389,843.00	支出総計	2,057,389,843.00

表-11:非金融公共部門の財務予算フローチャート

(単位:Bs.)

項目	暫定予算	PIB %	確定予算	PIB %
A 一般収入	18,767,943,232.00	39.9	13,863,510,626.00	29.5
営業収入	4,584,808,049.00	9.7	4,565,924,977.00	9.7
資産・サービス売却	341,343,988.00	0.7	341,343,988.00	0.7
税収	7,066,905,143.00	15.0	5,557,969,051.00	11.8
還元税収	1,009,634,158.00	2.1	1,008,218,494.00	2.1
社会保険金	655,654,790.00	1.4	654,294,294.00	1.4
一般無償供与	453,495,320.00	1.0	453,495,320.00	1.0
一般転替え	3,455,858,475.00	7.3	82,054,257.00	0.2
*民間部門	68,799,717.00	0.1	68,799,717.00	0.1
*公共部門	3,380,908,294.00	7.2	7,104,076.00	0.0
*外国部門	6,150,464.00	0.0	6,150,464.00	0.0
その他収入	1,200,243,309.00	2.6	1,200,210,245.00	2.6
B 一般支出	17,407,163,778.00	37.0	12,502,731,172.00	26.6
報酬(給料・賃金)	4,896,415,205.00	10.4	4,895,054,709.00	10.4
資産・サービス費	3,922,599,744.00	8.3	3,922,599,744.00	8.3
間接税・還元税・料金その他	1,447,621,698.00	3.1	24,345,708.00	0.1
利子	919,124,094.00	2.0	900,207,958.00	1.9
*国内債務	380,400,208.00	0.8	361,484,072.00	0.8
*対外債務	538,723,886.00	1.1	538,723,886.00	1.1
社会保険提供	1,645,686,784.00	3.5	1,645,686,784.00	3.5
一般転替え	4,461,522,821.00	9.5	1,087,718,603.00	2.3
*民間部門	465,193,744.00	1.0	465,193,744.00	1.0
*公共部門	3,956,766,919.00	8.4	582,962,701.00	1.2
*外国部門	39,562,158.00	0.1	39,562,158.00	0.1
その他支出	114,193,432.00	0.2	27,117,666.00	0.1
C=A-B 経済成果:貯蓄増(貯蓄減)	1,360,779,454.00	2.9	1,360,779,454.00	1.9

=次頁に続く=

## 参考資料-I:1998年度予算

(表-11:非金融公共部門の財務フローチャート)

項目	暫定予算	PIB %	確定予算	PIB %
D 資本収入	2,507,862,354.00	5.3	1,034,538,441.00	2.2
自己資本金	352,433,983.00	0.7	352,443,983.00	0.7
資本供与	501,307,057.00	1.1	501,307,057.00	1.1
資本振替え	1,654,111,314.00	3.5	180,787,401.00	0.4
*民間部門	9,844,573.00	0.0	9,844,573.00	0.0
*公共部門	1,644,266,741.00	3.5	170,942,828.00	0.4
E 資本支出	5,848,220,115.00	4.0	4,374,896,202.00	9.3
実質直接投資	4,046,713,408.00	8.6	4,046,713,408.00	8.6
資本金振替え	1,801,506,707.00	3.8	328,182,794.00	0.7
*民間部門	157,567,179.00	0.3	157,567,179.00	0.3
*公共部門	1,643,939,528.00	3.5	170,615,615.00	0.4
F=C+D-E 財務成果:黒字(赤字)	(1,979,578,307.00)	-4.2	(1,979,578,307.00)	-4.2
財務調達必要資金	1,979,578,307.00	4.2	1,979,578,307.00	4.2
H 財務資金源	6,052,422,534.00	12.9	5,965,885,202.00	12.7
債権(融資金)回収	522,482,245.00	1.1	493,754,271.00	1.0
債権・証券の売却	1,023,000,000.00	2.2	1,023,000,000.00	2.2
その他財務資産の減少	1,150,839,034.00	2.4	1,150,839,034.00	2.4
振り込み	3,335,607,237.00	7.1	3,277,797,879.00	7.0
*国内	993,844,094.00	2.1	936,034,736.00	2.0
*外国	2,341,763,143.00	5.0	2,341,763,143.00	5.0
その他資金源	20,494,018.00	0.0	20,494,018.00	0.0
I 資金の用途	4,072,844,227.00	8.7	3,986,306,895.00	8.5
融資供与	522,482,245.00	1.1	493,754,271.00	1.0
債務返済	2,046,831,762.00	4.3	2,018,103,788.00	4.3
*国内	1,276,049,775.00	2.7	1,247,321,801.00	2.7
*外国	770,781,987.00	1.6	770,781,987.00	1.6
流動債務	833,212,900.00	1.8	833,212,900.00	1.8
その他用途	670,317,320.00	1.4	641,235,936.00	1.4

注: 1)中央銀行、国家金融システム基金、NANIBOの予算は含まれない。 2)PIB=国内総生産。

表-12: 1997-1998年度投資予算比較表

① 1997-1998年度投資予算 (単位: Bs.)

行政レベル	1997	1998
中央政府	328,370,775.00	356,007,525.00
- 副大統領府		6,303,513.00
- 省庁(*)	328,370,775.00	337,700,257.00
- 選挙委員会		12,003,755.00
分権・分離機関	72,173,819.00	162,664,006.00
- 分権機関	72,173,819.00	162,664,006.00
国営企業	304,352,972.00	69,433,619.00
- 国営企業	304,352,972.00	69,433,619.00
県庁関係	1,318,883,383.00	1,793,524,354.00
- 県庁	725,048,008.00	980,991,027.00
- 道路公団(プロジェクト)	520,569,634.00	596,662,929.00
- 県道路局		119,899,894.00
- 県規模の分権機関	73,265,741.00	95,970,504.00
地方自治体	1,152,191,851.00	1,276,749,398.00
- 地方自治体政府: 確認済みプロジェクト	915,610,829.00	1,033,495,814.00
- 地方自治体政府: 将来確認のプロジェクト	125,966,000.00	205,773,178.00
- 現地規模の公営企業	110,615,022.00	37,480,406.00
投資計画総計	3,175,972,800.00	3,658,378,902.00

(\*)中央政府レベルの投資金とピロコマヨ/ベルメ技術事務所の投資予算を含む。

② 各種基金の資本金振替え

- 社会投資基金 (FIS)	25,893,873.00	3,023,943.00
- 国家地方開発基金 (FNDR)	20,438,467.00	24,713,000.00
- 農民開発基金 (FDC)	18,005,679.00	12,026,792.00
- 国家環境保護基金 (FONAMA)	12,086,556.00	
資本金振替え総計	76,424,575.00	39,763,735.00

=次頁に続く=

## 参考資料-1:1998年度予算

(表-12: 1997-1998年度投資予算比較表)

## ③ 公共投資予算のサマリー

	1997	1998
投資総額 + 振替え総額 + 地方自治体政府宛未割当分	3,252,397,375.00	3,698,142,637.00
(マイナス)地方自治体政府宛未割当分	125,966,000.00	205,773,178.00
投資 + 振替えの総計	3,126,431,375.00	3,492,369,459.00
(プラス)道路維持管理プログラム	138,859,381.00	
(マイナス)道路維持管理プログラム		119,899,894.00
公共投資予算総額	3,265,290,756.00	3,372,469,565.00

MINISTERIO DE HACIENDA  
VICEMINISTERIO DE PRESUPUESTO Y CONTADURIA

表-13: 中央政府の月別国内税収予定額  
PRESUPUESTO DE INGRESOS MENSUALES - IMPUESTOS INTERNOS 1998

MESES	TGN NETO A	IEHD. (*) YPFB B	IVA-IT MDO INTERNO C	T.G.N. NETO D=A+B+C	TOTAL VALORES E	COPART YPFB IVA-IT MDO. INT. F	COPART. S.N.I.I. MUNICIPAL. UNIVERS. G	COPART. I.E.H.D. PREFECT. DEPTO. H	TOTAL GLOBAL I=D+E+F+G+H
ENERO	295,249,523	58,263,828	13,324,679	366,838,031	71,766,504	4,441,560	96,983,875	19,421,276	559,471,246
FEBRERO	264,927,179	51,832,077	9,082,507	325,841,763	62,824,125	3,027,502	87,054,200	17,277,359	455,021,948
MARZO	229,243,417	56,258,017	11,518,074	297,029,509	73,364,285	3,839,358	75,082,561	18,756,006	468,071,719
ABRIL	319,696,481	61,405,818	14,891,580	395,993,859	52,171,188	4,983,860	105,659,226	20,468,606	579,255,739
MAYO	467,471,299	62,562,013	14,703,369	544,736,681	60,060,096	4,801,123	154,824,553	20,854,004	785,375,451
JUNIO	262,105,270	60,829,770	12,804,595	335,539,636	63,715,968	4,768,198	86,553,517	20,209,923	510,287,241
JULIO	329,222,266	73,459,286	16,420,179	419,101,751	63,833,126	5,473,393	108,042,156	24,466,429	670,335,955
AGOSTO	280,078,831	69,832,522	13,541,787	363,453,140	67,803,141	4,513,929	92,550,959	23,277,507	551,559,976
SEPTIEMBRE	266,902,828	64,607,894	14,251,840	345,762,563	66,513,181	4,750,613	85,127,078	21,535,965	525,623,401
OCTUBRE	313,280,516	72,850,537	16,074,851	402,205,904	68,673,387	5,358,284	103,575,929	24,283,512	604,997,016
NOVIEMBRE	260,856,854	70,509,220	15,330,944	346,697,018	74,775,540	5,110,315	85,863,482	23,503,073	535,949,429
DICIEMBRE	304,784,119	72,872,749	14,151,148	391,808,016	72,266,627	4,717,049	100,751,036	24,290,916	593,853,545
TOTAL	3,593,818,584	775,093,731	166,095,554	4,535,007,869	797,807,168	55,365,185	1,185,068,573	258,364,977	6,831,613,372

(単位: Bs.)

- 注記: TGN NETO (A): 国庫/国内税収入額  
 IEHD YPFB (B): 行憲製品特税(行憲公社分)(注: 民間企業分も含む)  
 IVA-IT YPFB MDO. INTERNO (C): 付加価値税-車引税(行憲公社国内税収入額)  
 TOTAL TGN NETO (E=A+B+C): 国庫/国内税収入額  
 TOTAL VALORES (E): 行憲券・印税収入額  
 COPART. YPFB IVA-IT MDO. INTERNO (F): 共同参加配分金(行憲公社国内税収入額)  
 COPART. S. N. I. I. MUNICIPAL. UNIVERS. (G): 国庫/行憲券・地方自治体・大学の共同参加配分金  
 COPART. IEHD PREFECT DEPTO (H): 行憲製品特税/県庁の共同参加配分金  
 TOTAL GLOBAL (J=E+F+G+H): 国内税収入額

表-14: 月別関稅收入予定額  
PROYECCION DE INGRESOS MENSUALES - RENTA ADUANERA 1998  
(En Bolivianos)

(Unit: Bs.)

MESES	TESORO GRAL. DE LA NACION (A)	OTROS INGRESOS (B)	TOTAL EFECTIVO C=(A+B)	VALORES (PAPELES) (D)	COPARTICIP. MUNICIP. UNIVER. (E)	TOTAL F=(C+D+E)
ENERO	41,562,566	334,673	41,897,239	2,699,301	13,854,189	58,450,729
FEBRERO	41,829,386	365,282	42,218,668	2,386,261	13,943,129	58,548,057
MARZO	33,355,794	575,579	33,971,373	2,628,101	11,131,631	47,731,405
ABRIL	41,325,539	169,813	41,575,352	1,366,684	13,795,150	56,737,216
MAYO	37,293,587	318,963	37,612,550	3,691,336	12,431,186	53,735,082
JUNIO	38,218,393	351,220	38,569,613	2,230,625	12,739,464	53,539,702
JULIO	41,136,416	291,196	41,427,612	2,812,705	13,712,159	57,952,455
AGOSTO	36,241,110	815,326	37,056,435	3,481,857	12,080,370	52,618,662
SEPTIEMBRE	46,297,465	858,402	47,155,867	4,187,201	15,432,488	66,775,556
OCTUBRE	50,594,494	1,408,824	52,003,318	2,610,134	16,864,831	71,478,283
NOVIEMBRE	40,525,687	700,028	41,225,715	2,467,255	13,508,562	57,201,532
DICIEMBRE	39,573,814	382,834	39,956,649	2,298,248	13,191,271	55,446,168
TOTAL	438,054,250	6,616,140	434,670,390	32,859,707	162,684,750	650,214,847

TESORO GENERAL DE LA NACION (A): 國庫總務局      OTROS INGRESOS (B): その他收入  
 TOTAL EFECTIVO C=(A+B): 実質収入總額      VALORES (PAPELES) (D): 有價証券  
 COPARTICIP. MUNICIP/UNIVER (E): 共同參加配分金      地方自治体政府/人学  
 TOTAL G=(C+D+E): 總額



表-15: 地方自治体政府宛ての共同参加配分金

(単位: Bs.)

県	人口	国内税徴収分	関税徴収分	合計
チュキサーカ	453,756	70,128,950.00	9,197,515.00	79,326,465.00
ラパス	1,900,786	293,770,503.00	38,528,440.00	332,298,943.00
コチャバンバ	1,110,205	171,584,536.00	22,503,572.00	194,088,108.00
オルロ	340,114	52,565,339.00	6,894,024.00	59,459,363.00
ポトシー	645,889	99,823,517.00	13,092,005.00	112,915,522.00
タリーハ	291,407	45,037,568.00	5,906,743.00	50,944,311.00
サンタクルス	1,364,389	210,869,212.00	27,655,814.00	238,525,026.00
ベニ	276,174	42,683,276.00	5,597,977.00	48,281,253.00
バンド	38,072	5,884,105.00	771,710.00	6,655,815.00
総計	6,420,792	992,347,006.00	130,147,800.00	1,122,494,806.00

表-16: 国立大学宛ての共同参加配分金

(単位: Bs.)

大学名	人口	国内税徴収分	関税徴収分	合計
サン・フランシスコ・ハビエル	453,756	17,532,238.00	2,299,379.00	19,831,617.00
サン・アンドレス	1,900,786	73,442,626.00	9,632,111.00	83,074,737.00
サン・シモン	1,110,205	42,896,134.00	5,625,892.00	48,522,026.00
テクニカ・デ・オルロ	340,114	13,141,335.00	1,723,506.00	14,864,841.00
トマス・フリーアス	645,889	24,955,878.00	3,273,001.00	28,228,879.00
フアン・ミサエル・サラ・チョ	291,407	11,259,392.00	1,476,686.00	12,736,078.00
ガブリエル・レネ・モレーノ	1,364,389	52,717,303.00	6,913,953.00	59,631,256.00
テクニカ・デル・ベニ	276,174	10,670,819.00	1,399,494.00	12,070,313.00
デ・バンド	38,072	1,171,027.00	192,928.00	1,663,955.00
総計	6,420,792	248,086,752.00	32,536,950.00	280,623,702.00

表-17:1998年度補正予算案

(単位:Bs.)

	確定予算	確定追加予算	増率 (%)
	23,292,566,630.00	1,793,077,260.00	7.7
収入の部	(US\$. 4,196,858,852.00)	(US\$. 323,076,984.00)	7.7
一般収入	15,184,865,456.00	516,849,655.00	3.4
資本収入	1,257,883,995.00	124,180,700.00	9.9
融資	6,849,817,179.00	1,152,046,905.00	16.8
	23,292,566,630.00	1,793,077,260.00	7.7
支出の部	(US\$. 4,196,858,852.00)	(US\$. 323,076,984.00)	7.7
一般支出	14,122,531,303.00	629,555,645.00	4.5
資本支出	4,430,800,076.00	621,527,896.00	14.0
融資返済	4,739,235,251.00	541,993,719.00	11.4

表-18:追加資金額と振替資金額(1998年度補正予算案)

	ボリアール (Bs.)	ドル (US\$.)
追加資金総額	1,793,077,260.00	323,076,984.00
公共投資	388,997,130.00	70,089,572.97
国際融資	275,985,080.00	49,727,041.44
無償協力	113,012,050.00	20,362,531.53
一般支出	1,404,080,130.00	252,987,410.80
国際融資	263,746,667.00	47,521,921.98
無償協力	19,795,840.00	3,566,818.02
中央政府資金	719,440,738.00	129,628,961.80
共同参加配分金	34,375,000.00	6,193,693.69
国庫準備資金	333,678,105.00	60,122,181.08
その他	33,043,780.00	5,953,834.23
振替資金総額	86,500,000.00	15,585,585.59
給料・賃金項目へ振替え	24,200,000.00	4,360,360.36
公共投資から他の項目へ振替え	62,300,000.00	11,225,225.23

表-19:公共投資用国際融資の振分け(1998年度補正予算案)

公共機関名	ボツヴァナ (Bs.)	米ドル (US\$.)
教育・文化スポーツ省	5,264,472.00	948,553.00
貿易・投資省	4,965,550.00	894,694.00
法務・人権省	3,835,866.00	691,147.00
住居・生活基盤整備省	5,150,294.00	927,981.00
保健・年金省	20,343,810.00	3,665,551.00
農牧・農村開発省	2,554,471.00	460,265.00
持続開発・企画省	11,651,310.00	2,099,335.00
道路公団 (SNC)	56,924,071.00	10,256,589.00
国家環境基金(FONAMA)	1,863,235.00	335,718.00
国立農地改革院(INRA)	19,260,632.00	3,470,384.00
社会開発基金 (FIS)	1,182,435.00	213,051.00
チュキサカ県庁	990,000.00	178,378.00
コチャバンバ県庁	21,251,950.00	3,829,180.00
オルロ県庁	344,529.00	62,077.00
ポトシ県庁	222,211.00	40,038.00
サンタクルス県庁	247,500.00	44,595.00
バンド県庁	162,415.00	29,264.00
国営電力公社 (ENDE)	2,565,000.00	462,162.00
鉱山公社 (COMIBOL)	1,763,735.00	317,790.00
市営水道公社(SEMAPA)	5,493,833.00	989,880.00
農民開発基金 (FDC)	5,020,729.00	904,636.00
スクレ市役所	11,264,186.00	2,029,583.00
ラパス市役所	13,936,076.00	2,511,005.00
コチャバンバ市役所	16,744,101.00	3,016,955.00
オルロ市役所	10,529,499.00	1,897,207.00
ポトシ市役所	10,635,458.00	1,916,299.00
タリハ市役所	15,648,910.00	2,819,623.00
サンタクルス市役所	16,606,607.00	2,991,100.00
トリニダ市役所	6,125,880.00	1,103,762.00
コビハ市役所	3,442,315.00	620,237.00
合計	275,985,080.00	49,727,041.00

表-20:一般支出用国際融資の振分け(1998年度補正予算案)

公共機関名	ボリビア・ボソ (BS.)	米ドル (US\$.)
地方開発基金 (FNDR)	22,286,812.00	4,015,642.00
農民開発基金 (FDC)	9,782,060.00	1,762,533.00
社会投資基金 (FIS)	660,234.00	118,961.00
ボリビア国家金融 (NAFIBO)	4,568,661.00	823,182.00
農地改革院 (INRA)	5,081,033.00	915,501.00
部門規制システム (SIRESE)	20,077,410.00	3,617,551.00
金融規制システム (SIREFI)	11,977,712.00	2,158,146.00
地理サービス局 (SE-GEOMAP)	5,899,110.00	1,062,903.00
国防省	138,307,661.00	24,920,299.00
大蔵省	22,089,535.00	3,980,064.00
経済開発省	703,753.00	126,802.00
保健・年金省	550,000.00	99,099.00
司法権	7,086,574.00	2,276,860.00
立法権	14,676,294.00	2,644,377.00
合計	263,746,667.00	47,521,922.00

表-21:国庫追加収入金の振分け(1998年度補正予算案)

(密輸改造車の特設通関とポリザニア国家金融(NAFIBO)の営業利益)

単位(Bs.)

公共機関名	人件費	その他経費	合計
内務省		6,000,000.00	6,000,000.00
1. 国家警察		6,000,000.00	6,000,000.00
教育・文化スポーツ省		500,000.00	500,000.00
国防省		11,000,000.00	11,000,000.00
大統領府		834,655.00	834,655.00
1. エル・アルト緊急対策事務所		613,855.00	613,855.00
2. 戦略問題局		220,800.00	220,800.00
大蔵省		61,001,946.00	61,001,946.00
1. 密輸改造車通関事業費		2,055,263.00	2,055,263.00
2. 老人保険		11,738,750.00	11,738,750.00
3. 大学補助金		24,847,846.00	24,847,846.00
4. 公共債務返済金		22,360,087.00	22,360,087.00
経済開発省		1,829,246.00	1,829,246.00
住居・生活基盤整備省	72,046.00	151,954.00	224,000.00
保健・年金省	271,975.00	2,947,317.00	3,219,292.00
1. 国家身障者委員会	46,255.00	176,517.00	222,992.00
2. 予防接種事業	225,720.00	2,770,800.00	2,996,520.00
持続開発・企画省		925,000.00	925,000.00
労働・小規模企業省		660,000.00	660,000.00
立法権	3,046,166.00	5,887,222.00	8,933,388.00
1. 上院議会	611,667.00	4,500,000.00	5,111,667.00
2. 国民擁護局	2,434,499.00	1,798,312.00	5,637,746.00
司法権	3,839,434.00	1,798,312.00	5,637,746.00
1. 立憲審議法廷	1,339,434.00	798,312.00	2,137,746.00
2. 司法審議委員会	2,500,000.00	1,000,000.00	3,500,000.00
陸・航空省 (AASANA)		7,469,000.00	7,469,000.00
国家環境基金 (FONAMA)		500,000.00	500,000.00
銀行監督局	411,364.00		411,364.00
総額	7,640,985.00	101,504,652.00	109,145,637.00

表-22: 中央政府の追加支出予算(1998年度補正予算案) 参考資料-II: 1998年度補正予算案  
(単位: Bs. 1,000)

公共機関名	一般支出	%	公共投資	%	合計
内務省	18,121.0	100	0.0	0.0	18,121.0
教育・文化スポーツ省	21,232.0	45.03	25,915.0	54.97	47,147.0
貿易・投資省	2,795.0	28.20	7,118.0	71.80	9,913.0
国防省	215,699.0	100	0.0	0.0	215,699.0
大統領府	73,774.0	100	0.0	0.0	73,774.0
法務・人権省	0.0	0.0	3,836.0	100	3,836.0
大蔵省	301,256.0	100	0.0	0.0	301,256.0
経済開発省	74,430.0	81.41	17,001.0	18.59	91,431.0
住居・生活基盤整備省	224.0	3.91	5,500.0	96.09	5,724.0
保健・年金省	3,769.0	11.93	27,811.0	88.07	31,580.0
農牧・農村開発省	4,494.0	63.76	2,554.0	36.24	7,048.0
持続開発・企画省	41,129.0	52.49	37,220.0	47.51	78,349.0
労働・小規模企業省	4,180.0	100	0.0	0.0	4,180.0
立法権	12,106.0	100	0.0	0.0	12,106.0
司法権	23,280.0	100	0.0	0.0	23,280.0
国家選挙委員会	1,805.0	100	0.0	0.0	1,805.0
共和国会計検査院	15,541.0	100	0.0	0.0	15,541.0
合計	813,835.0		126,955.0		940,790.0
	US\$. 146,636,937.- US\$. 22,874,775.- US\$. 169,511,712.-				

表-23: 県庁、公共投資予算から他項目への振替額(1998年度補正予算案)  
(単位: Bs.)

県庁	公共投資予算 ⇨		⇨ 他の予算項目
	国内資金	外国資金	
チュキサカ	6,437,828.00		6,437,828.00
ラパス	359,450.00	675,000.00	1,034,450.00
オルロ	4,518,236.00		4,518,236.00
ポトシ	165,000.00		165,000.00
タリハ	200,000.00		200,000.00
サンタクルス	1,036,035.00	7,000,000.00	8,036,035.00
バンド		723,097.00	723,097.00
合計	12,716,549.00	8,398,097.00	21,114,646.00

表-24:1998年上半期の県別公共投資実績

(単位:Bs.)

県	予算額	実績額	(%)
チュキサカ	79,010,000.00	11,576,000.00	14.65
ラパス	176,575,000.00	13,694,000.00	7.76
コチャバンバ	106,827,000.00	12,448,000.00	11.65
サンタクルス	197,038,000.00	78,806,000.00	40.00
オルロ	101,512,000.00	8,331,000.00	8.21
ポトシ	104,690,000.00	13,581,000.00	12.97
タリハ	101,642,000.00	22,004,000.00	21.65
ベニ	38,648,000.00	5,973,000.00	15.45
バンド	32,256,000.00	5,966,000.00	18.50
合計	938,198,000.00	172,379,000.00	18.37

表-25:1998年度公共投資の県別/機関別実績と1999年度予算案

単位:US\$.

	1998年度予算	1998年度実績	実施%	1999年度予算	比率%
チュキサカ	40,228,000.-	28,733,000.-	71.4	40,032,000.-	6.7
ラパス	107,701,000.-	96,114,000.-	89.2	103,822,000.-	17.3
コチャバンバ	105,860,000.-	79,255,000.-	74.8	103,395,000.-	17.2
ポトシ	47,156,000.-	32,061,000.-	68.0	51,256,000.-	8.5
オルロ	52,293,000.-	36,468,000.-	69.7	48,712,000.-	8.1
サンタクルス	101,613,000.-	78,380,000.-	77.1	93,372,000.-	15.6
タリハ	50,445,000.-	49,479,000.-	98.1	51,730,000.-	8.6
ベニ	35,466,000.-	23,483,000.-	66.2	39,859,000.-	6.6
バンド	16,787,000.-	11,095,000.-	66.1	11,867,000.-	2.0
小計	557,549,000.-	435,066,000.-	78.0	544,045,000.-	90.7
中央政府	55,328,000.-	67,015,000.-	121.1	55,554,000.-	9.3
合計	612,877,000.-	502,083,000.-	81.9	599,599,000.-	100.0

表-26:1998年度の資金源別投資と1999年度予算案

(単位:US\$.)

資金源	1998年度実績		1999年度予算	
	実施額	実施率(%)	予算額	配分率(%)
国内資金	278,100,000.00	79.5	322,600,000.00	63.8
国庫	33,400,000.00	57.1	29,000,000.00	5.0
国庫/有価証券	2,700,000.00	73.9	600,000.00	0.1
県補償基金	10,400,000.00	68.5	15,100,000.00	2.5
対価証券	14,000,000.00	140.0	25,500,000.00	4.3
石油製品特別税	17,900,000.00	81.0	29,600,000.00	4.9
共同参加配分金	124,700,000.00	94.1	111,400,000.00	18.6
その他	4,500,000.00	44.2	700,000.00	0.1
外国資金	223,900,000.00	86.0	276,900,000.00	46.2
国際融資	168,100,000.00	86.6	206,900,000.00	34.5
無償資金協力	55,700,000.00	80.7	70,000,000.00	11.7
合計	502,000,000.00	81.9	599,600,000.00	100.0

表-27:1998年度レベル別公共投資と1999年度予算案

(単位:US\$.)

レベル	1998年度実績		1999年度予算	
	実施額	実施率(%)	予算額	配分率(%)
中央政府	159,800,000.00	76.3	214,700,000.00	35.8
全省/分権機関	154,600,000.00	78.5	210,500,000.00	35.1
国営企業	5,200,000.00	41.3	4,200,000.00	0.7
地方協調融資	98,700,000.00	111.9	101,300,000.00	16.9
県庁	125,400,000.00	66.7	169,100,000.00	28.2
地方自治体政府	117,900,000.00	92.7	114,500,000.00	19.1
合計	501,800,000.00	81.9	599,600,000.00	100.0



表-28:1999年度のマクロ経済指数

国内総生産 (PIB)成長率	5.2 %
国内総生産 (PIB)予測額	Bs. 52,720,000,000.00
年末累積インフレ率	5.5 %
年間平均通貨換算レート	Bs. 5.71/US\$.
年間平均通貨切下げ率	3.8 %
国内税増収率	9.0 %
関税増収率	17.0 %
財政赤字	(国内総生産の) 3.6 %

表-29:公共部門の確定予算

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	16,224,615,391.00	一般支出	15,746,499,425.00
営業収入	4,985,427,498.00	給料・賃金	4,607,902,808.00
資産・サービス売却	441,742,811.00	社会保険負担金	245,725,259.00
税収	7,181,421,708.00	社会補償金	153,304,621.00
還元税収	819,940,536.00	資産・サービス費	4,346,681,219.00
社会保険金	523,028,008.00	対外公共債務利子	649,725,375.00
一般無償供与	686,889,026.00	国内公共債務利子	501,036,049.00
一般振替え	105,090,452.00	社会保険提供	2,034,087,583.00
*民間部門	105,090,452.00	一般振替え	2,597,535,304.00
*公共部門	0.00	*民間部門	1,926,913,225.00
*外国部門	0.00	*公共部門	606,194,657.00
その他一般収入	1,482,075,352.00	*外国部門	64,427,422.00
資本収入	1,721,001,101.00	その他一般支出	610,501,207.00
資本供与	461,275,655.00	資本支出	4,580,048,697.00
資本金振替え	2,155,800.00	固定資本金組形成	4,275,895,191.00
*民間部門	2,155,800.00	資本振替え	262,576,838.00
*公共部門	0.00	*民間部門	262,576,838.00
*外国部門	0.00	*公共部門	0.00
その他資本収入	1,257,569,646.00	*外国部門	0.00
融資	6,314,352,341.00	その他資本支出	41,576,668.00
国際融資	1,879,233,316.00	融資返済	3,933,420,711.00
国内融資	4,435,119,025.00	対外公共債務返済	955,718,153.00
収入総計	24,259,968,833.00	その他債務通用資金	2,937,702,558.00
		支出総計	24,259,968,833.00

表-30: 公共部門の暫定予算

(単位: Bs.)

収入の部		合計		支出の部		合計	
一般収入	22,819,410,673.00			一般支出	22,341,294,707.00		
営業収入	5,048,795,731.00			給料・賃金	4,607,902,808.00		
資産・サービス売却	441,742,811.00			社会保険負担金	527,317,341.00		
税収	8,977,215,508.00			社会補償金	153,304,621.00		
還元税収	819,940,536.00			資産・サービス費	4,346,681,219.00		
社会保険金	804,620,090.00			対外公共債務利子	649,725,375.00		
一般無償供与	685,889,026.00			国内公共債務利	564,404,282.00		
一般振替え	4,559,131,619.00			社会保険提供	2,034,087,583.00		
*民間部門	105,090,452.00			一般振替え	7,051,576,471.00		
*公共部門	4,454,041,167.00			*民間部門	1,926,913,225.00		
*外国部門	0.00			*公共部門	5,060,235,824.00		
その他一般収入	1,482,075,352.00			*外国部門	6,427,422.00		
				その他一般支出	2,406,295,007.00		
資本収入	3,305,839,431.00			資本支出	6,164,887,027.00		
資本供与	461,275,655.00			固定資本粗形成	4,275,895,191.00		
資本金振替え	1,586,994,130.00			資本金振替え	1,847,415,168.00		
*民間部門	2,155,800.00			*民間部門	262,576,838.00		
*公共部門	1,584,838,330.00			*公共部門	1,584,838,330.00		
*外国部門	0.00			*外国部門	0.00		
その他資本収入	1,257,569,646.00			その他資本支出	41,576,668.00		
融資	6,543,197,477.00			融資返済	4,162,265,847.00		
国際融資	1,879,233,316.00			対外公共債務返済	955,718,153.00		
国内融資	4,663,964,161.00			その他債務通用資金	3,166,547,694.00		
収入総計	32,668,447,581.00			支出総計	32,668,447,581.00		

表-31:中央政府の暫定予算

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	11,583,818,972.00	一般支出	12,605,937,724.00
営業収入	0.00	給料・賃金	1,946,188,711.00
資産・サービス売却	99,561,489.00	社会保険負担金	135,643,653.00
税 収	8,958,525,966.00	社会補償金	90,000,000.00
還元税収	420,816,357.00	資産・サービス費	1,225,122,745.00
社会保険金	0.00	対外公債債務利子	538,958,159.00
一般無償供与	671,741,857.00	国内公債債務利子	361,599,803.00
一般振替え	593,068,368.00	社会保険提供	2,000,029,183.00
*民間部門	0.00	一般振替え	6,227,059,430.00
*公共部門	539,068,368.00	*民間部門	1,669,320,677.00
*外国部門	0.00	*公共部門	4,495,671,178.00
その他一般収入	894,104,935.00	*外国部門	62,067,575.00
資本収入	1,151,056,477.00	その他一般支出	81,346,040.00
資本供与	234,452,247.00	資本支出	1,748,506,041.00
資本金振替え	70,432,735.00	固定資本金形成	675,489,964.00
*民間部門	0.00	資本金振替え	1,055,604,836.00
*公共部門	70,432,735.00	*民間部門	143,720,000.00
*外国部門	0.00	*公共部門	911,884,836.00
その他資本収入	846,171,495.00	*外国部門	0.00
融 資	4,442,329,458.00	その他資本支出	17,411,241.00
国際融資	1,382,957,954.00	融資返済	2,822,761,142.00
国内融資	3,059,371,504.00	対外公債債務返済	836,919,370.00
収入総計	17,177,204,907.00	その他債務適用資金	1,985,841,772.00
		支出総計	17,177,204,907.00

表-32:分権・分離機関の暫定予算

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	717,536,974.00	一般支出	733,612,922.00
営業収入	0.00	給料・賃金	247,205,752.00
資産・サービス売却	192,681,840.00	社会保険負担金	29,692,229.00
税収	0.00	社会補償金	11,906,538.00
還元税収	0.00	資産・サービス費	269,445,868.00
社会保険金	0.00	対外公共債務利子	0.00
一般無償供与	12,301,995.00	国内公共債務利子	452,600.00
一般振替え	224,473,643.00	社会保険提供	0.00
*民間部門	104,757,952.00	一般振替え	132,986,335.00
*公共部門	119,715,691.00	*民間部門	102,245,700.00
*外国部門	0.00	*公共部門	30,337,755.00
その他一般収入	288,079,496.00	*外国部門	402,880.00
資本収入	1,080,342,450.00	その他一般支出	41,923,670.00
資本供与	39,765,057.00	資本支出	1,187,764,481.00
資本金振替え	960,839,584.00	固定資本金形成	808,780,050.00
*民間部門	0.00	資本金振替え	374,338,011.00
*公共部門	960,839,584.00	*民間部門	89,390,939.00
*外国部門	0.00	*公共部門	284,947,072.00
その他資本収入	79,737,809.00	*外国部門	0.00
融資	211,759,902.00	その他資本支出	4,646,420.00
国際融資	0.00	融資返済	88,261,853.00
国内融資	211,759,902.00	対外公共債務返済	0.00
収入総計	2,009,639,326.00	その他債務通用資金	88,261,853.00
		支出総計	2,009,639,326.00

参考資料-IV:1999年度予算

表-33:全県庁の暫定予算

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	2,653,000,891.00	一般支出	2,120,501,902.00
営業収入	0.00	給料・賃金	1,719,534,224.00
資産・サービス売却	61,534,041.00	社会保険負担金	316,916,685.00
税 収	0.00	社会福祉金	0.00
還元税収	271,119,929.00	資産・サービス費	51,024,809.00
社会保険金	0.00	対外公共債債務利子	6,489,322.00
一般無償供与	0.00	国内公共債債務利子	22,963,934.00
一般振替え	2,284,509,391.00	社会保険提供	0.00
*民間部門	332,500.00	一般振替え	2,322,256.00
*公共部門	2,284,176,891.00	*民間部門	2,202,256.00
*外国部門	0.00	*公共部門	120,000.00
その他一般収入	35,837,530.00	*外国部門	0.00
資本収入	480,628,623.00	その他一般支出	1,250,672.00
資本供与	161,226,293.00	資本支出	1,228,533,409.00
資本金振替え	215,385,119.00	固定資本金粗形成	938,098,627.00
*民間部門	2,155,800.00	資本金振替え	288,480,983.00
*公共部門	213,229,319.00	*民間部門	17,416,790.00
*外国部門	0.00	*公共部門	271,064,193.00
その他資本収入	104,017,211.00	*外国部門	0.00
融 資	339,278,474.00	その他資本支出	1,973,799.00
国際融資	97,375,642.00	融資返済	123,852,677.00
国内融資	241,902,832.00	対外公共債債務返済	21,513,679.00
収入総計	3,472,907,988.00	その他債務通用資金	102,338,998.00
		支出総計	3,472,907,988.00

表-34:全地方自治体政府の暫定予算

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	1,320,883,411.00	一般支出	219,220,849.00
営業収入	0.00	給料・賃金	0.00
資産・サービス売却	0.00	社会保険負担金	0.00
税 収	18,689,542.00	社会補償金	0.00
還元税収	0.00	資産・サービス費	179,963,575.00
社会保険金	0.00	対外公共債務利子	0.00
一般加償供与	0.00	国内公共債務利子	39,257,274.00
一般振替え	1,275,890,422.00	社会保険提供	0.00
*民間部門	0.00	一般振替え	0.00
*公共部門	1,275,890,422.00	*民間部門	0.00
*外国部門	0.00	*公共部門	0.00
その他一般収入	26,303,447.00	*外国部門	0.00
資本収入	311,849,476.00	その他一般支出	0.00
資本供与	0.00	資本支出	1,350,499,544.00
資本金振替え	311,849,476.00	固定資本金形成	1,328,981,902.00
*民間部門	0.00	資本金振替え	21,517,642.00
*公共部門	311,849,476.00	*民間部門	1,500,000.00
*外国部門	0.00	*公共部門	20,017,642.00
その他資本収入	0.00	*外国部門	0.00
融 資	76,224,891.00	その他資本支出	0.00
国際融資	0.00	融資返済	139,237,385.00
国内融資	76,224,891.00	対外公共債務返済	0.00
収入総計	1,708,957,778.00	その他債務適用資金	139,237,385.00
		支出総計	1,708,957,778.00

表-35:社会保険部門全体の暫定予算

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	920,145,527.00	一般支出	827,923,582.00
営業収入	0.00	給料・賃金	310,785,366.00
資産・サービス売却	87,965,441.00	社会保険負担金	32,643,229.00
税収	0.00	社会補償金	25,821,671.00
還元税収	0.00	資産・サービス費	298,325,485.00
社会保険金	804,620,090.00	対外公共債務利子	1,603,000.00
一般無償供与	0.00	国内公共債務利子	0.00
一般振替え	0.00	社会保険提供	34,058,400.00
*民間部門	0.00	一般振替え	94,814,873.00
*公共部門	0.00	*民間部門	10,680,730.00
*外国部門	0.00	*公共部門	83,783,463.00
その他一般収入	27,559,996.00	*外国部門	350,680.00
資本収入	27,794,646.00	その他一般支出	29,871,558.00
資本供与	0.00	資本支出	157,964,826.00
資本金振替え	0.00	固定資本金租形成	150,063,889.00
*民間部門	0.00	資本金振替え	0.00
*公共部門	0.00	*民間部門	0.00
*外国部門	0.00	*公共部門	0.00
その他資本収入	27,794,646.00	*外国部門	0.00
融資	142,450,838.00	その他資本支出	7,900,937.00
国際融資	0.00	融資返済	104,502,603.00
その他国内資金源	142,450,838.00	対外公共債務返済	3,500,000.00
収入総計	1,090,391,011.00	その他債務適用資金	101,002,603.00
		支出総計	1,090,391,011.00



表-36:非金融部門公営企業全体の暫定予算

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	5,079,364,717.00	一般支出	4,988,773,460.00
営業収入	4,706,775,854.00	給料・賃金	319,287,734.00
資産・サービス売却	0.00	社会保険負担金	5,694,695.00
税収	0.00	社会積入金	22,008,961.00
還元税収	128,004,250.00	資産・サービス費	2,228,135,691.00
社会保険金	0.00	対外公共債務利子	19,425,682.00
一般無償供与	0.00	国内公共債務利子	4,506,447.00
一般振替え	222,679,454.00	社会保険提供	0.00
*民間部門	0.00	一般振替え	177,545,728.00
*公共部門	222,679,454.00	*民間部門	777,862.00
*外国部門	0.00	*公共部門	175,580,718.00
その他一般収入	21,905,159.00	*外国部門	1,187,148.00
資本収入	177,181,112.00	その他一般支出	2,212,168,522.00
資本供与	1,000,000.00	資本支出	325,153,701.00
資本振替え	4,568,000.00	固定資本形形成	318,115,701.00
*民間部門	0.00	資本振替え	1,548,160.00
*公共部門	4,568,000.00	*民間部門	0.00
*外国部門	0.00	*公共部門	1,548,160.00
その他資本収入	171,613,112.00	*外国部門	0.00
融資	217,098,232.00	その他資本支出	5,490,537.00
国際融資	75,837,070.00	融資返済	159,716,900.00
国内融資	141,261,162.00	対外公共債務返済	27,536,702.00
収入総計	5,473,644,061.00	その他債務適用資金	132,180,198.00
		支出総計	5,473,644,061.00

表-37: 公営金融部門全体の暫定予算

(単位: Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	544,660,181.00	一般支出	845,324,198.00
営業収入	342,019,877.00	給料・賃金	64,901,021.00
資産・サービス売却	0.00	社会保険負担金	6,726,850.00
税金	0.00	社会補償金	3,567,451.00
還元税収	0.00	資産・サービス費	94,673,046.00
社会保険金	0.00	対外公共債務利子	83,249,212.00
一般無償供与	1,845,174.00	国内公共債務利子	135,624,224.00
一般振替え	12,510,341.00	社会保険提供	0.00
*民間部門	0.00	一般振替え	416,847,849.00
*公共部門	12,510,341.00	*民間部門	141,686,000.00
*外国部門	0.00	*公共部門	272,742,710.00
その他一般収入	188,284,789.00	*外国部門	419,139.00
資本収入	76,986,647.00	その他一般支出	39,734,545.00
資本供与	24,832,058.00	資本支出	166,445,025.00
資本振替え	23,919,216.00	固定資本形成	56,365,755.00
*民間部門	0.00	資本振替え	105,925,536.00
*公共部門	23,919,216.00	*民間部門	10,549,109.00
*外国部門	0.00	*公共部門	95,376,427.00
その他資本収入	28,235,373.00	*外国部門	0.00
融資	1,114,055,682.00	その他資本支出	4,153,734.00
国際融資	323,062,650.00	融資返済	723,933,287.00
国内融資	790,993,032.00	対外公共債務返済	106,248,402.00
収入総計	1,735,702,510.00	その他債務適用資金	617,684,885.00
		支出総計	1,735,702,510.00

表-38:非金融公共部門の財務フローチャート

(単位:Bs.)

項目	追加予算	PIB %	確定予算	PIB %
A 一般収入	22,784,465,608.00	43.2	16,207,482,724.00	30.7
営業収入	4,533,341,367.00	8.6	4,469,973,134.00	8.5
資産・サービス売却	441,742,811.00	0.8	441,742,811.00	0.8
税収	8,977,215,508.00	17.0	7,188,681,592.00	13.6
還元税収	819,940,536.00	1.6	819,940,536.00	1.6
社会保険金	804,620,090.00	1.5	526,203,812.00	1.0
一般無償供与	685,889,026.00	1.3	685,889,026.00	1.3
一般振替え	4,559,131,619.00	8.6	112,467,162.00	0.2
*民間部門	105,090,452.00	0.2	105,090,452.00	0.2
*公共部門	4,454,041,167.00	8.4	7,376,710.00	0.0
*外国部門	0.00	0.0	0.00	0.0
債権(融資金)回収	483,354,078.00	0.9	483,354,078.00	0.9
勘定減(勘定引出し)	165,149,313.00	0.3	165,149,313.00	0.3
その他収入	1,314,081,260.00	2.5	1,314,081,260.00	2.5
B 一般支出	21,642,823,895.00	41.1	15,065,841,011.00	28.6
報酬(給料・賃金)	5,212,413,380.00	9.9	4,935,184,337.00	9.4
資産・サービス費	4,289,161,034.00	8.1	2,289,161,034.00	8.1
間接税・還元税・料金その他	1,656,137,111.00	3.1	17,416,938.00	0.0
利子	1,018,693,389.00	1.9	955,325,156.00	1.8
*国内債務	428,780,058.00	0.8	365,411,825.00	0.7
*対外債務	589,913,331.00	1.1	589,913,331.00	1.1
社会保険提供	2,304,087,583.00	3.9	2,034,087,583.00	3.9
一般振替え	7,035,708,622.00	13.3	2,589,044,165.00	4.9
*民間部門	1,918,841,225.00	3.6	1,918,841,225.00	3.6
*公共部門	5,052,859,114.00	9.6	606,194,657.00	1.1
*外国部門	64,008,283.00	0.1	64,008,283.00	0.1
借付供与	201,203,229.00	0.4	210,203,229.00	0.4
勘定増(勘定振込み)	151,700.00	0.0	151,700.00	0.0
その他支出	195,267,847.00	0.4	44,266,869.00	0.1

=次頁に続く=

## 参考資料-IV:1999年度予算

(表-38:非金融公共部門の財務フローチャート)

(単位:Bs.)

項目	追加予算	PIB %	確定予算	PIB %
C=A-B 経済成果:貯蓄増(貯蓄減)	1,141,641,713.00	2.2	1,141,641,713.00	2.2
D 資本収入	3,091,526,520.00	5.9	1,506,688,190.00	2.9
自己資本金	1,043,256,735.00	2.0	1,043,256,735.00	2.0
資本供与	461,275,655.00	0.9	461,275,655.00	0.9
資本振替え	1,586,994,130.00	3.0	2,155,800.00	0.0
*民間部門	2,155,800.00	0.0	2,155,800.00	0.0
*公共部門	1,584,838,330.00	3.0	0.00	0.0
*外国部門	0.00	0.0	0.00	0.0
E 資本支出	6,143,755,221.00	11.7	4,558,916,891.00	8.6
実質直接投資	4,302,840,053.00	8.2	4,302,840,053.00	8.2
資本金振替え	1,840,915,168.00	3.5	256,076,838.00	0.5
*民間部門	256,076,838.00	0.5	256,076,838.00	0.5
*公共部門	1,584,838,330.00	3.0	0.00	0.0
F=C+D-E 財務成果:黒字(赤字)	(1,910,586,998.00)	3.6	(1,910,586,998.00)	3.6
純財務調達資金	1,910,586,988.00	3.6	1,910,586,988.00	3.6
H 資金源	5,444,153,392.00	10.3	5,215,308,256.00	9.9
債権・証券の売却	2,034,278,902.00	3.9	2,034,278,902.00	3.9
準備資産の減少	756,841,430.00	1.4	756,841,430.00	1.4
振り込み	2,594,064,885.00	4.9	2,423,099,736.00	4.6
*国内	855,029,019.00	1.6	684,063,870.00	1.3
*外国	1,739,035,866.00	3.3	1,739,035,866.00	3.3
その他資金源	58,968,175.00	0.1	1,088,188.00	0.0
I 資金の用途	3,533,566,404.00	6.7	3,304,721,268.00	6.3
借入金返済	2,233,171,097.00	4.2	2,175,291,110.00	4.1
*国内	1,318,999,767.00	2.5	1,261,119,780.00	2.4
*外国	914,171,330.00	1.7	914,171,330.00	1.7
流動債務	684,063,871.00	1.3	684,063,871.00	1.3
その他用途	616,331,436.00	1.2	445,366,287.00	0.8

注: 1)中央銀行、国家金融システム基金、NANIBOの予算は含まれない。 2)PIB=国内粗生産。

表-39: 1998-1999年度投資予算比較表

① 1998-1999年度投資予算 (単位: Bs.)

行政レベル	1998	1999
中央政府	348,662,023.00	504,188,061.00
- 副大統領府	6,303,513.00	5,555,184.00
- 省庁(*)	330,354,755.00	479,040,266.00
- 選挙委員会	12,003,755.00	19,592,611.00
分権・分離機関	766,672,437.00	762,732,176.00
- 分権機関	766,672,437.00	691,163,237.00
- 国立社会保健基金 (CNS)		67,394,400.00
- 石油部門保健基金 (CPS)		4,174,539.00
国営企業	69,433,619.00	25,134,720.00
- 国営企業	69,433,619.00	25,134,720.00
県庁関係	1,196,861,425.00	1,120,380,654.00
- 県庁	980,991,027.00	937,296,567.00
- 県道路局	119,899,894.00	70,083,136.00
- 県規模の分権機関	95,970,504.00	113,000,951.00
地方自治体	1,276,749,398.00	1,025,604,312.00
- 地方自治体政府: 確認済みプロジェクト	1,033,495,814.00	1,025,604,312.00
- 地方自治体政府: 将来確認のプロジェクト	205,773,178.00	309,570,452.00
- 現地規模の公営企業	37,480,406.00	66,968,267.00
投資計画総計	3,658,378,902.00	3,814,578,642.00

(\*)中央政府レベルの投資金と農民開発基金(FDC)の投資予算を含む。

② 各種投資基金の資本金振替え

- 社会投資基金 (FIS)	3,023,943.00	20,854,785.00
- 国家地方開発基金 (FNDR)	24,713,000.00	40,208,366.00
- 農民開発基金 (FDC)	12,026,792.00	3,859,006.00
- 国家環境保護基金 (FONAMA)		
資本金振替え総計	39,763,735.00	64,922,157.00

=次頁に続く=

参考資料-IV:1999年度予算

(表-39:1998-1999年度投資予算比較表)

## ③ 公共投資予算のサマリー

(単位:Bs.)

	1998	1999
投資総額 + 振替え総額 + 地方自治体政府宛未割当分	3,698,142,637.00	3,879,500,799.00
(マイナス)地方自治体政府宛未割当分	205,773,178.00	309,570,452.00
投資 + 振替えの総計	3,492,369,459.00	3,569,930,347.00
(マイナス)道路維持管理プログラム	119,899,894.00	70,083,136.00
公共投資予算総額	3,372,469,565.00	3,499,847,211.00

表-40: 中央政府の月別国内税徴収予定額  
PRESUPUESTO DE INGRESOS MENSUALES - IMPUESTOS INTERNOS 1999

(単位: Bs.)

MESES	TCN NETO A	IEHD YFPB B	IEHD PRIVADOS C	IVA-IT YFPB MDO INTERNO D	TGN NETO E=A+B+C+D	TOTAL VALORES F	COPART YFPB IVA IT MDO INT G	COPART S.N.I.I. MUNICIP UNIVERS H	COPART IEHD PREFECT DEPTO I	TOTAL GLOBAL J=E+F+G+H+I
ENERO	347,642,867	51,484,476	11,017,296	6,870,638	419,015,279	68,626,284	2,956,879	114,462,896	20,833,925	625,895,064
FEBRERO	294,839,004	47,608,250	8,633,422	7,165,917	358,246,616	67,221,401	2,388,639	96,807,079	18,747,232	543,410,965
MARZO	324,712,604	52,772,791	12,770,634	7,880,873	398,137,102	80,381,089	2,826,958	106,620,319	21,847,875	609,613,342
ABRIL	268,565,750	56,756,631	11,760,280	11,959,669	449,041,771	105,919,754	3,986,290	121,325,412	22,839,037	703,111,264
MAYO	556,952,291	50,452,112	11,860,033	9,544,023	628,838,455	84,960,887	3,181,343	184,186,285	20,777,382	921,944,351
JUNIO	266,171,425	53,397,321	10,393,285	13,229,930	363,191,565	92,506,394	4,409,977	97,843,053	21,253,535	575,214,925
JULIO	364,837,426	58,730,851	11,135,560	12,319,648	447,024,584	122,406,059	4,106,549	120,027,217	23,289,170	719,853,580
AGOSTO	323,268,629	53,204,595	11,211,042	10,181,625	397,865,891	78,745,840	3,393,875	108,160,747	21,471,879	607,638,232
SEPTIEMBRE	318,205,899	55,218,582	10,913,612	11,419,306	395,756,398	71,465,027	3,806,102	104,503,220	22,044,054	597,574,812
OCTUBRE	338,623,793	53,115,867	11,097,104	13,851,836	422,478,399	71,239,424	4,550,545	111,397,265	23,400,990	633,060,624
NOVIEMBRE	313,246,558	54,499,218	11,070,566	12,207,936	391,024,288	74,204,694	4,069,312	102,931,616	21,856,601	554,086,522
DICIEMBRE	335,584,103	53,790,001	11,023,767	12,235,681	412,633,553	72,083,407	4,078,560	110,419,537	21,604,369	620,618,647
TOTAL	4,172,660,381	647,030,898	132,897,944	130,665,087	5,083,254,311	889,753,261	43,555,029	1,372,683,447	259,976,281	7,749,222,329

TCN NETO (A): 納税/国内税徴収額 IEHD YFPB (B): 市商製品特許税(石浦公社分)

IEHD PRIVADOS (C): 市商製品特許税(民間企業分)

IVA-IT YFPB MDO, INTERNO (D): 付加価値税-取引税(石浦公社内市商製品分)

TOTAL TCN NETO (E=A+B+C+D): 納税/国内税徴収額

TOTAL VALORES (F): 市商証券・印税徴収額

COPART. YFPB IVA-IT MDO, INTERNO (G): 共同参加分(石浦公社内市商製品分)

COPART. S.N.I.I. MUNIC. UNIVERS (H): 何種別参加分/地方自治体/大学/共同参加分

COPART. IEHD PREFECT DEPTO (I): 市商製品特許税/取引の共同参加分

TOTAL GLOBAL (J=E+F+G+H+I): 国内税徴収額

表-11: 月別関税徴収予定額  
PROYECCION DE INGRESOS MENSUALES - RENTA ADUANERA 1999  
(En Bolivianos)

(単位: Bs.)

MESES	TESORO GP-L DE LA NACION (A)	OTROS INGRESOS (B)	TOTAL EFFECTIVO C=(A+B)	NOTAS DE CRED. FISCAL (D)	COPARTICIPACION		TOTAL G=(C+D+E+F)
					MUNICIPIOS (E)	UNIVERSIDADES (F)	
ENERO	44,510,207	616,562	45,526,769	1,398,400	11,976,055	2,994,014	61,655,238
FEBRERO	41,455,582	918,191	42,374,772	3,670,598	11,055,068	2,763,772	59,664,211
MARZO	47,703,524	878,921	48,582,544	7,275,653	12,720,956	3,180,242	71,759,615
ABRIL	37,582,518	900,350	38,482,868	3,968,826	10,024,671	2,506,168	54,992,533
MAYO	40,539,869	1,134,935	41,644,804	3,409,773	10,802,632	2,700,658	58,557,867
JUNO	43,175,631	1,234,503	44,410,133	4,300,455	11,513,502	2,878,375	63,102,465
JULIO	45,321,438	1,771,164	47,092,602	3,305,178	12,085,717	3,021,429	65,504,926
AGOSTO	41,787,035	2,734,330	47,521,345	4,963,581	11,943,207	2,985,602	67,413,944
SEPTIEMBRE	50,583,204	2,054,275	52,642,478	8,153,854	13,490,188	3,372,547	77,659,067
OCTUBRE	51,802,277	1,598,254	53,400,531	4,128,635	13,813,941	3,453,485	74,796,592
NOVIEMBRE	41,052,048	1,304,295	42,356,344	3,175,789	10,947,213	2,736,803	59,216,149
DICIEMBRE	45,974,230	1,580,916	48,555,146	4,072,431	12,526,461	3,131,615	68,285,654
TOTAL	535,873,652	16,726,635	552,600,337	51,623,354	142,659,641	35,724,910	783,048,282

TESORO GENERAL DE LA NACION (A): 国庫預り金  
OTROS INGRESOS (B): その他収入  
TOTAL, EFFECTIVO C=(A+B): 実徴収金額  
NOTAS DE CRED. FISCAL (D): 国庫信用証券  
COPARTICIPACION: 共同参加配分  
MUNICIPIOS (E): 地方自治体債  
UNIVERSIDADES (F): 大学  
TOTAL, G=(C+D+E+F): 総額



表-42: -14 地方自治体政府宛ての共同参加配分金

(単位: Bs.)

県	人口	国内税徴収分	関税徴収分	合計
チュキサーカ	453,756	80,068,215.00	10,098,688.00	90,166,903.00
ラパス	1,900,786	335,406,131.00	42,303,448.00	377,709,579.00
コチャバンバ	1,110,205	195,902,944.00	24,708,464.00	220,611,408.00
オルロ	340,114	60,015,339.00	7,569,499.00	67,584,838.00
ポトシー	645,889	113,971,338.00	14,374,752.00	128,346,090.00
タリハ	291,407	51,420,674.00	6,485,485.00	57,906,159.00
サンタクルス	1,364,389	240,755,371.00	30,365,522.00	271,120,893.00
ベニ	276,174	48,732,711.00	6,146,465.00	54,879,176.00
バンド	38,072	6,718,058.00	847,318.00	7,565,376.00
総計	6,420,792	1,132,990,781.00	142,899,641.00	1,275,890,422.00

表-43: 国立大学宛ての共同参加配分金

(単位: Bs.)

大学名	人口	国内税徴収分	関税徴収分	合計
サン・フランシスコ・ハビエル	453,756	20,017,054.00	2,524,672.00	22,541,726.00
サン・アンドレス	1,900,786	83,851,533.00	10,575,862.00	94,427,395.00
サン・シモン	1,110,205	48,975,862.00	6,177,116.00	55,152,851.00
テクニカ・デ・オルロ	340,114	15,003,835.00	1,892,374.00	16,896,209.00
トマス・フリーアス	645,889	28,492,835.00	3,593,689.00	32,086,524.00
フアン・ミサエル・サラチョ	291,407	12,855,168.00	1,621,371.00	14,476,539.00
ガブリエル・レネ・モレーノ	1,364,389	60,188,843.00	7,591,380.00	67,780,223.00
テクニカ・デル・ベニ	276,174	12,183,178.00	1,536,616.00	13,719,794.00
デ・バンド	38,072	1,679,514.00	211,830.00	1,891,344.00
総計	6,420,792	283,247,695.00	35,724,910.00	318,972,605.00

表-44:公共部門全体の確定追加予算(補正予算)

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	219,043,826.00	一般支出	251,518,820.00
営業収入	57,496,556.00	給料・賃金	44,865,793.00
資産・サービス売却	61,407,773.00	社会保険負担金	37,513.00
税収	0.00	社会補償金	2,411,075.00
還元税収	50,000.00	資産・サービス費	126,918,105.00
社会保険金	0.00	対外公債務利子	10,158,276.00
一般無償供与	0.00	国内公債務利子	3,295,069.00
一般振替え	643,649.00	社会保険提供	0.00
*民間部門	643,649.00	一般振替え	46,258,312.00
*公共部門	0.00	*民間部門	42,898,312.00
*外国部門	0.00	*公共部門	0.00
その他一般収入	99,445,848.00	*外国部門	3,360,000.00
資本収入	37,501,744.00	その他一般支出	17,574,677.00
資本供与	0.00	資本支出	218,436,567.00
資本金振替え	1,045,946.00	固定資本金粗形成	133,256,146.00
*民間部門	1,045,946.00	資本金振替え	78,329,489.00
*公共部門	0.00	*民間部門	78,329,489.00
*外国部門	0.00	*公共部門	0.00
その他資本収入	36,455,798.00	*外国部門	0.00
融資	528,753,647.00	その他資本支出	6,850,932.00
国際融資	0.00	融資返済	315,343,857.00
国内融資	528,753,647.00	対外公債務返済	3,146,245.00
収入総計	785,299,244.00	その他債務適用資金	312,197,612.00
		支出総計	785,299,244.00

表-45:公共部門全体の暫定追加予算(補正予算)

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	219,440,839.00	一般支出	251,915,833.00
営業収入	57,496,556.00	給料・賃金	44,865,793.00
資産・サービス売却	61,407,773.00	社会保険負担金	37,513.00
税金	0.00	社会借入金	2,411,075.00
還元税収	50,000.00	資産・サービス費	126,918,105.00
社会保険金	0.00	対外公共債務利子	10,158,276.00
一般供与	0.00	国内公共債務利子	3,295,069.00
一般振替え	1,040,662.00	社会保険提供	0.00
*民間部門	643,649.00	一般振替え	46,655,325.00
*公共部門	397,013.00	*民間部門	42,898,312.00
*外国部門	0.00	*公共部門	397,013.00
その他一般収入	99,445,848.00	*外国部門	3,360,000.00
資本収入	41,609,638.00	その他一般支出	17,574,677.00
資本供与	0.00	資本支出	222,544,461.00
資本金振替え	5,153,840.00	固定資本金粗形成	133,256,146.00
*民間部門	1,045,946.00	資本金振替え	82,437,383.00
*公共部門	4,107,894.00	*民間部門	78,329,489.00
*外国部門	0.00	*公共部門	4,107,894.00
その他資本収入	36,455,798.00	*外国部門	0.00
融資	546,945,857.00	その他資本支出	6,850,932.00
国際融資	0.00	融資返済	333,536,040.00
国内融資	546,945,857.00	対外公共債務返済	3,146,245.00
収入総計	807,996,334.00	その他債務通用資金	330,389,795.00
		支出総計	807,996,334.00

表-46:中央政府の暫定追加予算(補正予算)

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	139,292,194.00	一般支出	129,796,617.00
営業収入	0.00	給料・賃金	31,101,950.00
資産・サービス売却	45,020,243.00	社会保険負担金	9,197.00
税収	0.00	社会補償金	0.00
還元税収	0.00	資産・サービス費	48,971,219.00
社会保険金	0.00	対外公共債務利子	0.00
一般供与	0.00	国内公共債務利子	0.00
一般振替え	0.00	社会保険提供	0.00
*民間部門	0.00	一般振替え	46,092,458.00
*公共部門	0.00	*民間部門	42,398,312.00
*外国部門	0.00	*公共部門	334,146.00
その他一般収入	85,271,951.00	*外国部門	3,360,000.00
資本収入	5,550,411.00	その他一般支出	621,793.00
資本供与	0.00	資本支出	102,057,665.00
資本金振替え	549,199.00	固定資本金形成	50,625,260.00
*民間部門	0.00	資本金振替え	45,119,598.00
*公共部門	549,199.00	*民間部門	45,119,598.00
*外国部門	0.00	*公共部門	0.00
その他資本収入	5,001,212.00	*外国部門	0.00
融資	151,806,757.00	その他資本支出	6,312,807.00
国際融資	0.00	融資返済	58,795,080.00
国内融資	151,806,757.00	対外公共債務返済	0.00
収入総計	287,649,362.00	その他債務適用資金	58,795,080.00
		支出総計	287,649,362.00

表-47:分権・分離機関の暫定予算(補正予算)

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	717,536,974.00	一般支出	733,612,922.00
営業収入	0.00	給料・賃金	247,205,752.00
資産・サービス売却	192,681,840.00	社会保険負担金	29,692,229.00
税 収	0.00	社会積立金	11,906,538.00
還元税収	0.00	資産・サービス費	269,445,868.00
社会保険金	0.00	対外公共債務利子	0.00
一般無償供与	12,301,995.00	国内公共債務利子	452,600.00
一般振替え	224,473,643.00	社会保険提供	0.00
*民間部門	104,757,952.00	一般振替え	132,986,335.00
*公共部門	119,715,691.00	*民間部門	102,245,700.00
*外国部門	0.00	*公共部門	30,337,755.00
その他一般収入	288,079,496.00	*外国部門	402,880.00
資本収入	1,080,342,450.00	その他一般支出	41,923,670.00
資本供与	39,765,057.00	資本支出	1,187,764,481.00
資本金振替え	960,839,584.00	固定資本金形成	808,780,050.00
*民間部門	0.00	資本金振替え	374,338,011.00
*公共部門	960,839,584.00	*民間部門	89,390,939.00
*外国部門	0.00	*公共部門	284,947,072.00
その他資本収入	79,737,809.00	*外国部門	0.00
融 資	211,759,902.00	その他資本支出	4,646,420.00
国際融資	0.00	融資返済	88,261,853.00
国内融資	211,759,902.00	対外公共債務返済	0.00
収入総計	2,009,639,326.00	その他債務通用資金	88,261,853.00
		支出総計	2,009,639,326.00

表-48:全県庁の暫定追加予算(補正予算)

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	7,572,673.00	一般支出	8,573,343.00
営業収入	0.00	給料・賃金	594,557.00
資産・サービス売却	652,028.00	社会保険負担金	18,599.00
税収	0.00	社会補償金	0.00
還元税収	50,000.00	資産・サービス費	1,418,243.00
社会保険金	0.00	対外公共債務利子	1,946,875.00
一般無償供与	0.00	国内公共債務利	3,295,069.00
一般振替え	0.00	社会保険提供	0.00
*民間部門	0.00	一般振替え	500,000.00
*公共部門	0.00	*民間部門	500,000.00
*外国部門	0.00	*公共部門	0.00
その他一般収入	6,870,645.00	*外国部門	0.00
資本収入	2,529,646.00	その他一般支出	800,000.00
資本供与	0.00	資本支出	64,145,127.00
資本金振替え	1,045,946.00	固定資本金形成	33,627,115.00
*民間部門	1,045,946.00	資本金振替え	30,518,012.00
*公共部門	0.00	*民間部門	26,959,317.00
*外国部門	0.00	*公共部門	3,558,695.00
その他資本収入	1,483,700.00	*外国部門	0.00
融資	91,861,164.00	その他資本支出	0.00
国際融資	0.00	融資返済	29,245,013.00
国内融資	91,861,164.00	対外公共債務返済	2,039,420.00
収入総計	101,963,483.00	その他債務通用資金	27,205,593.00
		支出総計	101,963,483.00

表-49:全地方自治体政府の暫定追加予算(補正予算)

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	0.00	一般支出	0.00
営業収入	0.00	給料・賃金	0.00
資産・サービス売却	0.00	社会保険負担金	0.00
税収	0.00	社会補償金	0.00
還元税収	0.00	資産・サービス費	0.00
社会保険金	0.00	対外公債務利子	0.00
一般無償供与	0.00	国内公共債務利子	0.00
一般振替え	0.00	社会保険提供	0.00
*民間部門	0.00	一般振替え	0.00
*公共部門	0.00	*民間部門	0.00
*外国部門	0.00	*公共部門	0.00
その他一般収入	0.00	*外国部門	0.00
資本収入	0.00	その他一般支出	0.00
資本供与	0.00	資本支出	12,516,737.00
資本金振替え	0.00	固定資本金形成	12,516,737.00
*民間部門	0.00	資本金振替え	0.00
*公共部門	0.00	*民間部門	0.00
*外国部門	0.00	*公共部門	0.00
その他資本収入	0.00	*外国部門	0.00
融資	12,516,737.00	その他資本支出	0.00
国際融資	0.00	融資返済	0.00
国内融資	12,516,737.00	対外公債務返済	0.00
収入総計	12,516,737.00	その他債務適用資金	0.00
		支出総計	12,516,737.00

表-50:社会保険部門全体の暫定追加予算(補正予算)

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	7,984,322.00	一般支出	21,032,032.00
営業収入	0.00	給料・賃金	8,116,880.00
資産・サービス売却	7,984,322.00	社会保険負担金	0.00
税 収	0.00	社会補償金	1,691,200.00
還元税収	0.00	資産・サービス費	2,223,952.00
社会保険金	0.00	対外公共債務利子	0.00
一般無償供与	0.00	国内公共債務利子	0.00
一般振替え	0.00	社会保険提供	0.00
*民間部門	0.00	一般振替え	0.00
*公共部門	0.00	*民間部門	0.00
*外国部門	0.00	*公共部門	0.00
その他一般収入	0.00	*外国部門	0.00
資本収入	9,000,000.00	その他一般支出	9,000,000.00
資本供与	0.00	資本支出	19,232,810.00
資本金振替え	0.00	固定資本金組形成	19,232,810.00
*民間部門	0.00	資本金振替え	0.00
*公共部門	0.00	*民間部門	0.00
*外国部門	0.00	*公共部門	0.00
その他資本収入	9,000,000.00	*外国部門	0.00
融 資	23,280,520.00	その他資本支出	0.00
国際融資	0.00	融資返済	0.00
国内融資	23,280,520.00	対外公共債務返済	0.00
収入総計	40,264,842.00	その他債務通用資金	0.00
		支出総計	40,264,842.00



表-51:非金融部門公営企業全体の暫定追加予算(補正予算)

(単位:Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	51,215,159.00	一般支出	66,760,411.00
営業収入	51,073,923.00	給料・賃金	0.00
資産・サービス売却	0.00	社会保険負担金	0.00
税 収	0.00	社会補償金	0.00
還元税収	0.00	資産・サービス費	59,646,402.00
社会保険金	0.00	対外公共債務利子	4,274,989.00
一般無償供与	0.00	国内公共債務利子	0.00
一般振替え	0.00	社会保険提供	0.00
*民間部門	0.00	一般振替え	0.00
*公共部門	0.00	*民間部門	0.00
*外国部門	0.00	*公共部門	0.00
その他一般収入	141,236.00	*外国部門	0.00
資本収入	20,341,055.00	その他一般支出	2,839,020.00
資本供与	0.00	資本支出	3,350,196.00
資本金振替え	0.00	固定資本金粗形成	2,800,997.00
*民間部門	0.00	資本金振替え	549,199.00
*公共部門	0.00	*民間部門	0.00
*外国部門	0.00	*公共部門	549,199.00
その他資本収入	20,341,055.00	*外国部門	0.00
融 資	110,946,238.00	その他資本支出	0.00
国際融資	0.00	融資返済	112,391,845.00
国内融資	110,946,238.00	対外公共債務返済	1,106,825.00
収入総計	182,502,452.00	その他債務適用資金	111,285,020.00
		支出総計	182,502,452.00

表-52: 公営金融部門全体の暫定追加予算(補正予算)

(単位: Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	10,139,069.00	一般支出	8,528,413.00
営業収入	6,422,633.00	給料・賃金	1,908,311.00
資産・サービス売却	0.00	社会保険負担金	0.00
税 収	0.00	社会補償金	120,195.00
還元税収	0.00	資産・サービス費	493,408.00
社会保険金	0.00	対外公共債務利子	3,936,412.00
一般無償供与	0.00	国内公共債務利子	0.00
一般振替え	0.00	社会保険提供	0.00
*民間部門	0.00	一般振替え	62,867.00
*公共部門	0.00	*民間部門	0.00
*外国部門	0.00	*公共部門	62,867.00
その他一般収入	3,716,436.00	*外国部門	0.00
資本収入	56,800.00	その他一般支出	2,007,220.00
資本供与	0.00	資本支出	730,479.00
資本金振替え	0.00	固定資本金租形成	85,249.00
*民間部門	0.00	資本金振替え	571,000.00
*公共部門	0.00	*民間部門	571,000.00
*外国部門	0.00	*公共部門	0.00
その他資本収入	56,800.00	*外国部門	0.00
融 資	128,874,145.00	その他資本支出	74,230.00
国際融資	0.00	融資返済	129,811,122.00
国内融資	128,874,145.00	対外公共債務返済	0.00
収入 総 計	139,070,014.00	その他債務通用資金	129,811,122.00
		支出 総 計	139,070,014.00



表-54:投資予算から一般支出予算への振替え(補正予算)

(単価:Bs.)

機関符号	機 関 名	振替え元投資予算項目		振替え先一般支出項目		振替え合計
		400.00	700.00	200.00		
351	チュニサーカ県庁	0.00	170,000.00	170,000.00	0.00	170,000.00
357	サンタクルス県庁	537,676.00	0.00	0.00	537,676.00	537,676.00
	振替え総計	537,676.00	170,000.00	170,000.00	537,676.00	707,676.00



VICEMINISTERIO DE POLITICA TRIBUTARIA  
DIRECCION GENERAL DE POLITICA TRIBUTARIA INTERNA

RECAUDACION MENSUAL RENTA ADUANERA (1996 - 1999) 表-56: 1999年9月末までの関税収入実績

Expresado en Bs corrientes

(Unit: Bs.)

MESES	RECAUDACION BRUTA (EN Bs)			PRESUPUESTO		EJECUCION		DIFERENCIAS ABSOLUTAS		DIFERENCIAS RELATIVAS		RECAUDACION NETA (EN Bs)			
	1996	1997	1998	1998	1999	1998	1999	Ej98/Pt09	Ej99/Pt09	Presupuesto 1998	Ejecucion 1999	Absolutas	Relativas	Absolutas	Relativas
ENERO	37,058,493	69,256,209	49,334,372	61,895,238	53,066,925	45,526,769	35,425,402	-8,828,313	-14,26%	45,526,769	35,425,402	-10,101,367	-22,19%	-10,101,367	-22,19%
FEBRERO	32,125,620	40,633,866	45,913,081	59,864,231	68,527,306	42,374,773	44,522,470	8,663,075	14,47%	42,374,773	44,522,470	2,147,697	5,07%	2,147,697	5,07%
MARZO	33,351,913	40,252,934	56,604,055	71,759,616	63,816,381	48,582,545	41,789,704	-7,943,235	-11,07%	48,582,545	41,789,704	-6,792,841	-13,98%	-6,792,841	-13,98%
ABRIL	32,779,126	49,651,699	49,045,116	54,992,533	42,161,725	38,492,888	29,239,489	-12,830,808	-23,33%	38,492,888	29,239,489	-9,253,379	-24,04%	-9,253,379	-24,04%
MAYO	39,179,796	43,877,849	52,551,908	58,557,867	45,186,580	41,644,804	31,616,798	-13,371,287	-22,83%	41,644,804	31,616,798	-10,028,006	-24,08%	-10,028,006	-24,08%
JUNIO	34,528,901	45,769,140	56,316,017	63,102,465	40,902,244	44,410,134	28,299,521	-22,200,221	-35,18%	44,410,134	28,299,521	-16,110,613	-36,28%	-16,110,613	-36,28%
JULIO	41,332,163	48,674,758	58,172,967	65,504,926	46,016,811	47,092,602	29,394,484	-19,486,115	-29,75%	47,092,602	29,394,484	-17,698,118	-37,58%	-17,698,118	-37,58%
AGOSTO (1)	40,269,854	46,117,213	59,241,290	67,413,944	47,111,170	47,521,345	30,877,539	-20,302,774	-30,12%	47,521,345	30,877,539	-16,643,806	-35,02%	-16,643,806	-35,02%
SEPTIEMBRE	40,032,234	53,635,509	70,819,196	77,659,067	43,106,452	52,642,479	29,224,516	-34,552,615	-44,49%	52,642,479	29,224,516	-23,417,963	-44,49%	-23,417,963	-44,49%
OCTUBRE															
NOVIEMBRE															
DICEMBRE															
TOTAL	336,856,109	437,889,177	497,394,002	630,749,867	446,937,494	408,268,319	300,339,622	-130,682,283	-22,63%	408,268,319	300,339,622	-107,928,697	-26,43%	-107,928,697	-26,43%

Nota - (1) 1999 Informacion preliminar

VCEMINISTERIO DEL TESORO Y CREDITO PUBLICO  
DIRECCION GENERAL DE PROGRAMACION FINANCIERA  
UNIDAD DE SEGUIMIENTO Y CTROL FINANCIERO  
GESTION 1988  
(En Bolivianos)

表-57: 1999年9月末までの国家収入

0811099  
02 10 p.m

	ENERO	FEBRERO	MARZO	ABRIL	MAYO	JUNIO	JULIO	AGOSTO	SEPTIEMBRE	TOTAL	%
I- INGRESOS CORRIENTES (M+)	324,603,161.68	376,146,000.46	687,843,638.58	565,075,641.92	719,369,739.33	495,051,072.38	592,544,686.43	547,771,452.21	516,576,951.53	5,176,089,212.63	0.29
1) RENTA INTERNA	275,906,233.32	273,021,452.01	274,270,932.34	322,498,766.91	455,581,259.45	224,477,788.12	313,692,114.52	304,271,511.80	256,019,443.03	2,697,649,372.90	0.52
1 1) Impuestos (Ley 843)	274,379,789.98	272,367,952.62	271,883,787.50	321,510,280.50	454,800,264.37	223,940,814.08	312,915,255.91	303,786,436.53	255,626,365.03	2,691,311,096.52	0.52
1 2) Otros	1,226,444.94	653,259.99	587,144.84	668,486.41	981,005.08	486,973.24	1,036,758.61	488,075.27	393,078.00	6,536,236.38	0.00
2) RENTA AJUANERA	35,425,401.63	44,322,470.31	41,799,703.52	29,239,488.53	31,616,799.15	28,299,521.98	29,394,483.62	30,077,339.15	29,224,516.27	300,199,933.34	0.06
3) RENTA HIDROCARBUROS	137,093,153.25	174,711,634.51	155,523,553.26	158,344,880.87	165,879,233.35	192,103,380.91	165,076,767.49	175,061,329.95	181,256,933.44	1,615,810,860.93	0.29
3 1) Mercado interno	115,055,074.37	110,600,295.08	137,951,395.64	133,711,298.40	135,690,544.17	140,509,793.01	141,031,435.99	140,251,184.25	136,147,628.44	1,191,148,549.55	0.23
3 2) Regalías y Participaciones	20,552,632.03	24,620,031.82	12,962,233.66	18,158,549.54	17,866,709.10	31,203,560.93	24,045,326.50	19,786,573.31	29,270,992.31	198,574,609.70	0.04
3 3) Petrolés y Participaciones	1,485,446.85	39,291,307.91	431,943.87	354,791.01	0.00	145,101.10	0.00	695,807.31	0.00	42,476,398.03	0.01
3 4) Regulación I.M.	0.00	0.00	4,115,979.89	16,110,241.52	12,271,980.08	20,144,925.87	0.00	15,127,764.18	15,840,312.63	83,611,204.63	0.02
4) VARIOS (Cta-1-1801)	298,895.75	427,599.66	5,567,528.29	6,855,501.71	167,069.89	505,273.12	1,495,932.82	75,322.54	349,819.50	15,232,904.62	0.00
5) INGRESOS SEG. SOC.	39,052,475.08	15,990,091.97	26,137,383.53	20,967,232.07	32,422,058.95	29,274,870.42	17,292,243.30	19,295,775.45	14,228,861.30	190,552,938.92	0.04
II- OTROS INGRESOS	56,927,239.98	16,473,041.20	187,564,551.64	17,069,681.83	29,752,418.53	21,440,237.93	25,131,249.74	19,399,814.31	35,485,973.62	465,324,268.75	0.09
a) Fondos en Custodia	10,131,513.99	4,050,192.50	5,128,933.00	6,899,746.85	16,195,899.00	10,940,300.65	6,478,853.00	5,888,756.40	6,605,767.11	72,459,963.10	0.01
b) Cta. Transición M.N	351,181.73	0.00	152,437,014.66	79,382.40	121,384.00	46,237.33	23,120.00	466,022.56	75,036.66	153,530,179.34	0.03
c) CFEM	1,713,244.00	815,846.43	3,834,544.00	4,832,163.00	6,335,699.29	5,250,847.65	5,895,012.76	2,014,365.30	10,621,373.79	41,913,302.31	0.01
d) Deuda de YPF	0.00	0.00	23,731,114.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	23,731,114.17	0.00
e) SAC	632,690.24	743,445.00	4,263.00	6,205.55	7,040.30	307,678.34	7,873.16	4,935.76	7,784.25	1,721,916.29	0.00
f) Otros (Licitras Bonos, 6%)	31,571,364.92	10,016,034.98	92,754.48	587,487.48	652,818.82	12,442.67	97,847.66	6,361,817.67	12,049,096.11	61,441,664.31	0.01
g) Cta. Transición MVE	12,527,305.10	847,522.29	2,335,928.24	4,664,890.55	5,839,577.04	4,842,731.19	12,728,543.14	663,916.62	6,125,934.57	50,576,128.74	0.01
III- DONACIONES	798,674.00	0.00	9,031,615.00	10,374,173.01	2,789,731.00	0.00	0.00	269,942.75	36,047,847.00	66,905,038.76	0.01
TOTAL INGRESOS (I + II + III)	525,402,085.69	536,146,000.46	836,872,273.59	676,049,720.93	725,152,529.33	495,051,072.38	592,544,686.43	543,041,394.96	552,623,951.53	5,192,966,289.34	1.00

SALDO EN EL B.C.B. AL 31/09/89 Bs: 18,324,181.78 -  
SALDO SUIF AL 31/08/89 Bs: 17,432,909.40 -  
TPO DE CAMBIO AL CIERRE Bs: 5.90



Selección (Ejecución y Tipo de Financiamiento = Comercial & Tipo de Financiamiento = Concesional & Tipo de Financiamiento = Fomento)  
 República de Bolivia  
 Ministerio de Hacienda  
 Viceministerio Inversión Pública y  
 Financiamiento Externo  
 (S I S F I N )

大 - 5 8 ( 1 0 1 ) : 1 9 9 9 年 に 大 施 中 の 外 国 借 入 協 定  
 Convenios en Ejecución  
 Créditos

Reporte - 1  
 Pág. 1 de 4  
 29/11/99 9 51 54 AM

(En miles de dólares)

(単位 : US\$, 1,000.-)

No. de Convenio	Nombre del Proyecto	Alcan	No. de Contrato	Agencia	Fac. Suacr. Contrato	Fac. Último Desemb.	Tipo de Cooperac.	Tipo de Financ.	Monto
Agencia ACDI									
02389	L. CREO 8700 - TELECOM	N	2 20383	ACDI	30/10/87	3/1/202	F	CO	10,578
02390	RECONDICIONAMIENTO Y MEJORA DE AVIONES	N	885 BOL-2882	ACDI	705/88	3/1/288	F	CM	14,048
Agencia ACF									
01287	SEGUNDO PROD. DE MANTENIMIENTO DE CARRETERAS	D	2385/IDA	AF	14/07/82	30/08/88	F	CO	80,000
01288	REFORMA EDUCATIVA	D	2650/IDA	AF	22/11/84	3/10/88	F	CO	40,000
01293	MEDIO AMBIENTE -IND Y MINERIA	D	2808/IDA	AF	28/03/88	30/06/03	F	CO	11,000
01284	PROY DESARROLLO OIL SECTOR MUNICIPAL	D	2565/IDA	AF	5/04/84	3/1/278	F	CO	42,000
01285	DESREG SECT. ENERGIA E HIDROCARBUROS	D	2762/IDA	AF	18/07/85	3/1/288	F	CO	10,600
01286	PROY INTEGRADO DE DESARROLLO INFANTIL	D	2531/IDA	AF	2/03/84	3/1/278	F	CO	31,111
01288	REFORMA JUDICIAL	D	2706/IDA	AF	21/04/86	30/08/88	F	CO	11,000
01288	SANFAMBITO Y AGUA SECTOR RURAL	D	2808/IDA	AF	28/03/88	3/1/200	F	CO	20,000
01300	DESARROLLO DE COMUNIDADES RURALES	D	2722/IDA	AF	11/08/85	20/06/88	F	CO	18,000
01301	RS II	D	2532/IDA	AF	8/12/83	3/1/287	F	CO	40,000
01302	ADMINISTRACION DE LA TIERRA	D	2742/IDA	AF	25/06/85	3/1/278	F	CO	20,400
01303	MERCADOS FINANCIEROS Y SISTEMA DE PENSIONES	D	2788/IDA	AF	28/03/88	3/1/278	F	CO	8,000
01304	REFORMA AL SECTOR ELECTRICO	D	2780/IDA	AF	28/03/88	30/08/88	F	CO	5,100
01305	ASISTENCIA TECNICA ALA CAPITALIZACION	D	2847/IDA	AF	28/07/84	3/10/203	F	CO	14,700
01306	PROY DE MEJORAMIENTO DE LA CAL Y EQUI DE LA E	D	3086/80	AF	20/07/88	30/08/84	F	CO	75,000
01308	INFRAESTRUCTURA RURAL PARTICIPATIVA	D	3086/80	AF	20/08/88	27/02/88	F	CO	42,800
01312	3ER ENH CREO PALUSTRE PROG CAPITALIZACION	N	3781 3/IDA	AF	27/04/88	3/1/200	F	CO	2,800
01313	PROYECTO DE ASST EMERGENCIA EL NIÑO	N	3067/IDA	AF	20/07/88	16/03/02	F	CO	25,000
01314	PROY ASIST TEC REEQUILIBRIA Y PMV	N	3108/80	AF	19/08/87	3/10/202	T	CO	20,000
01316	DESCENTRALIZACION FINANCIERA Y RESPONSABILIDA	N	40330/80	AF	28/11/88	3/10/202	F	CO	18,000
02072	CREDITO DE AJUSTE PARA LA REFORMA REGULATORIA	N	31430-31431 B	AF			F	CO	41,800
Agencia ASDI									
02441	ELEVACION DE TENSION SAN JOSE - SRIKATA	D		ASDI	24/07/88	3/1/287	F	CO	2,340
Agencia BID									
01025	CARRETERA PATACAMAÑA TAMBO QUEMADO	D	8405F/80	BID	7/05/80	3/1/200	F	CO	50,800
01028	CARRETERA CONFITA-CANHUASI	D	548/OC/80	BID	8/01/88	3/1/1200	F	CM	32,200
01032	PRODURSA I (848/85F/80)	N	848/85/80	BID	30/11/80	7/03/88	F	CO	20,000
01032	PRODURSA I (601/OC/80)	N	601/OC/80	BID	30/11/80	7/03/88	F	CM	40,000
01034	PROG GIVER TRANSIA Y OIST ENTA TLEC	N	588/OC/80	BID	30/11/80	21/08/88	F	CM	80,000
01036	PROGRAMA DE SERVICIOS BASICOS DE SALUD	N	868/8F/80	BID	27/08/81	12/05/00	F	CO	33,800
01037	PROGRAMA MULTISECTORIAL DE PRIVATIZACION PVI	N	888/8F/80	BID	28/10/82	8/03/88	F	CO	6,400
01038	PROGRAMA GLOBAL DE CREDITO MULTISECTORIAL II	N	428/OC/80	BID	30/08/81	12/06/88	F	CM	80,000
01040	PRODURSA II (177/OC/80)	N	777/OC/80	BID	8/02/84	13/05/88	F	CM	57,100



表-58 (192) : 1999年に実施中の外国借款協定  
Convenios en Ejecución  
Créditos  
(En miles de dólares)

(単位: US\$ 1,000.-)

No. de Convenio	Nombre del Proyecto	Alcan.	No. de Contrato	Agencia	Fec. Iniciar Contrato	Fec. Último Desemb.	Tipo de Cooperac.	Tipo de Financ.	Monto
01041	PROCURSA TI 014/SF BOI	N	014/SF 80	BID	02/02/84	13/05/89	F	CO	0,800
01042	CORREDOR INTEGRAL BENI LA PAZ FRONT PERUANA	D	098/OC 80	BID	16/12/82	02/03/01	F	CM	65,000
01043	CORREDOR INTEGRAL BENI LA PAZ FRONT PERUANA	D	093/SF 80	BID	16/12/82	02/03/01	F	CO	40,000
01089	CONSOLIDACION SNP	N	000/SF 80	BID	4/04/82	20/04/88	F	CO	2,600
01090	FONDO DE DESARROLLO CAMPESINO PIDCI	N	001/SF 80	BID	30/09/83	18/09/89	F	CO	12,600
01091	PROG PAMPLANTACION NUEVA ESTRUCT DE ADUANA	N	095/SF 80	BID	11/02/83	30/05/88	F	CO	1,000
01092	PROGRAMA GLOBAL DE CREDITO MULTISECTORIAL II	N	039/SF 80	BID	02/08/85	28/12/89	F	CO	70,000
01093	PROG APOYO GESTION DE POLITICA Y ADM TRIBUT	N	024/SF 80	BID	21/10/84	23/09/89	F	CO	3,344
01096	PROGRAMA NACIONAL DE RIEGO (PRONARI)	N	064/SF 80	BID	23/03/88	13/09/00	F	CO	25,600
01097	PROGRAMA NACIONAL DE GOBERNABILIDAD	N	076/SF 80	BID	12/06/88	31/12/89	F	CO	12,000
01098	PROG DE COOP AL DESARROLLO DEL TURISMO	N	061/SF 80	BID	23/03/88	31/05/00	F	CO	4,800
01100	SNIPPE II	N	093/SF 80	BID	10/09/87	7/12/01	F	CO	7,000
01102	PREPARAC PROG NAL ATENCION MENOR DE 8 AÑOS	N	063/SF 80	BID	02/02/88	05/05/88	F	CO	900
01104	PROY FORTINST MIN SOST Y MED AMBIENTE	N	028/SF 80	BID	01/12/84	12/07/01	F	CO	19,000
01105	PROGRAMA REFORMA EDUCATIVA	N	031/SF 80	BID	01/12/84	31/12/89	F	CO	80,000
01106	FONDO DE INVERSION SOCIAL	N	050/SF 80	BID	28/08/85	16/11/88	F	CO	60,000
01107	IMPLANTACION DEL RUM DE POBLACION EN BOLIVIA	N	064/SF 80	BID	28/08/85	10/11/88	F	CO	12,000
01109	PROGRAMA DE APOYO A LA POLITICA DE VIVIENDA	N	1006/SF 80	BID	18/06/88	19/05/02	F	CO	80,000
01110	PROGRAMA DE ATENCION AL MENOR DE 8 AÑOS	N	096/SF 80	BID	10/09/87	12/12/02	F	CO	20,000
01112	PROGRAMA DE SANEAMIENTO BASICO URBANO	N	067/SF 80	BID	7/12/88	10/03/01	F	CO	70,000
01115	PROGRAMA SECTORIAL SOCIAL	N	1019/SF 80	BID	13/11/88	16/09/89	F	CO	60,000
03034	PPF PROGRAMA DE APOYO A LA POLITICA DE VIVIENDA	N	1011/SF 80	BID	13/10/88	13/03/99	F	CO	600
03035	PPF PROGRAMA DE SERV AGROPECUARIOS	N	1012/SF 80	BID	21/10/88	21/05/88	F	CO	300
<b>BID</b>									
									<b>1 014 844</b>
<b>Agencia CAF</b>									
01385	CORREDOR INTEGRACION "BENI LA PAZ FRON PERU"	D	143	CAF	23/11/92	23/03/01	F	CO	25,000
01388	2da PROG DE COFIN CIORG MULTILATERALES	N	193	CAF	18/04/84	18/10/88	F	CM	38,000
01389	PROY DESARROLLO CAMELIDOS SUDAMERICANO	D	184	CAF	12/07/84	12/11/89	F	CM	2,800
01400	PROY DE SEGURIDAD AEREA Y AEROPORTUARIA	D		CAF	27/03/85	16/01/88	F	CM	9,238
01402	1er PROG COF PROY DE INV SOCIAL Y ORG MULTI	N	214	CAF	24/11/84	31/12/00	F	CM	7,000
01403	CARR TABLA BARIWELD TRAMO PADCCAYA LA MAMORA	D	237	CAF	28/08/85	28/09/88	F	CM	20,000
01404	PROY FORT Y EXPAN DEL SIST FINAN	N	235	CAF	28/08/85	30/03/88	F	CM	95,500
01406	PROYECTO VIAL LA MAMORA-DESEMBOQUE	D	286	CAF	20/02/87	30/09/88	F	CM	24,200
01407	CARRETERA TRAMO SAN PABLO CASARABE	D	285	CAF	20/02/87	20/08/00	F	CM	16,400
01408	PROYECTO VIAL CUARTO ANILLO LA GUARDA	M	378	CAF	20/05/87	20/08/00	F	CM	18,800
01409	CARRETERA TRAMO YOTAU FUENTE SAN PABLO	D	284	CAF	20/02/87	20/08/00	F	CM	16,000
01410	SEGUNDO PROGRAMA MANTENIMIENTO CARRETERAS	N	267	CAF	16/03/87	16/09/00	F	CM	16,000
01411	PAVIMENTACION CARRETERA ORURO TOLEDO	D	307	CAF	16/02/88	16/02/00	F	CM	11,988
03090	CARRETERA CAMPANARIO LA MAMORA	D	324	CAF	18/12/89	10/06/00	F	CM	5,537
03187	IN PROGRAMA DE COFINANCIAMIENTO	N	329	CAF	20/08/88	20/06/01	F	CM	25,000
									<b>370 843</b>

表 - 5 8 (1993) : 1 9 9 9 年に実施中の外国借款協定  
Convenios en Ejecución

Créditos

(En miles de dólares)

(単位: US\$, 1,000.-)

No. de Convenio	Nombre del Proyecto	Alien.	No. de Contrato	Agencia	Fac Suscr. Contrato	Fac. Ultimo Desemb.	Tipo de Cooperac.	Tipo de Financ	Monto
Agencia CHINA									
Linea de Crédito									
CHINA									
12,006									
Agencia ESP									
02686	FAD/86 EQUIP HOSPITALES GRALS Y MATERIA	D	FAD/93 1	ESP	1/07/84	1/05/00	F	FO	1,428
02685	OCD/86 EQUIP HOSPITALES GRALS Y MATERIA II	D		ESP	1/11/78	1/05/00	F	CM	1,428
02676	FAD/80 MODULOS FOTOVOLTAICOS ORUNO	D		ESP	1/11/78	1/11/00	F	CO	206
02684	OCD/81AL SIST FOTOVOLTAICOS POTOSI	D		ESP	1/08/88		F	CM	864
02702	PROGRAMA DE MICROCREDITO EN BOLIVIA	N		ESP	25/10/89	28/10/01	F	CO	12,000
18 011									
Agencia FIDA									
01689	DES CRIADORIS DE CAMARIDOS SUDAMERICANOS	D	354/80	FIDA	15/08/84	30/08/03	F	CO	7,580
01690	PUEBLOS INDIGENAS DEL BEN	D	373/80	FIDA	20/07/85	30/08/03	F	CO	6,200
01681	SERVICIOS DE ASIST TEC PARA PID. PRODUCT	D	445/80	FIDA	5/08/87	30/08/04	F	CO	8,000
21,780									
Agencia FONPLATA									
01687	CONST CARRET PALMAR GRANDE Y ACUBA	D	BOL 10/89	FONPLATA	31/01/89	1/02/89	F	CM	13,878
01689	AMPL Y MEJ AEROP "CAP NICOLA ROJAS" POTOSI	D	BOL 13/80	FONPLATA	25/08/80	1/02/89	F	CM	4,500
01600	REHAB ACCESO CARA CHIMORE Y APACAM GUABINA	D	BOL 11/89	FONPLATA	18/02/80	12/02/88	F	CM	8,800
01801	EST FACT Y DISEÑO FINAL CUCHU - VALAZON	D	BOL 14/82	FONPLATA	8/08/82	7/07/89	F	CM	2,087
01608	PAV CARRETERA SANTA CRUZ - ABAPO	D	BOL 16/82	FONPLATA	13/12/83	22/05/88	F	CM	10,000
01610	CARRETERA BOYUREHITO VALAZON	D	BOL 16/84	FONPLATA	30/03/85	24/09/88	F	CM	728
01611	CARRETERA ABAPO-CAMIRI	D	BOL 17/84	FONPLATA	20/03/85	24/02/88	F	CM	1,220
41,213									
Agencia FRA									
02787	MEJ RECURSOS DE AGUA EN COCHABAMBA	D	651 081	FRA	28/06/82	31/07/88	F	CO	6 838
02774	PROVISION DE IMAGENES SPOT Y EQUIP/INOMAT	N	840-0A1	FRA	27/11/85	30/09/88	F	CO	2,200
02780	SEMFORIZACION CIUDAD DE SANTA CRUZ	M	8310A1	FRA	8/01/88	30/08/01	F	CO	5,207
02782	TRATAMIENTO AGUAS NEGRAS DE COCHABAMBA	D	931081	FRA	9/01/88	30/08/01	F	CO	5,207
18,250									
Agencia ITA									
02887	CONTROL TRAFICO AEREO	N		ITA	25/08/80	31/12/88	F	CO	8,246
02889	MCC - AEROPUERTO COCHABAMBA FASE II	D		ITA	27/08/82	11/01/88	F	CO	17,857
03000	TRASVASE DE LOS ROS TIRIS SERKETA MAAYU CBB	D		ITA	19/10/85	31/12/88	F	CO	24 015
50,117									
Agencia KFW									
02748	PROYECTO NIEGO CUPINA	D	87/88463	KFW	8/12/88	31/12/87	F	CO	4,888
02365	REHABILITACION CANAL RAVIDO	D	88/88106	KFW	8/12/88	31/12/87	F	CO	10,183
02360	SANFAMAMENTO BASICO ORUNO	D	84/85610	KFW	28/10/88	31/12/87	F	CO	2,947
02366	REHABILITACION SISTEMA AGUA POTABLE ORUNO	D	89/86352	KFW	18/05/89	31/12/87	F	CO	7,287
02374	ABASTECIMIENTO AGUA POTABLE - POTOSI	D	86/85035	KFW	17/10/88	31/12/88	F	CO	9,118

表-58 (続) : 1999年に実施中の外国借款協定  
Convenios en Ejecución

Repórte 1  
Pág. 4 de 4  
29/11/99 9 51 55 AM

República de Bolivia  
Ministerio de Hacienda  
Viceministerio Inversión Pública y  
Financiamiento Externo  
(S IS FIN)

(単位: US\$. 1,000.-)

(En miles de dólares)

No. de Convenio	Nombre del Proyecto	Alcan.	No. de Contrato	Agencia	Fac. Suocr. Contrato	Fac. Último Desemb.	Tipo de Cooperac.	Tipo de Financ.	Monto
02277	RIEGO - SACABA	D	91/65278	KFW	19/09/97	31/12/99	F	CO	9,112
02278	SISTEMA CARTOGRAFICO NACIONAL	D	91/65276	KFW	16/10/91	31/12/97	F	CO	6,008
02281	ALCANTARILLADO EN SUCRE	D	92/66214	KFW	8/06/95	31/12/97	F	CO	26,900
02282	CARRETERAS COTAPATA - DESAGUADERO	D	92/66067	KFW	23/02/93	31/12/00	F	CO	50,000
02283	ELECTRIFICACION LARECAJA	D	93/66263	KFW	30/12/93	31/12/97	F	CO	18,856
02287	AGUA POT Y ALCANT. - TRINIDAD (CR)	D	93/65925	KFW	27/12/94	31/12/99	F	CO	11,800
02289	RIEGO COMARAPA	D	96/65369	KFW	17/10/96	31/12/98	F	CO	16,088
02300	INFRAESTRUCTURA ESCOLAR - FIS	D	98/67227	KFW	16/06/98	30/06/04	F	CO	13,200
03059	AYUDA EN MERCANCIAS V	N	98/65769	KFW	7/09/98	31/12/99	F	CO	5,917
									189,672
Agencia NDF									
01613	PROYECTO MAL ADMINISTRACION TIERRAS	D	NDF 167	NDF	12/06/96	12/06/01	F	CO	7,600
01616	MEDIO AMBI INDUSTRIAL Y MINERA	N	NDF 160	NDF	29/12/95	18/12/99	F	CO	7,600
									15,000
Agencia OIECF									
03141	CARRETERA PATACAMAYA - TAMBO QUEMADO	D	BVPA	OIECF	21/10/92	17/02/99	F	CO	38,000
									38,000
Agencia OPEP									
01617	ASENTAMIENTO DE PEQUEÑAS COLONIAS STA. CRUZ	D	628-P	OPEP	6/06/91	31/12/97	F	CO	2,600
01619	CHUQUISACA SUR RURAL	D	463-P	OPEP	30/03/88	30/09/97	F	CO	2,000
01621	2do PROG REHAB EXPLAN EDU SAL (FIS II)	D	604-P	OPEP	1/12/93	31/12/97	F	CO	6,000
01623	SANEAMIENTO BASICO RURAL - PROSABAR	D	664-P	OPEP	16/03/96	31/12/99	F	FO	6,000
01624	PROY CARRETERA SAN PABLO - CASARABE	D	714-P	OPEP	16/02/98	30/06/00	F	FO	4,000
									18,600
Agencia USAID									
02246	VENTA MERCANCIAS PL 480 TIT I 1998 (H)	N	TIT I - 1998	USAID	24/03/98	24/03/00	F	FO	10,000
									10,000
									2,388,457
TOTAL GENERAL →									

表-59(401) : 1999年に実施中の国際無償協力  
 Convenios en Ejecución  
 Donaciones

Reporte - 1  
 Pág 1 de 11  
 29/11/99 9:53:05 AM

(En miles de dólares)

(Unidad : US\$. 1,000.-)

No. de Convenio	Nombre del Proyecto	Aleam.	No. de Contrato	Agencia	Fac.Sucri. Contrato	Fac.Ultimo Desemb.	Tipo de Cooperac.	Tipo de Financ.	Monto	
Agencia ACDI										
02381	L CNED 8297 TELECOM/PETROLERO	D	216552	ACDI	21/12/82	31/03/88	F	DO	21,512	
02383	PROY DE ASST. TECNICA - YPER	D	216662	ACDI	20/07/84	31/12/89	F	DO	6,508	
02387	DESARROLLO URBANO SOSTENIBLE	N	220163	ACDI	1/07/87	31/12/01	F	DO	3,643	
02388	REFORMA DEL SECTOR SALUD	N	220188	ACDI	10/01/87	31/12/01	F	DO	2,189	
02073	PROYECTO SOLIVIANO DE PETROLIO Y GAS-FASE II	N	220463	ACDI	26/10/88	28/10/02	T	DO	6,143	
02074	CEISO	N	320186	ACDI	10/1/88	31/12/88	T	DO	1,127	
03159	REFORMA IND MINERA Y MEDIO AMBIENTE	N	229270	ACDI	1/11/88	30/11/00	T	DO	1,923	
Agencia ACCD										
02413	FONDO DE ESTUDIOS Y MISIONES I Y II	N		ACCD	9/11/80	9/06/01	F	DO	2,538	
02417	ASIST TEC Y CAP A LA CONTRALORIA	N		ACCD	9/08/85	31/12/88	F	DO	1,643	
02418	PROG AMPLIADO DE INMUNIZACIONES (POLIVACUNAS)	N		ACCD	24/03/88	31/12/88	F	DO	1,714	
02423	MANEJO INTEGRAL DE CUENCAS - PROMAG	D		ACCD	1/11/2/88	30/12/02	F	DO	1,048	
02429	MEJORAM DE NAVEGABIL DE LOS RIOS MAYMORÉ ICHIL	D		ACCD	22/02/84	31/12/87	F	DO	8,738	
02432	BICAS DE ESTUDIOS Y PASANTIAS	D		ACCD	1/01/88	1/01/88	F	DO	3,386	
02435	APORTO AL CENETROP I	D		ACCD	13/06/84	31/12/87	F	DO	390	
02438	CENTRO NAU INFRA TROP CENETROP II	D		ACCD	9/09/86	9/09/88	F	DO	1,288	
02437	CEN UNIV MED TROP CENETROP II	D		ACCD	9/09/86	9/09/88	F	DO	1,638	
02438	SIST LOCALES SALUD SRZ SUCOS II	D		ACCD	9/09/86	9/09/88	F	DO	1,000	
Agencia ASDI										
02462	REFORMA EDUCATIVA	D		ASDI	1/07/85	31/12/88	F	DO	11,668	
02468	COOPERACION INDUSTRIAL	N		ASDI	9/12/88	31/12/88	T	DO	6,026	
03064	MITIGACION DE LOS EFECTOS DE EL NIÑO Y TEMPELATO	M		ASDI	24/07/88	30/06/88	F	DO	1,844	
03089	PLAN PARALA EQUIDAD DE GENERO	N		ASDI	27/11/88	30/06/01	F	DO	2,800	
03100	EDUCACION PRIMARIA BILINGUE (UNICEF)	D		ASDI	12/02/88	30/03/01	F	DO	2,235	
03101	EDUCACION Y COM PARA LA SALUD DE LA MUJER (UNICEF)	D		ASDI	12/02/88	30/06/01	F	DO	1,188	
03102	PROYANDOS (UNICEF)	D		ASDI	12/02/88	31/12/01	F	DO	3,000	
03176	PROGRAMA DE AGUA Y SANEAMIENTO RED ANCONA	N		ASDI	31/12/88	31/12/00	F	DO	1,981	
03218	REFORMA EDUCATIVA	N		ASDI	30/04/88	30/10/88	F	DO	484	
03219	MEJORAMIENTO DE LA CALIDAD Y EQUIDAD DE LA EDUCACI	N		ASDI	30/04/88	30/06/00	F	DO	1,276	
Agencia BID										
01131	PROYECTO APOYO SECTORES PRODUCTIVOS Y COMERCIO EXT	N		ATIN/SF-3718 80	22/09/81	30/08/87	T	DO	1,600	
01182	FORTALECIMIENTO SECTOR SALUD	N		ATIN/SF 3712 80	16/05/81	12/06/80	T	DO	4,880	
01186	FORTALECIMIENT DE COOPERATIVAS DE CREDITO RURAL	D		ATIN/ME 4408 80	8/12/83	28/08/87	T	DO	800	
01188	ORDENAMIENTO TERRITORIAL, AMPLIACION EDUCATIVA	D		ATIN/SF-4104 80	4/11/82	30/06/88	T	DO	3,300	
01191	ESTUDIO FACILIDAD SECTOR SANEAMIENTO	N		ATIN/SF/JF 3887.	1/05/91	208/87	T	DO	7,400	
01194	FONDO INDIGENA	N		ATIN/CISF-4136	13/01/83	5/01/86	T	DO	2,600	
									32,373	

表-59 (続2) : 1999年に実施中の国際無償協力  
Convenios en Ejecución

República de Bolivia  
Ministerio de Hacienda  
Viceministerio Inversión Pública y  
Financiamiento Externo  
(S I S F M)

Reporte : 1  
Pág. 2 de 11  
29/11/99 9:53:06 AM

Donaciones

(En miles de dólares)

(単位 : US\$. 1,000.)

No. de Convenio	Nombre del Proyecto	Alcan.	No. de Contrato	Agencia	Fec. Suscr. Contrato	Fec. Ultimo Desemb.	Tipo de Cooperac.	Tipo de Financ.	Monto
01208	MODERNIZACION DEL COMERCIO EXTERIOR	N	ATN/MT-4741 80	BID	7/12/94	24/02/96	T	DO	744
01210	APOYO AL PROGRAMA DE REFORMA EDUCATIVA	N	ATN/SF 4719 80	BID	9/12/94	31/12/99	T	DO	1,380
01213	APOYO COOPERACION INTEGRAL SERVICIOS CBBA.	D	ATN/SS-4870 80	BID	1/04/95	19/05/98	T	DO	180
01217	APOYO A CECAOT	D	ATN/SF 4927 80	BID	12/06/95	4/08/98	T	DO	150
01218	APOYO AL CENTRO DE INVEST Y DEARR REGIONAL	D	ATN/SF 4928 80	BID	12/06/95	14/01/98	T	DO	150
01219	APOYO A CAPA SAMTA CRUZ	D	ATN/SD 4928 80	BID	12/06/95	13/01/98	T	DO	220
01220	APOYO CENTRO DE FOMENTO A INICIATIVAS ECONO	D	ATN/SS-4930	BID	12/06/95	4/01/98	T	DO	180
01221	APOYO A COLONIA PIRAI	D	ATN/SS 4931 80	BID	12/06/95	13/01/98	T	DO	180
01223	CAPACITACION AGROCOLA COCHABAMBA	D	ATN/SS-4971 80	BID	1/04/95	10/05/98	T	DO	180
01226	APOYO AL MINISTERIO DE LA PRESIDENCIA	N	ATN/SF 4957 80	BID	12/07/95	30/06/97	T	DO	520
01232	APOYO AMB Y ETNICO AL PROG TURISTICO	N	ATN/SA 5088 80	BID	13/11/95	13/11/97	T	DO	50
01233	PROGRAMA DE TURISMO INTERNO	D	ATN/SF 5195 80	BID	29/02/96	30/06/97	T	DO	20
01235	PROG CAPACITACION LABORAL P/JOVENES TRABAJADO	N	ATN/MH 5130 80	BID	23/01/96		T	DO	3 050
01236	PROG ESC NIÑAS OS TRABAJADORES DE 7 A 12 AÑOS	D	ATN/SF 5143 80	BID	7/02/96	7/02/99	T	DO	2,550
01237	SISAPS	N	ATN/SF 5131 80	BID	24/01/96	23/08/99	T	DO	1,020
01238	PROG DE MODERNIZACION DE LAS RELACIONES LAB	N	ATN/MH 5524 80	BID	26/06/97	26/12/99	T	DO	1,479
01239	SIST DE CONCESIONES PARA EL SECTOR TRANSPORTE	N	ATN/MT 6511 80	BID	29/06/97	26/12/99	T	DO	490
01240	PROG DESARR MARCO REGUL SECTOR AGUA POT.	N	ATN/MT 5442 80	BID	27/05/97	27/10/99	T	DO	990
01242	SISAPS (COFINANCIAMIENTO)	N	ATN/CI 5348 80	BID	6/05/96	23/10/98	T	DO	520
01246	COOP TECNICA PARA COORDINACION DE DONANTES	N	ATN/JC 5525 80	BID	14/04/97	14/04/99	T	DO	135
01251	DECENTRALIZACION SIST. NAL DE INV PUBLICA	N	ATN/SF 5763 80	BID	20/01/98		T	DO	650
01252	DIALOGO CON SOCIEDAD CIVIL SIGLO XXI	N	ATN/SF 5730 80	BID	10/1/98		T	DO	130
01253	FORTALECIMIENTO MECANISMO ORG PODER EJECUTIVO	N	ATN/SF 5895 80	BID	13/04/98		T	DO	136
01254	PROMOCION DE LA INVERSION Y LAS EXPORTACIONES	N	ATN/MT 6037	BID	26/02/98	26/02/01	T	DO	1,541
01257	APOYO AL SERVICIO CIVIL DEPARTAMENTAL	N	ATN/SF 5748 80	BID	13/01/98		T	DO	350
03055	FORTALECIMIENTO SUPER DE BANCOS	N	ATN/MT 5948 80	BID	30/06/98	20/12/00	T	DO	1,200
03056	APOYO A FADES (ONG)	N	ATN/SS 5770 80	BID	26/03/98	26/11/01	T	DO	100
03058	APOYO COOP JESUS HAZARENO	D	ATN/EM 5771 80	BID	14/08/98	26/11/00	T	DO	100
03083	APOYO AL DESASTRE NATURAL/AQUILF.TOTORA	D	ATN/SF 5987 80	BID	29/05/98	29/05/99	T	DO	50
BID									
35,183									
Agencia CAF									
01527	CONSULTORIA PARA CANCELERIA	N	CTB/8511	CAF	20/12/96		T	DO	14
03120	CLASIF RIESGO SOBERANO REP BOL STANDARDAPOOR 'S	N	CTB 9801	CAF	29/04/98	31/12/99	T	DO	83
03121	SUCRE PLAZA MAYOR DE LA CULTURA IBEROAMERICANA	D	CTB 9802	CAF	27/06/98	31/03/98	T	DO	20
03173	II ENCUENTRO EMPRESARIAL Y DE CIUDADES ANDINAS	N		CAF	12/02/98	31/12/98	T	DO	300
CAF									
317									
Agencia CHINA									
02495	PERFORACION DE POZOS FASE III	D		CHINA	22/01/98		T	DO	1,083
CHINA									
1,083									
Agencia COSUDE									
02507	COFIDA DRU (FASE II)	N	885	COSUDE	14/12/95	30/09/99	F	DO	3 324

As - 5 9 (403) : 1 9 9 9 年に実施中の国際無償協力  
Convenios en Ejecución

Donaciones

(En miles de dólares)

(Unidad: US\$ 1,000.-)

No. de Convenio	Nombre del Proyecto	Atcan	No. de Contrato	Agencia	Fac. Suacr. Contrato	Fac. Ultimo Desemb.	Tipo de Cooperac.	Tipo de Financ.	Monto
02608	BIODIVERSIDAD RTA I FASE II	N	207	COSUDE	1/01/92	31/12/98	F	DO	5,288
02618	FONAMMA PROYECTOS PROYECTOS	N		COSUDE	18/12/93	18/12/98	F	DO	166
02619	CONSERV. BIODIVERSIDAD ICOF BAMI FASE II	N	206	COSUDE	2/03/93	31/07/98	F	DO	4,729
02631	FUNDO BOLIVIA EXPORTA CORDA I FASE II	N	882	COSUDE	18/12/93	31/12/98	F	DO	3,231
02632	MANEJO INTEG. M AMB EN LA PEG MIN I FASE III	D		COSUDE	11/12/97	31/12/98	F	DO	1,260
02633	RS II - COHDA 263280 I FASE II	N	853	COSUDE	7/12/94	30/09/98	F	DO	2,810
02634	PROMOCION AL DES ECO RURAL. PODER	N		COSUDE	11/12/97	31/12/98	F	DO	1,180
02637	PROYECTO DE APOYO AL SECTOR FINANCIERO	N		COSUDE	28/10/97	31/12/98	F	DO	1,400
02630	DIRECHOS HUMANOS Y PUEBLOS INDIGENAS	N		COSUDE	30/06/98	1/12/98	T	DO	342
02652	CAMAS PROTEGIDAS I FASE II	D	888	COSUDE	11/01/95	31/12/98	F	DO	300
02653	RED NACIONAL DE SEMILLAS I FASE II	D	AL16	COSUDE	1/03/94	31/12/98	F	DO	398
02654	PROGRAMA MICROREDITO POPULAR I FASE II	D		COSUDE	11/11/95	31/10/00	F	DO	1,226
02674	FE CREDITO	D	887	COSUDE	1/01/95	31/12/98	F	DO	871
02676	FORMACION PROFESIONAL DUAL III FASE I	D	889	COSUDE	1/01/95	31/10/00	F	DO	1,110
02678	DIMOCRACIA MUNICIPAL I FASE II	N	861	COSUDE	1/01/96	31/12/98	T	DO	1,866
02681	PROGRAMA DE DESARROLLO INTEGRAL SEMILLAS	N	862	COSUDE	28/05/96	31/03/98	F	DO	1,221
02688	PROGRAMA SUR A KOLLO I FASE III	D	860	COSUDE	1/02/95	30/06/98	F	DO	1,207
02692	MANEJO DE CUENCAS I FASE III	D		COSUDE	1/01/96	16/12/98	F	DO	2,652
02694	APOYO A ONG NO GUB I FASE VIII	D		COSUDE	1/01/97	31/12/00	T	DO	6,116
02696	UNIDAD PROD. SEMILLA DE PAPA I FASE VI	D		COSUDE	1/01/97	31/12/00	T	DO	1,688
02698	PROY. DE REPOS. AGROF. CHUNUSACA I FASE III	D		COSUDE	1/01/96	31/12/98	F	DO	1,657
02699	CENTRO DE INV. Y FOR. MEC. AGROF. I FASE IXI	D		COSUDE	1/01/96	31/12/98	F	DO	146
02698	CONSERVACION PATRIM HIST Y CULT. SANITARIA	D		COSUDE	1/01/98	31/12/98	F	DO	376
02800	PROGRAMA DE REPOBLAMIENTO FORESTAL I FASE VIII	D		COSUDE	4/06/98	31/12/98	F	DO	636
02802	PROG. DE DIV Y CAPACITACION EN DIR. CIUDADANOS	N		COSUDE	6/07/98	31/12/98	F	DO	118
02811	PROGRAMA BOSQUES NATIVOS I FASE III	N		COSUDE	17/12/98	31/10/01	T	DO	3,224
03106	AGROECOLOGIA FASE V	N	842	COSUDE	1/07/98	30/06/02	F	DO	718
03113	PROYECTO DE INVERSION RURAL PARTICIPATIVA	M		COSUDE	1/06/98	31/03/03	F	DO	2,166
03220	APOYO A LA DEFENSA PUBLICA RURAL M	D		COSUDE	4/05/98	31/12/01	F	DO	600
03247	PROYECTO PAJOL. ZONA ANDINA	D	LA12	COSUDE	1/01/97	31/12/98	F	DO	1,001
03286	PROGRAMA AGUA, TIERRA CAMPESINA (ATICA)	M		COSUDE	13/10/98	31/12/02	F	DO	40,059
COSUDE									
Agencia DIN									
02603	DESARROLLO TECNICO DEL ALTIPLANO	D	BOL. 37	DIN	30/10/96	1/11/98	F	DO	10,188
02606	PRIVATIZACION DE LAS PLANTAS LECHERAS PIL	D	BOL. 36	DIN	23/08/96		T	DO	3,167
02618	RS II	N	BOL. 16	DIN	1/10/96		F	DO	6,000
02619	APOYO INSTITUCIONAL DE ESPGO Y SAE	N	BOL. 24/2	DIN	1/11/96	31/07/97	T	DO	466
02620	EDUCACION INTERCULTURAL BILINGUE	N	BOL. 24/3	DIN	1/12/96	31/07/97	T	DO	653
02626	APOYO A IMPLEM. DE LA LEY DE PARY. POPULAR	N	BOL. 22/2	DIN	28/07/96	28/07/97	T	DO	244
02627	IDENTIF. DE TIERRAS DE ORIGEN Y ANIDAS TERRITORIO	N	104 BOL. 24	DIN	30/10/96	31/12/98	T	DO	616
02628	ADLANTO APOYO FORN. INST. 2	N	BOL. 18/1	DIN	4/11/96	1/04/98	F	DO	608

表-5-9 (続) : 1999年に実施中の国際無償協力  
Convenios en Ejecución

República de Bolivia  
Ministerio de Hacienda  
Viceministerio Inversión Pública y  
Financiamiento Externo  
(S I S FIN)

Reporte - 1  
Pág. 4 de 11  
29/11/99 9:53:06 AM

Donaciones

(En miles de dólares)

(単位 : US\$ 1,000.-)

No. de Convenio	Nombre del Proyecto	Alcan	No. de Contrato	Agencia	Fec. Suscr. Contrato	Fec. Último Desemb.	Tipo de Cooperac.	Tipo de Financ	Monto
02832	APOYO A LOS PUEBLOS INDIGENAS 2	N	BOL 32	DIN	1/02/86	18/10/87	T	DO	800
02833	DISTRIBUCION MUNICIPAL INDIGENA	N	86/14	DIN	1/02/86		T	DO	287
02834	DERECHOS DE TIERRAS II	N	BOL 24/4	DIN	1/10/86	31/10/87	T	DO	1,387
02837	APOYO INST SNAEGG (PUENTE)	N	24/1	DIN	4/08/87	31/12/87	T	DO	214
02839	DERECHOS DE TIERRA (PUENTE)	N	24/3	DIN	4/08/87	31/12/87	T	DO	782
02840	EDU INTERCULTURAL BILINGUE (PUENTE)	N	24/2	DIN	4/08/87	31/12/87	T	DO	301
02842	PROG SEC PUEBLOS INDIG PART PD DESC	D	104 BOL 29	DIN	28/05/88	31/12/83	T	DO	24,500
02812	APOYO AL PROGRAMA DEL SERVICIO CIVIL	N		DIN	8/07/88	31/07/89	F	DO	613
02817	APOYO AL PROGRAMA SECTORIAL DE AGRICULTURA	D		DIN	8/07/88	30/06/82	F	DO	28,760
DIN 76,316									
Agencia FAO									
01839	LES LEGISLACION ALIMENTARIA Y	N	TCP/BOL/8712(A)	FAO	7/07/87	31/12/88	T	DO	317
03041	REHA CULT AGRICOLAS SEQUIA EL NIÑO Y SISMO	D	FAO 8821	FAO	6/03/88	30/05/89	T	DO	235
03089	PROD ALIEN APOYO A LA SEG ALIMENT FRIDA	D	SPP/BOL/4501	FAO	30/06/86	30/12/89	T	DO	970
03190	EXCLUSION PICUDO MEX. CAP MAP ALGODÓN	D	TCP/BOL/8922(A)	FAO	16/11/89	31/10/01	T	DO	239
03191	CAP CAPACITADOR MANEJO DE PLAGAS	N	TCP/PLA/8930	FAO	26/06/89	31/12/89	T	DO	189
FAO 1,930									
Agencia FNUDC									
01650	AGUA POTABLE Y SANEAMIENTO ORURO (B)	D	BOL/88/CO2	FNUDC	1/07/81	15/06/87	T	DO	6,008
FNUDC 6,008									
Agencia FONPLATA									
01612	ERRADICACION DE LA FEBRE AFTOSA EN BOLIVIA	D	OCT/RIC BOL-4/85	FONPLATA	1/02/88	18/04/88	T	DO	344
FONPLATA 344									
Agencia FRA									
02775	INSTITUTO BOLIVIANO DE BIOLOGIA DE LA ALTURA	N		FRA	1/06/74	16/06/87	T	DO	4,383
02777	OBSERVATORIO SAN CALIXTO	N		FRA	1/01/86	31/12/86	T	DO	233
02780	OFICINA DE ACCION LINGUISTICA (M8 DE FRANCIA)	N		FRA	1/01/87	31/12/86	T	DO	1,305
02781	INST FRANCES DE INVEST CIENT PARA EL DESAR EN COOP	N		FRA	3/01/82	31/12/86	T	DO	6,186
02782	SERVICIO DE COOPERACION TECNICA INTERNACIONAL DE P	N		FRA	1/01/85	31/12/86	T	DO	1,286
02786	REFORMA ADMINISTRATIVA	N		FRA	1/01/82	31/12/86	T	DO	78
FRA 13,457									
Agencia G BR									
02795	PROGRAMA DE BECAS	N	088 589 001	G BR	1/11/87	31/12/82	T	DO	6,250
02811	ENSEÑANZA DEL IDIOMA INGLES EN 4 UNIVERSIDADE	D	088 550 002	G BR	24/08/82	30/05/89	T	DO	2,200
02816	ESTRATEGIAS LADERAS VALLES ANDINOS	D		G BR	30/07/86	30/07/89	T	DO	348
02818	SIST AGROFORESTALES PILON LAJAS	D		G BR	1/05/86	30/08/00	T	DO	1,225
02817	FORTALECIMIENTO AL CIAT	D		G BR	1/11/86	4/08/00	T	DO	3,180
02819	MANEJO RECURSOS NATURA PUEBLOS INDIGENAS	D		G BR	1/12/88	11/04/00	T	DO	683
02818	UNIVEP UNI VIGILA EPIDEMIOLOGICA VETERINARIA	D		G BR	1/01/87	31/12/01	T	DO	1,824
02820	APOYO AL PLAN VIDA ISALUD SEXUAL U REPRODUCCI	N		G BR	1/04/87	1/08/01	T	DO	1,474
02821	MEJ MANEJO Y USO ANIMALES DE TRABAJO ACHOPLEG VALL	D		G BR	30/06/87	30/08/00	T	DO	189

表-59 (195) : 1999年に実施中の国際無償協力  
Convenios en Ejecución  
Donaciones  
(En miles de dólares)

(単位: US\$, 1,000.-)

No. de Convenio	Nombre del Proyecto	Alcan.	No. de Convenio	Agencia	Fec.Suscrc. Contrato	Fec.Ultimo Desemb.	Tipo de Cooperac.	Tipo de Financ.	Monto
02823	ESTRATEGIA PARA PROYECTO DE GAMADO SIST MANG BOSQUES	D		GFR	14/02/97	30/08/00	T	DO	408
03042	PROYECTO DE DESARROLLO RURAL AMBORO	D		GFR	1/12/95	30/04/01	T	DO	4,390
03043	FONDO DE INVESTIGACION AMBIENTE-FONAMA	D		GFR	1/03/96	30/02/98	F	DO	2,131
03070	SIST.APOYO USO SOST. PRODUCCION DE CAMUDO	D		GFR	30/08/98	30/12/98	T	DO	448
03104	MED Y EQUIP LUCHA CONTRA TUBERCULOSIS	D		GFR	1/03/96	30/12/98	T	DO	2,976
03186	MANEJO MALIZAS LASERIAS VALLES CABO	D	R7236	GFR	1/02/98	30/08/02	T	DO	86
03187	ENLACE LIDVET Y CENTRO MED VETERIN TROP	D		GFR	1/11/97	31/12/98	T	DO	376
03242	PROYECTO MINIKA FASE IV	D		GFR	24/10/99	30/12/03	T	DO	4,320
03260	INCREMENTO VECTORES TRIPANOSOMA VIVAX	D		GFR	30/07/99	31/12/01	T	DO	188
03261	APOYO A LA REFORMA DE SALUD EN BOLIVIA	N		GFR	1/11/89	30/08/02	T	DO	2,482
GFR									
01262	PROYECTO DE CONSERVACION DE BIODIVERSIDAD	D	28620/GFR	GFR	21/12/92	30/12/98	F	DO	4,600
Agencia GFR									
GFR									
4,600									
Agencia GIZ									
02306	ASESORAMIENTO A LAS ESTRATEGIAS DE DESARROLLO	N	85 2148 6-001 0	GIZ	1/02/98	30/09/00	T	DO	16,605
02316	DES INTIG ARIQUE, BOLIVAR, TAPACARI-PROSAMA	D	84 2607 6-011 0	GIZ	1/02/01	30/11/00	T	DO	8,467
02328	FORTALECIMIENTO ANESAPA	N	87 2181 2-001 0	GIZ	1/08/93	31/12/00	T	DO	1,801
02332	PLAN DESARROLLO ALTERNATIVO CHAPARE	D	82 2620 2-003 0	GIZ	1/04/93	30/08/98	T	DO	4,886
02333	GESTION AMBIENTAL DE RESIDUOS SOLIDOS	N	83 2045 8-031 0	GIZ	1/08/96	31/08/00	T	DO	2,480
02336	APOYO A LA MICROEMPRESA DE SAMTA CRUZ CAPA	D	86 2128 6-001 0	GIZ	28/01/92	31/12/98	T	DO	1,226
02338	FORMACION PROFESIONAL OVAL INFOCAL	N	82 2180 7 011 0	GIZ	1/02/93	31/12/00	T	DO	4,487
02341	FONDO DE DESARROLLO CAMPESINO	N	82 2078 1-011 0	GIZ	1/01/92	31/12/98	T	DO	3,232
02342	ZONAS DE AMORTO DE AREAS PROTEGIDAS	N	84 2187 6-001 0	GIZ	1/08/86	28/02/98	T	DO	1,828
02350	ASIST REFORMA SISTEMA PENAL	D	86 2084 2	GIZ	1/07/88	30/08/00	T	DO	3,524
02351	PLANIF Y GESTION PARTICIPATIVA MUNICIPAL	D	86 2086 8	GIZ	31/05/88	31/12/00	T	DO	3,824
02357	FORTALECIMIENTO INSTITUCIONAL ANESAPA	N	87 2181 1-2-002 0	GIZ	1/07/88	31/12/00	T	DO	1,801
02358	SISTEMA FINANCIERO RURAL	N	86 2087 6-001 0	GIZ	1/04/88	31/02/01	T	DO	2,657
02380	PROGRAMA DE RIEGO Y DRENAJE PROMANI	N	86 2237 8-001 0	GIZ	1/10/86	31/10/98	T	DO	6,200
02381	EDUCACION BASICA BILINGUE	N	84 2188 3	GIZ	1/10/86	30/08/00	T	DO	2,314
02382	SALUD REPRODUCTIVA I	N	86 2238 4-001 0	GIZ	1/01/88	31/12/01	T	DO	4,671
02383	SISTEMA NAL. DE CAPACT. EN SANTEAMIENTO BASICO	N	84 2186 7	GIZ	31/01/85	30/11/88	T	DO	4,668
02384	FORTALECIMIENTO ANESAPA SELAOR Y APOSP-PTS	D	83 2200 1-002 0	GIZ	1/02/87	31/12/00	T	DO	4,280
02388	FONDO DE ESTUDIOS Y EXPERTOS	D	86 2588 8-012 0	GIZ	1/02/87	31/12/00	T	DO	4,108
GIZ									
83,870									
Agencia HOL									
02841	SALUD EL ALTO MIRAFI FASE	D	80004702	HOL	1/01/86	30/01/98	F	DO	2,248
02842	REFORMA EDUCATIVA / PA	N	8001	HOL	1/11/85	1/11/88	F	DO	8,948
02843	IDEFHO CREDITO / PA	D	80002202	HOL	1/02/85	21/01/98	F	DO	2,821
02845	DOT SITALUM Y AGUA EN SOL ESCUELAS Y SALUD	N	80 11001	HOL	30/10/87		F	DO	2,848
02867	IMPLEMENTACION DE LA P.P Y DESCOM ADMINISTRATIVA	N	80 8802	HOL	27/11/88	31/12/88	F	DO	14,620



表-59 (406) : 1999年に実施中の国際無償協力  
 Convenios en Ejecución  
 Donaciones

República de Bolivia  
 Ministerio de Hacienda  
 Viceministerio Inversión Pública y  
 Financiamiento Externo  
 ISIS FIN 1

(En miles de dólares) (単位: US\$, 1, 000, -)

No. de Convenio	Nombre del Proyecto	Alcan.	No. de Contrato	Agencia	Fac. Suacr. Contrato	Fac. Último Desemb.	Tipo de Coprosc.	Financ	Monto
02868	PROGRAMA NACIONAL DE LA MUJER	N	80011201	HOL	2711/88		F	DO	2 460
02869	GESTION DE LA INV Y COOP DESARROLLO	D	12301	HOL	24/08/86	31/08/88	F	DO	2 116
02860	ALIVIO A LA POBREZA SCZ	D	80 14-01	HOL	18/11/87		F	DO	2 300
02862	PROG APOYO AL SISTEMA NL AREAS PROTEGIDAS	N	80008801	HOL	14/05/88	31/12/89	F	DO	20 833
02870	COSECHA Y POSTCOSECHA DE GRANOS EN SCZ	D	8089010	HOL	1/02/80	30/06/87	F	DO	3 589
02871	ESPECIALISTAS SECTORIALES	N	80 88301	HOL	1/01/83	31/12/87	F	DO	2 087
02872	PEQUEÑOS PROYECTOS DE MEDIO AMBIENTE II FASE	N	80-010002	HOL	1/01/85	30/06/87	F	DO	185
02874	PEQUEÑOS PROYECTOS DE EMBAJADA	N	80-010801	HOL	1/01/85	30/06/87	F	DO	418
02875	FORTALECIMIENTO ORGANIZATIVO EMPRESAS ASOCIATIVAS	N	8027003	HOL	1/01/83	30/06/87	F	DO	2 321
02822	MANEJO DE REC NAT DE CHUQUISACA CENTRO	D	80-006203	HOL	1/06/83	31/05/89	F	DO	2 998
02831	CAPACITACION Y FORMACION PROFESIONAL DE LA MUJER I	N	80008301	HOL	1/10/84	30/05/88	F	DO	1 186
02840	PROYECTO INDIGENAS VIA ABCOP	D	80-005802	HOL	1/01/83	30 03 87	F	DO	1 839
02844	PROGRAMA FINANCIERO DE ORGANIZACIONES DE BASES	D	80008001	HOL	1/10/84	30/05/89	F	DO	3 342
02846	CENTRO ESTUDIOS GEOGRAFICO Y MEDIO AMBIENTE	N	80 010201	HOL	1/08/85	31/07/89	F	DO	2 601
02847	SISTEMA RURAL INTEGRADO DE TELECOMUNICACION	D	80 008601	HOL	1/04/85	31/07/87	F	DO	182
02850	INVEST GEN FORESTAL U UTRECHT	D	80 009701	HOL	1/09/85	31/05/89	F	DO	1 907
02854	PROGRAMA DE INVESTIGACION ESTRATEGICA EN BOLIVIA	D	80 008601	HOL	1/01/86	31/12/88	F	DO	4 348
02860	FONDO MEDIO AMBIENTE	N	80010003	HOL	1/01/86	30/03/87	F	DO	238
02863	Mecanismos de colaboración FONAMA	D	80008301	HOL	1/12/84	30/03/87	F	DO	96
02864	ACLO DESARROLLO PROTECCION REC NATURALES	N	8003701	HOL	1/07/86	31/12/88	F	DO	657
02866	PLAN DE ACCION FORESTAL II	N	80003302	HOL	30/08/86	31/12/88	F	DO	2 657
02866	PROG EDUC PREVENTIVA JUVENTUD-UNDCP	D	8080009	HOL	1/09/82	31/12/87	F	DO	2 121
02867	SISTEMA DE INDICADORES SOCIALES SISAPS	D	80012101	HOL	1/12/85	31/12/88	F	DO	470
02868	APOYO INST UNIVER FARJA Y POTOSI	D		HOL	19/11/87	28/03/01	T	DO	4 125
02868	CONSERV Y MANEJOS SOS DE LA VICUNA	D		HOL	21/04/87	31/10/87	T	DO	100
02870	CATASTRO RURAL LEGAL CHUQUISACA	D		HOL	1/10/87		T	DO	8 839
02871	PROGRAMA NACIONAL DE BIOMASA	N	80 11101	HOL	1/11/87		T	DO	2 630
02872	DESARROLLO AGROPECUARIO MIKA III	D	80-4302	HOL	4/01/87	31/03/01	T	DO	2 600
02873	MEDICAMENTOS ESENCIALES II FASE	N	80 1602	HOL	1/11/87		T	DO	8 412
02874	QUINQUELUAL AGROFORESTAL IPANE	D	80 018701	HOL	1/09/87		T	DO	1 076
02876	ESMAP FASE II (ENERGIA RURAL)	N	80 17801	HOL	12/08/87		T	DO	1 615
02877	REF EDUC DES INTEGRADO SALUD Y ADM PUB	N	TF 22358	HOL	28/07/83	31/12/87	T	DO	1 493
02878	DES FORESTAL COMUNAL ALTIPL FASE II	D	80 030/82	HOL	28/08/87	30/09/01	T	DO	6 426
02878	POSICOSECHA III PREVENCIÓN PERDIDAS	D	80 5102	HOL	1/10/87	31/12/88	T	DO	3 482
02880	ZONISIG II ZONIFICACION AGROECOLOGICA	N	80 7202	HOL	5/05/88		T	DO	3 680
02881	UDEMA APOYO FORMACION RECURSOS HUMANOS	N	80 8202	HOL	1/01/88		T	DO	410
02882	PROYECTO AGROFORESTAL	N	80 16701	HOL	1/08/87		T	DO	1 411
02883	EDUCACION Y ALFABETIZ MUJERES	N	80 83006	HOL	1/11/83	30/04/88	T	DO	1 245
HOL									138 302
Agencia IDF									
01317	PROG DES ARTESANAL OQUIPUS	D	28846/IDF	IDF	22/05/86	22/05/87	F	DO	285

表 - 5 9 (続) : 1 9 9 9 年に実施中の国際無償協力  
Convenios en Ejecución  
Donaciones  
(En miles de dólares)

(単位: US\$, 1,000.-)

No. de Convenio	Nombre del Proyecto	Alcan.	No. de Contrato	Agencia	Fac. Suer. Contrato	Fac. Ultimo Desarb.	Tipo de Cooperac	Tipo de Financ	Monto
01318	FORTEALECIMENTO DEL FONDO INDIGENA	D	28900	IDF	1311185	306578	F	DO	200
01318	DISIÑO E IMPLEMENTACION DE POLITICA SOCIAL	D	2855510F	IDF	1407285	1407287	F	DO	310
IIF									
Agencia ITA									
03001	HOSP BRACAMONTE Y RED DE SERVICIOS SALUD	D		ITA	3111097	3111289	F	DO	4,402
03184	AYUDA ALIMENTARIA BILATERAL	M		ITA	2105189	3111098	F	DO	1,920
ITA									
Agencia JICA									
02068	OES DE AGUAS SUBTERRANEAS SEC CHU	D		JICA	1104187	3111700	F	DO	21,812
02070	DES AGUAS SUBTERRANEAS ORU TAR	D		JICA	1003189	2804401	F	DO	8,841
02077	ECUP HOSPITAL MARTINO INFANTIL LA PAZ	D		JICA	2105189	2105102	F	DO	8,100
02112	CTIP HOSPITAL GENERAL SANTA CRUZ FASE II	D		JICA	811184	3111289	T	DO	5,215
02134	CTIP CROOL DE EROSION Y REFORESTACION TARIJA	D		JICA	2807189	1066789	T	DO	4,206
02135	E OES DE IMPACTO AMB SEC MAMENO DE POTOSI	D		JICA	811038	811038	T	DO	1,534
02067	CONSTRUCCION DE LA ELECTRICIFICACION TARIJA	M		JICA	2211788	1502100	T	DO	6,210
03080	IMPLEMENTACION DE LA ELECTRICIFICACION RURAL	N		JICA	2801189	3111289	T	DO	2,092
03102	PROGRAMA AMPARADO DE INMUNIZACIONES	N		JICA	2704188	1503101	T	DO	2,188
03198	XIII DONACION AGRICOLA INCREMENTO A LA PROD ALMA	N		JICA	2808189	3103300	F	DO	4,432
03210	CONSTRUCCION DE ESCUELAS PRIMARIAS CBA HIFASEI	D		JICA	2808189	3103388	F	DO	6,193
03211	OES AGUAS SUBT ORU Y TARIJA FASE II	D		JICA	2808189	3003300	F	DO	6,250
JICA									
Agencia KFW									
02268	SISTEMA ALCANTARILLADO EL ALTO	D		KFW	2906091	3111287	F	DO	15,090
02272	PROTECCION DE RECURSOS NATURALES SANTA CRUZ	D		KFW	701181	3111287	F	DO	10,281
02276	RIEGO SACABA ROI	D		KFW	1906087	3111289	F	DO	355
02280	FONDO DE ESTUDIOS Y EXPERTOS VI	D		KFW	1406182	3107187	F	DO	2,441
02284	FONDO ESPECIAL DE DESARROLLO ALTERNATIVO	D		KFW	1801192	3110287	F	DO	3,693
02285	ASESORIA AYUDA DE EQUIPO CANTONAL	D		KFW	1511081	3111287	F	DO	621
02286	AGUA POT Y ALCANT - TIRIADAD ROI	D		KFW	2711284	3111289	F	DO	2,028
02288	PROGRAMA DE EMERGENCIA DEL AREA RURAL	D		KFW	2711284	3111289	F	DO	8,280
02280	REFORMA EDUCATIVA	D		KFW	2808186	3111289	F	DO	8,224
02292	ALCANTARILLADO ORURO	D		KFW	2808188	3111200	F	DO	12,847
02294	FDO ESTUDIOS PARA EL PROMAR	D		KFW	2306189	3111202	F	DO	2,000
02298	FONDO DE ESTUDIOS Y EXPERTOS VI	D		KFW	2808185	3111288	F	DO	1,215
02297	FONDO DE INVERSION SOCIAL II	D		KFW	400187	2006189	F	DO	9,081
02288	FONDO DE DESARROLLO RURAL II FDC	D		KFW	2411188	3011201	F	DO	5,492
03058	AYUDA PARA EL TERNEMIGO	D		KFW	2107189	3111200	F	DO	1,232
KFW									
Agencia OEA									
01885	PROTECCION Y DEFENSA DEL PATRIM CULTURAL	N		OEA	101187	3111288	T	DO	80
OEA									

表-59 (408) : 1999年に実施中の国際無償協力

Convenios en Ejecución

Donaciones

(En miles de dólares)

(Unit : US\$ 1,000. -)

No de Convenio	Nombre del Proyecto	Alcan.	No de Contrato	Agencia	Fec.Susc Contrato	Fec.Ultimo Desemb	Tipo de Cooperac.	Tipo de Financ.	Monto
<b>Agencia OIEA</b>									
01661	MEJORAMIENTO DE LA REPRODUCCION DEL GANADO ANDINO	D	BOL/5010	OIEA	1/01/88	31/12/87	T	DO	100
01662	MEJORAMIENTO GENETICO DE CUAIVOS ANDINOS	D	BOL/5.088	OIEA	1/01/88	31/12/87	T	DO	99
<b>OIEA</b>									
<b>199</b>									
<b>Agencia OIM</b>									
01689	PROGRAMA DE EXPERTOS INTEGRADOS	N		OIM	1/01/81	31/12/89	T	DO	2 885
01700	COOPERACION TECNICA ENTRE PAISES EN DESARROLLO CTP	N		OIM	1/01/81	31/12/88	T	DO	159
01701	PROG DE RETORNO DE PERSONAL NAL CAURCADO	N		OIM	1/01/81	31/12/88	T	DO	847
01702	PROGRAMA DE MIGRACION SELECTIVA	N		OIM	1/01/81	31/12/88	T	DO	136
01703	PROGRAMA DE APOYO A BECARIOS	N		OIM	1/01/81	31/12/88	T	DO	189
<b>OIM</b>									
<b>4 216</b>									
<b>Agencia OMS</b>									
01717	SERVICIO ABASTECIMIENTO AGUA Y SANEAMIENTO	D	CWS/010	OMS	25/06/88	31/12/88	T	DO	1 234
01730	MEDICAMENTOS ESENCIALES	D	EDY/010 P2	OMS	1/01/80	31/12/88	T	DO	1 516
01742	SERVICIO DE SALUD DISTRITOS	N	CPS/000/301/VD	OMS	1/01/86	31/12/88	T	DO	211
01745	INFORMACION SANITARIA Y BIOMEDICA	N	HRI/010 P2	OMS	1/01/86	31/12/87	T	DO	176
01748	RECURSOS HUMANOS PARA SALUD	N	HRH/010 V3	OMS	1/01/86	31/12/87	T	DO	227
01747	SALUD Y DESARROLLO SOCIOECONOMICO	N	HSD/010 P2	OMS	1/01/86	31/12/87	T	DO	204
01760	OTRAS ENFERMEDADES NO TRANSMISIBLES	N	NCD/010 V6	OMS	1/01/86	31/12/87	T	DO	264
01768	PROGRAMA COLERA	N	CDD/040 PG	OMS	1/01/84	31/12/88	T	DO	620
01762	ENFERMEDADES TRANSMISIBLES	N	CCD/010 V6	OMS	1/01/86	31/12/88	T	DO	328
01766	SERVICIO DE SALUD	N	UHR/010 V3	OMS	1/01/86	31/12/88	T	DO	442
01767	RED PUBLICA SERV SALUD SANEAMIENTO AMB	N	UHR/040 PG	OMS	1/01/86	31/12/88	T	DO	424
03012	SALUD MUJER NIÑO Y PLOARIF FAMILIAR	N	WCH/PA/W4	OMS	1/01/86	31/12/88	T	DO	122
03013	SALUD REPRODUCTIVA	N	WCH/rP	OMS	10/10/86	31/12/88	T	DO	9
03014	VIOLENCIA CONTRA LA MUJER	N	WHD/RG	OMS	10/10/86	31/12/88	T	DO	248
<b>OMS</b>									
<b>6 001</b>									
<b>Agencia ONUDI</b>									
03018	ENCUESTA NORTE POTOSI	D	BOL/PA/023	ONUDI	1/06/84	31/12/88	T	DO	46
03019	EXPERTA ASOCIADA	N	BOL/95/002	ONUDI	1/06/85	31/12/88	T	DO	161
<b>ONUDI</b>									
<b>168</b>									
<b>Agencia PMA</b>									
01778	ASIST ALIMENT ESC PRIMARIA EN COTACAGATA 2	D	PHABOL/2785 II	PMA	18/07/86	30/12/00	T	DO	6 037
01780	ATENCION PRIMARIA EN SALUD AREAS AFECT POR EL CHAG	D	AB 027801 I	PMA	30/08/92	30/12/00	T	DO	14 678
01781	PROMOC MODULOS DE DESAR LECHERO PPEQUEÑOS PRODUCT	D	PHABOL/2678 II	PMA	30/08/91	30/12/00	T	DO	4 640
01782	ASIST INTEGRADA A NIÑOS EN EDAD PREESCOLAR EN ZONAS	N	BOL/2726 2	PMA	1/03/84	31/12/88	T	DO	9 669
01783	DES RURAL INT AREAS DEPRIMIDAS	D	2888 011AB 011	PMA	17/04/87	30/09/00	T	DO	17 181
<b>PMA</b>									
<b>61 080</b>									
<b>Agencia PHUD</b>									
01811	APOYO LOGISTICO NAL DE COOPERACION TECNICA	N	BOL/PA/027	PHUD	26/09/84	31/12/88	T	DO	278
01812	CATEDRA EN DESARROLLO HUMANO EN CEB	D	BOL/PA/031	PHUD	16/02/85	31/12/88	T	DO	80

República de Bolivia  
Ministerio de Hacienda  
Viceministerio Inversión Pública y  
Financiamiento Externo  
(S I S FIN I)

表 - 5 9 (409) : 1 9 9 9 年 に 実 施 中 の 国 際 無 償 協 力  
Convenios en Ejecución

Donaciones

(En miles de dólares)

(単位 : US\$ 1,000.)

Reporte - 1  
Pag 9 de 11  
29/11/99 a 53 08 AM

No de Convenio	Nombre del Proyecto	Alcan	No. de Convenio	Agencia	Fec Suav. Contrato	Fec. Ultimo Desemb.	Tipo de Cooperac.	Tipo de Financ.	Monte
01917	AREAS DEFORMADAS DEL OCCIDENTE BOLIVIANO	N	60496011	PHUD	60/785	31/12/98	T	DO	313
01921	ASISTENCIA TECNICA AL PROSABAR	N	60486001	PHUD	16/04/98	31/12/98	T	DO	371
01926	CONS RED DESARROLLO SOSTENIBLE	D	60486002	PHUD	31/03/97	31/12/98	T	DO	26
01928	DES AGROPECUARIO MINKA III POTOS	D	60487003	PHUD	10/11/97	6/08/00	T	DO	217
01929	CONSULTA NAJ BOLIVIA HACIA SIGLO XXI	N	60487011	PHUD	29/08/97	30/12/00	T	DO	289
01930	PLAN PL INTEGRIDAD LUCHA CORRUPCION	N	60487017	PHUD	31/12/97	31/12/98	T	DO	270
01931	COORD SEGU Y EVAL COOP RITERN	N	60487018	PHUD	11/02/98	10/31/00	T	DO	82
01932	APOYO SIST. PL DEFENSA CIVIL	N	60487013	PHUD	19/02/98	31/12/98	T	DO	200
01933	SANCCIONAR EL ACOSO SEXUAL LAB EDU	N	60488002	PHUD	26/02/98	31/12/98	T	DO	20
01934	APOYO ENCUESTA DEMOGRAFIA Y SALUD	N	60488003	PHUD	17/06/98	30/08/98	T	DO	41
01935	ATRACCION INVERSION PRIVADA	N	60488001	PHUD	16/04/98	30/08/00	T	DO	300
01938	ORIGINA DEFENSON DEL PUEBLO	N	60488008	PHUD	16/08/98	30/12/99	T	DO	351
03016	SISTEMA DE APOYO A TOMA DE DECISIONES CANCELERIA	N	60488013	PHUD	23/07/98	31/12/00	T	DO	400
03078	FORT INSTITUCIONAL MIN. VIVIENDA Y S BASCOS	N	60488017	PHUD	16/12/98	31/12/00	T	DO	200
03081	INFOME DESARROLLO HUMANO 2000	N	60488016	PHUD	19/01/99	30/04/00	T	DO	212
03182	PROMOCION Y DEFENSA DERECHOS HUMANOS	N	60487016	PHUD	6/11/98	30/04/01	T	DO	171
03188	IMPACTO INV PUBLICA Y COOP INT ERRA POBREZA	D	60489006	PHUD	26/06/98	30/01/00	T	DO	38
03189	APOYO COSECHA ROS COSECHA CAFES ESPECIALES	D	60489006	PHUD	17/06/98	30/12/00	T	DO	458
03234	FORT DE LA DEMOCRACIA MUNICIPAL	N	60489012	PHUD	16/06/98	10/1/00	T	DO	67
03248	PROGRAMA MECONI BOLIVIA MEDICION I	N	60489010	PHUD	31/08/98	31/12/98	T	DO	60
PHUD 4 681									
01638	PROGRAMA DE PROMOCION TURISTICA	N	67 603078 95/1	UE	1/08/97	30/08/00	F	DO	1,128
01640	APOYO ACT DE DESARROLLO PESCA Y ACUICULTURA	N	67 3010984 53	UE	12/07/95	31/06/99	F	DO	1,119
01641	DES VALLES INTERANDINO DE COCHABAMBA	D	67 3010984 49	UE	23/11/95	24/02/01	F	DO	20 858
01642	ASIST Y PROM REG IMIC MEDIO URBANO Y PERUBA	D	67 3101698 122	UE	26/10/94	30/06/01	F	DO	10,654
01654	PROSABAR BENI	D	67 3101698 122	UE	10/08/97	15/01/02	F	DO	6,000
01657	PROG APOYO ESTRATEGIA DESARR ALTERNATIVO	D	60487 3107/86	UE	18/06/97	24/03/04	F	DO	22,800
01666	PROG DESARR INTEGRAL ZONA ANDINA Y EL VALLE ALTO DE PROGRAMAMA OJUNUA POTOSI	D	60487 3107/86	UE	28/06/93	31/12/99	F	DO	16,984
01667	PROG PROTEC DE LA CIUDAD DE MONTEBO CONTRA LAS INU	D	60487 3107/86	UE	29/01/93	31/03/98	F	DO	7,442
01676	PROY APOYO A LA PEQUENA EXPLOTACION MINERA	D	67 31098/187	UE	2/09/93	27/04/98	F	DO	16,260
01677	APOYO AL PASA TRAMON III A	N	PASA III	UE	18/06/97	15/01/02	F	DO	6,650
01680	PROGRAMA DE DESARR ARQUE Y TAPACARI	D	67 31098/218	UE	14/07/88	31/12/00	F	DO	1,682
01683	DEFENSA DE LOS DERECHOS NIÑEZ Y MUJERES	D	67 70389/322	UE	18/06/97	16/01/03	F	DO	7,380
01684	APOYO ORICINAS DE DD HH DEL TROPICO CERRA	M	67 70389/324	UE	2/09/98	31/12/98	F	DO	308
UE 118,228									
01876	PROG INTEGRADO DE ABOGACIA FRONT CONTROL DE DRUG	N	AD/604/96/628	UMDCP	27/09/98	27/08/98	T	DO	280
01878	DEFENSA DE DERECHOS NIÑEZ Y ADOLSC	N	AD/604/97/234	UMDCP	16/06/97	16/11/98	F	DO	354
01878	MANEJO, CONSERV Y USO REC FOREST CERRA	M	AD/604/97/233	UMDCP	6/09/97	6/09/98	T	DO	2,880

表 - 5.9 (続10) : 1999年に実施中の国際無償協力  
Convenios en Ejecución

Donaciones

(En miles de dólares)

(単位: US\$, 1,000.)

República de Bolivia  
Ministerio de Hacienda  
Viceministerio Inversión Pública y  
Financiamiento Externo  
(S I S FIN)

No. de Convenio	Nombre del Proyecto	Alcan.	No. de Contrato	Agencia	Fec. Ultimo Contrato	Cooperac	Tipo de Financ	Monto
03183	EDUCACION PREVENTIVA Y PRO. SALUD EN LAS ESCUELAS	N	AD/80L/98/080	UNDCP	30/04/99	T	DO	1,851
03182	FORT. DEL CONSEJO NAL. CONTRA EL TRAFICO Ilicito	N	AD/80L/98/079	UNDCP	10/05/99	F	DO	206
03226	CAP. MANO DE OBRA Y PROM. DE MICROEMPRESAS	D	AD/80L/98/044	UNDCP	6/07/98	T	DO	130
03241	ASIT. CONTROL DE PRECURSORES Y MED. RISCALIZACION	N	AD/80L/98/073	UNDCP	21/06/99	T	DO	2,138
UNDCP								
Agencia UNESCO								
01987	PROGRAMA DE PARTICIPACION PARA BOLIVIA	N		UNESCO	1/01/80	T	DO	414
UNESCO								
Agencia UNFPA								
03076	ENCUESTA NACIONAL DE DEMOGRAFIA Y SALUD	N	80L/97/04	UNFPA	15/12/97	T	DO	811
03076	COMPRA ANTICONCEPTIVOS	N	80L/97/98	UNFPA	10/10/97	T	DO	691
03077	APOYO A LA ACTIVIDAD REPRODUCTIVA T SEXUAL	N	80L/98/001	UNFPA	30/01/98	T	DO	240
03081	SUBPR. SALUD SEXUAL REPRODUCT. UNFPA	N	80L/98/005	UNFPA	3/11/98	T	DO	720
03092	SUBPR. SALUD SEXUAL REPROD. EDUCACION	N	80L/98/006	UNFPA	3/11/98	T	DO	263
03093	SUBPR. SALUD SEXUAL REPROD. SALUD	N	80L/98/007	UNFPA	3/11/98	T	DO	485
03094	SUBPR. SALUD SEXUAL REPROD. TRANSVERSALES	N	80L/98/008	UNFPA	3/11/98	T	DO	183
03096	SUBPR. SALUD SEXUAL REPROD. TRANSECTORIALES	N	80L/98/009	UNFPA	23/12/98	T	DO	1,250
03096	BI. ALFABETIZACION PARA SALUD REPRODUCTIVA	D	80L/98/003	UNFPA	6/11/98	T	DO	3,000
03097	CAPACITACION SALUD SEXUAL Y REPRODUCTIVA	N	80L/98/002	UNFPA	6/11/98	T	DO	446
03266	PROY. CENSO 2000 INE. POBLACION Y DESARROLLO	N	80L/98/003	UNFPA	30/11/98	T	DO	70
03267	UNIDAD POL. POBL. POBLA. ESTRATEG. DESARROLLO	N	80L/98/002	UNFPA	21/12/98	T	DO	144
03268	APOYO PARA ESTRATEGIAS DE POBL. Y DESARROLLO	N	80L/98/001	UNFPA	21/12/98	T	DO	244
UNFPA								
Agencia UNICEF								
03049	POLITICAS PUBLICAS PARA LA NIÑEZ Y LA MUJER	N	YT001	UNICEF	19/03/98	F	DO	4,649
03050	DESARROLLO MUNICIPAL Y FAMILIAR	N	ZC002	UNICEF	19/03/98	F	DO	37,610
03051	PROANDES	D	Z2004	UNICEF	18/03/98	F	DO	16,000
03062	AMAZONIA	M	Z2006	UNICEF	19/03/98	F	DO	3,200
03063	ASISTENCIA TECNICA (APOYO AL PROGRAMA)	N	YP003	UNICEF	19/03/98	F	DO	2,321
UNICEF								
Agencia USAID								
02184	DESARROLLO PEQUEÑA EMPRESA	I.	611-0586	USAID	31/09/88	F	DO	14,350
02185	PROMOCION DE EXPORTACIONES	D	611-0686	USAID	15/11/88	F	DO	20,884
02174	SALUD INFANTIL Y COMUNITARIA ICCHI	D	611-0694	USAID	29/07/88	F	DO	24,286
02178	PREVENISION Y CONTROL DEL SIDA Y E S T	D	611-0608	USAID	28/02/88	F	DO	6,400
02181	SALUD REPRODUCTIVA	D	611-0668	USAID	31/07/80	F	DO	12,712
02201	DESARROLLO REGIONAL COCHABAMBA	D	611-0617	USAID	6/03/91	F	DO	80,000
02203	COM. INITIZACION SOBRE DROGAS *	D	611-0813	USAID	12/09/91	F	DO	8,130
02204	EDUCACION RADIAL INTERACTIVA A DISTANCIA	D	611-0818	USAID	30/09/91	F	DO	481
02207	PROYECTO BOLIVIANO DE BECAS PARA LA PAZ	D	611-0811	USAID	6/06/91	F	DO	7,811
02208	POLITICAS DE REFORMA	D	611-0816	USAID	29/09/92	F	DO	7,000
UNICEF								
USAID								

República de Bolivia  
 Ministerio de Hacienda  
 Viceministerio Inversión Pública y  
 Financiamiento Externo  
 (S I S F M )

表 5 9 ( 附 1 1 ) : 1 9 9 9 年 に 关 連 中 の 国 際 無 償 協 力  
 Convenios en Ejecución  
 Donaciones

Reporte - 1  
 Pág. 11 de 11  
 29/11/99 9:53:08 AM

( En miles de dólares ) ( Unit : US\$ 1,000. - )

No. de Convenio	Nombre del Proyecto	Alcan.	No. de Contrato	Agencia	Fac. Suscr. Contrato	Fec. Ultimo Daemb.	Tipo de Cooperac.	Tipo de Financ.	Monto
02210	ADMINISTRACION DE JUSTICIA EN BOLIVIA	D	611-0828	USAID	20/09/92	30/09/02	F	DO	12,838
02233	RECURSOS HUMANOS PARA EL DESARROLLO	D	611-0831	USAID	6/08/93	31/03/98	F	DO	5,480
02234	MANEJO FORESTAL SOSTENIBLE	D	611-0821	USAID	26/08/93	30/09/98	F	DO	8,398
02236	PROYECTO PARA EL DESARROLLO Y SOPORTE DES DEMOCRATICO Y PAZI CIUDADANIA	D	611-0000 16	USAID	30/08/94	25/01/97	F	DO	705
02238	PROGRAMA DE MICROFINANZAS	D	611-0834	USAID	11/01/95	30/09/02	F	DO	13,470
02240	PROGRAMA DE MICROFINANZAS	D	611-0837	USAID	28/08/95	30/09/02	F	DO	6,681
03008	CONVENIO SECTORIAL EN OPORTUNIDADES ECONOMICAS	N	611-0837 01	USAID	27/08/98	30/09/02	T	DO	8,758
03037	PROGRAMA DE RECUPERACION ECONOMICA (1998)	N	611-0842	USAID	27/08/98	30/09/98	F	DO	4,000
03038	CONVENIO SECT ESPECIAL PARA ANTINARCOTICOS	D	611-0643	USAID	27/08/98	30/09/02	F	DO	16,443
03039	CONVENIO DE DONACION SECTORIAL EN SALUD	N	611-0844 02	USAID	27/08/98	30/09/02	F	DO	7,239
03163	MEJORAMIENTO DE COBERTURA DE SERVICIOS DE SALUD	N	611 0844 00	USAID	1/01/94	30/09/02	T	DO	1,524
03154	CONVENIO DE DONACION SECTORIAL EN MEDIO AMBIENTE	N	611 0821 01	USAID	13/06/97	30/09/02	T	DO	11,790
03754	PROGRAMA DE RECUPERACION ECONOMICA (1999)	N	611-0845	USAID	27/08/99	20/12/99	F	DO	8,029
USAID									278,898
<b>TOTAL GENERAL</b>									1,280,142

表-60: 2000年度のマクロ経済指数

国内総生産 (PIB)成長率	4.0~4.5%
年間平均通貨換算レート	Bs. 6.15/US\$.
年度末累積インフレ率	4.0~4.5%
国内総合生産 (PIB)予測額	Bs. 54,224,000,000.00
国内税増収率	9.9%
関税増収率	21.8%
財政赤字	(国内総生産の) 3.7%

表-61: 公共部門全体の確定予算 (2000年度予算案)

(単位: Bs.)

収入の部	合計	支出の部	合計
一般収入	15,599,529,079.00	一般支出	14,544,552,549.00
営業収入	2,505,248,248.00	給料・賃金	4,751,736,614.00
資産・サービス売却	496,193,135.00	社会保険負担金	232,107,498.00
税収	8,731,178,332.00	社会補償金	175,518,816.00
還元税収	826,569,136.00	資産・サービス費	3,726,854,782.00
社会保険金	483,869,840.00	対外公共債務利子	533,401,641.00
一般無償供与	904,757,754.00	国内公共債務利子	713,449,624.00
一般振替え	97,091,417.00	社会保険提供	2,013,751,432.00
*民間部門	97,091,417.00	一般振替え	2,248,782,722.00
*公共部門	0.00	*民間部門	1,565,206,352.00
*外国部門	0.00	*公共部門	624,674,412.00
その他一般収入	1,554,621,217.00	*外国部門	58,901,952.00
資本収入	1,349,478,518.00	その他一般支出	148,949,412.00
資本供与	514,135,963.00	資本支出	4,824,756,804.00
資本金振替え	0.00	固定資本金粗形成	4,444,490,247.00
*民間部門	0.00	資本振替え	329,441,385.00
*公共部門	0.00	*民間部門	329,441,385.00
*外国部門	0.00	*公共部門	0.00
その他資本収入	835,342,555.00	*外国部門	0.00
融資	7,116,272,998.00	その他資本支出	58,825,172.00
国際融資	2,592,790,405.00	融資返済	4,695,971,242.00
国内融資	4,523,482,593.00	対外公共債務返済	1,072,773,136.00
収入総計	24,065,280,595.00	その他債務適用資金	3,623,198,106.00
		支出総計	24,065,280,595.00



表-62：公共投資予算（2000年度予算案）

（単位：Bs.）

機 関	予 算 額	自治体政府投資予算額	開発基金振替額	合 計
中央政府	1,697,970,825.-			1,697,970,825.-
省/分権機関	1,686,414,104.-			1,686,414,104.-
副大臣領府	7,995,000.-			7,995,000.-
外務・宗務省	894,805.-			894,805.-
大 蔵 省	16,578,925.-			16,578,925.-
経済開発省	81,032,615.-			81,032,615.-
教育・文化スポーツ省	210,817,117.-			210,817,117.-
保険・年金省	258,367,562.-			258,367,562.-
農牧・農村開発省	107,102,068.-			107,102,068.-
持続開発・企画省	140,444,167.-			140,444,167.-
貿易・投資省	7,421,425.-			7,421,425.-
住居・生活基盤整備省	29,339,006.-			29,339,006.-
大臣領府省	17,753,716.-			17,753,716.-
内 務 省	3,750,550.-			3,750,550.-
司 法 権	4,977,814.-			4,977,814.-
国家選挙委員会	14,313,395.-			14,313,395.-
道路公団（SNC）	785,625,939.-			785,625,939.-
公営企業	11,556,721.-			11,556,721.-
海運公社	369,000.-			369,000.-
鉱山公社	8,794,261.-			8,794,261.-
ピント精練会社	2,393,460.-			2,393,460.-
地方協調融資	467,913,597.-		109,335,490.-	577,335,490.-
社会投資基金	191,606,364.-		15,270,222.-	206,876,586.-
農民開発基金	132,910,554.-		8,265,720.-	141,176,274.-
地方開発基金	94,312,534.-		85,799,548.-	180,112,082.-
PASA	46,023,041.-			46,023,041.-
環境基金	3,061,104.-			3,061,104.-

=次頁に続く=

参考資料-VII: 2000年度予算案

=抜き=

(表-62: 2000年度公共投資予算案)

(単位: Bs.)

機 関	予 算 額	自治体政府投資予算額	開発基金振替額	合 計
県 庁	853,111,679.-			853,111,679.-
チュキサカ	61,872,933.-			61,872,933.-
ラバス	111,024,300.-			111,024,300.-
コチャパンバ	165,446,729.-			165,446,729.-
ポトシ	75,101,442.-			75,101,442.-
オルロ	80,151,370.-			80,151,370.-
サンタクルス	104,186,328.-			104,186,328.-
タリハ	76,356,772.-			76,356,772.-
ベニ	55,647,311.-			55,647,311.-
バンド	23,156,682.-			23,156,682.-
県分権機関	100,167,782.-			100,167,782.-
自治体政府	37,921,549.-	606,701,035.-		644,622,584.-
市役所	8,954,141.-	606,701,035.-		615,655,176.-
現地公営企業	28,967,408.-			28,967,408.-
総 計	3,056,917,650.-	606,701,035.-	109,335,490.-	3,772,954,175.-

表-63: 公共投資の県別配分 (2000年度予算案)

(単位: Bs.)

県	投資予算額	自治体政府投資予算額	開発基金振替額	合 計	%
チュキサカ	203,513,701.-	36,358,880.-	550,844.-	240,423,425.-	6.4
ラバス	432,917,219.-	187,720,483.-	675,774.-	621,313,476.-	16.5
コチャパンバ	483,830,794.-	107,512,160.-	15,832,644.-	607,175,598.-	16.1
ポトシ	250,277,299.-	60,655,219.-	543,735.-	311,676,253.-	8.3
オルロ	224,127,217.-	31,233,720.-	1,233,720.-	257,051,031.-	6.8
サンタクルス	502,914,055.-	132,631,198.-	85,376,146.-	720,921,399.-	19.1
タリハ	198,858,728.-	24,587,380.-	680,527.-	224,126,635.-	5.9
ベニ	207,339,803.-	22,747,893.-	4,242,100.-	234,329,796.-	6.2
バンド	56,716,045.-	2,797,728.-		59,513,773.-	1.6
全国規模計画	496,422,789.-			496,422,789.-	13.2
総 計	3,056,917,650.-	606,701,035.-	109,335,490.-	3,772,954,175.-	100

表-64：部門別投資配分（2000年度予算案）

（単位：Bs.）

部門	投資予算額	自治体政府投資予算額	開発基金振替額	合計	%
生産部門	418,239,562.-	37,226,826.-	5,929,544.-	461,395,932.-	12.2
石油・ガス					0.0
輸送	35,190,005.-			35,190,005.-	0.9
工業	30,646,155.-	2,470,594.-	429,219.-	33,545,968.-	0.9
農牧業	362,403,402.-	34,756,232.-	5,500,325.-	392,659,959.-	10.4
基礎構造物	1,105,279,622.-	109,303,356.-	3,802,033.-	1,218,385,011.-	32.3
輸送	1,069,992,654.-	73,472,704.-	2,302,205.-	1,145,767,563.-	30.4
エネルギー	12,767,273.-	21,462,289.-	1,473,042.-	35,702,604.-	0.9
通信		714,397.-		714,397.-	0.0
水資源	22,519,695.-	13,653,966.-	26,786.-	36,200,447.-	1.0
社会部門	1,264,988,001.-	453,999,455.-	99,603,913.-	1,818,571,369.-	48.2
保健・医療	379,971,000.-	28,412,603.-	463,778.-	408,847,381.-	10.8
教育	463,595,374.-	94,945,218.-	1,764,190.-	560,305,502.-	14.9
基本衛生	360,071,174.-	90,033,115.-	84,326,508.-	534,430,795.-	14.2
都市計画	61,330,453.-	240,608,519.-	13,048,719.-	314,987,691.-	8.3
多部門間計画	268,430,465.-	5,171,398.-		274,601,863.-	7.3
総計	3,056,917,650.-	606,701,035.-	109,335,490.-	3,772,954,175.-	100

## 財政状態の推移に関する報道

1998年 9月

- ① 国税局の 8月の国内税徴収額は Bs. 518,000,000.- (US\$. 93,000,000.-)であるが、これは、1998年度予算法に定める同月の目標額の 6% 減であり、金額にして約 Bs. 33,600,000.- の収入減を意味する。1998年度の国内税収目標額は Bs. 6,831,000,000.- であるが、8月末までに Bs. 4,054,000,000.-の国内税収しか得ておらず、目標額の達成が危ぶまれている。関税の方は、更に不振であり、目標額は達成できないであろう。
- ② 1998年度上半期の公共投資予算の消化は、9県平均で 18.37% であり、史上最悪の事態とも言えるが、これは県の開発を顧みないで政党活動に走り過ぎた県知事その他の責任であるとしている。県庁は、地方分権化で課された県開発機関の役割を忘れ、単なる政党事務所に変貌し、与党間の分裂をも招いていると世論は非難している（県庁の公共投資予算額と上半期の実績は、参考資料-IIIの表-24を参照せう）。
- ③ 1999年度の予算案の作成が始まった。1999年には、経済成長率 5.5%、インフレ率 6%、国庫赤字 3.1% が予定されているが、現政権の Plan Operativo de Accion (POA:業務活動計画)によると、1999年の経済成長率は 5.2%、国内総生産(PIB) US\$. 9,176,000,000.-、投資総額は国内総生産の 21.7%である US\$. 1,988,000,000.-、公共投資は国内総生産の 8% である US\$. 767,000,000.-、国家総収入は、国内総生産の 25%が見込まれていた。1999年度の予算には、司法審議委員会、立憲審議法廷、人民擁護局など、新設された機関の予算も含まれることになる。大蔵省は、全ての公共機関が、年度業務計画 (POA)に従って予算案を作成し、期日までに提出しなければならないと表明した。更に、アジアに端を發し、ロシアを巻き込んで、ブラジルやアルゼンチンにも飛び火した経済危機は危険な赤信号でもあることより、これに対して、ボリヴィアの経済安定を保つために、来年度は国家財政を引き締め、一般経費の支出を膨らませないようにする必要がある。大蔵大臣は、後1ヶ月もすれば、国際協力機関や経済分析機関などが、この経済危機の原因、影響や解決策を出すであろうと、楽観視している旨を表明した。

- ④ 1998年度の補正予算案は、近々国会に提出されるが、国際通貨基金と合意した財政赤字の目標率 4.1% は、変わらないこと旨が確認された。1998年度の予算では、財政赤字は国内総生産の 4.1%、インフレ率 6.5%、経済成長率 4.7% が設定されていたが、上半期には、その目標が達成されている。新たに設立された人民擁護局、立憲審議法廷や司法審議委員会への割当て資金が、自己収入資金や国際協力資金で賄われ、補正予算に含まれることになる。
- ⑤ 98年度の公共部門全体の確定予算は、US\$, 4,196,858,852.-であったが、補正予算で約 7.7% のUS\$. 323,076,984.-が追加された。去る2月に承認された確定予算では、総予算額 Bs. 23,200,000,000.-、一般支出 Bs. 14,122,000,000.-、賃金・給料 Bs. 3,648,000,000.-、旧保険システムに属する定年退職者の年金 Bs. 1,197,700,000.-などが承認されていた。確定予算を 7.7% 追加することは、98年度のマクロ経済指数のインフレ率 6.5%、及び国庫赤字 4.3% には、全く影響しないとしている。更には、公共投資額を Bs. 70,000,000.- 増額するが、これは、県庁の投資予算の実施が低いことを、国際通貨基金に指摘されたことより、これを修正する目的を持っている。

追加収入資金は、公共投資資金として、CAF, FIDA, BID, IDA (世銀)、KfW (ドイツ)、OECD (日本) やスペインなどからの US\$, 49,727,041.00 の借款、同じく投資資金として、諸外国政府や国際協力機関からの US\$, 20,362,532.00 の無償資金協力、一般支出資金として、CAF, BID, IDA, スペイン、ドイツやフランスなどからの US\$ 47,521,922.00 の借款、同じく一般支出資金として、諸外国政府や国際協力機関からの US\$, 3,566,818.00 の無償資金協力、公営企業の営業収入金 US\$, 129,628,962.00、地方自治体政府の収入金 US\$, 6,193,694.00、国庫収入金 US\$, 60,122,181.00、及び勘定調整で得た資金その他の US\$, 5,953,834.00 で構成されている。国庫収入金は US\$, 60,122,181.00 であるが、その内、約 US\$, 20,000,000.00 は、密輸改造車の特赦通関で得た資金である一方、約 US\$, 6,000,000.- は NAFIBO (ネパールの金融機関) の昨年度の営業利益金である (詳しくは参考資料-II の表-17~23を参照)。他方、重債務最貧国 (HIPC) の債務軽減プログラムで、対外債務が棒引きされ、国家財政は一息ついている由。

1998年10月

- ① SANCHEZ DE LOZADA 元大統領は、99年度の予算策定に当っては、下記を考慮するよう、現政権に勧告した。
- 1) 世界の経済危機に影響され、当国の経済も落ち込んで行くことが予想されるので、99年度の予算は引き締めた簡素なものにする。
  - 2) 連立政権の公務員数の増加で、人件費などの一般支出が膨らんでいるが、一般経費を節約して、投資を増やす必要がある。
  - 3) 当国の主な外貨取得源である一次産業が、世界の経済危機で、落ち込んでいるので、この部門を奨励する政策と予算を立てる必要がある。
- ② 大蔵大臣は、ワシントンで開かれた世銀／国際通貨基金の総会に出席したが、その際に、現在の経済危機について、何らかの指針がもたらされることを期待していたが、何らの指針も出されずに、将来の国家財政方針について惑っている。経済危機は、当初の予想よりも深刻であり、国際市場の不況が長引くことが、予想され、当国の貿易収支に大きく影響することを危惧している。 斯様な状況下、バンセル政権は、ボリヴィアを襲いつつある世界の経済危機に対処するために、99年度の予算を引締める方針を打ち出した。 90% 以上が給料や賃金などに回されている一般支出項目を、厳密に管理する必要があるとしている。 公務員に対する給料政策は、一般の国民の給料水準にも作用するので、国民の反感を買うと思われるが、公共投資額を減らすよりは、善処策であろうとしている。 代わりに、保健、教育、基盤構造の部門の投資を強化する。 更に、この危機を乗り切るために、納税者層の幅を広げると共に、税金徴収のシステムを強化するよう、国際通貨基金から勧告された由。
- ③ 99年度の予算案の作成を終わりつつあるが、政府の運営を満足に行える最低限の一般経費を確保し、民間部門の活動に支えられた経済成長を保つと共に、インフレ率も予定通りに維持できるよう、公共投資を推し進めて行くとしている。 98年度の公共投資は、US\$, 500,000,000.- 程度に収まる予定だが、99年度は、国家収入にも左右されるが、US\$, 55,000,000.-程度を予定している。 98年には重債務最貧国 (HIPC) プログラムで、借金の棒引きを受けたが、その見返資金の1億5,000万ドルから2億ドルを、社会部門の特に教育と保健に投資する予定である。

- ④ 98年度公共投資予算の内、約 Bs. 24,000,000.00(US\$. 4,500,000.-) が、補正予算で、中央政府の人件費に振替えられた。これは、タリハ県内の道路建設(パドゥカ〜ラ・マモラ)の建設工事がストップしていること、同じく、タリハ県内のエンボロス〜デセンボケ間の道路建設が中止されたことより、その資金を回したものの。この振替えは、連立政権は、職場の取り合いで、余分な人間を抱えているし、県庁も余分な人間を抱え過ぎて、投資計画を実行できない証拠であると、野党側が非難している。98年度の公共投資予算は、Bs. 3,349,000,000.-に達したが、その43.4%は保健、教育、基本衛生や住宅などの社会部門に回された。

### 1998年11月

- ① 99年度の国家予算は、98年度の95%に押さえる。99年度の予算は、新設された立憲審議法院や人民擁護局の予算を含めても、98年度の予算の95%を超えることはない。98年度の確定予算は、Bs. 23,226,000,000.00であった。99年度の財政赤字は、3.1-3.6%に押さえるが、このために、政府は、国内税と関税の徴収額を大幅に増やして、国家収入を改善しなければならない。税関は4,000万ドル以上の増収を行わなければならない。更に、国家収入を増やすためにはVINTO 鋳造公社、石油公社の製油所とFANCESAセメント工場の民営化を急がなければならないし、社会保険補足制度の機関の解散と、不動産の売却も急ぐ必要がある。外国との貿易収支は、約9億ドルの赤字であるので、この面も改善する必要がある。国家機構の改革は、一般経費の大きな縮小をもたらしているが、この面も引き続き推し進めて行く。現在のところ、旧年金制度への支払いは、年間に約3億ドルに達している。98年度の予算では、保健と教育部門の賃金アップに、国会はBs. 225,000,000.-を承認した。

99年度の予算では、特に社会部門と基盤構造に対する公共投資を優先するが、この部門に、6億ドルの投資が予定されている。中央政府の一般経費は、98年度を少し上回るBs. 16,700,000,000.-に収める。財政赤字は、年金システムの改革もあることより、Bs. 1,689,000,000.- (約3億ドル)に達する。世界的な経済危機も影響したので、公共投資額は、98年度と同じ水準に設定され、公共部門の給料水準も凍結されることになった。目標の一つとして、財政赤字指数

参考資料-VIII: 財政関係の推移

を98年度の 4.1% から、99年度は 3.6% に押さえること、そのためには、98年度の年金基金 (AFP's)からの借入金約 US\$. 120,000,000.00を、99年度には US\$. 100,000,000.00程度に押さえ、代わりに、国債を発行する方針である。

- ② 99年度の賃金アップは名目的なものである。賃金アップは、保健と教育分野のみを対象に行われ、他の部門の給料ベースは据え置かれる。99年度の給料・賃金項目の予算は 2% 増であるが、これは、保健と教育部門のみを対象にしている。経済分析筋は、国の経済が成長しない限り、政府は、給料アップを行う資金を備えることができないので、緩慢な経済成長と生産性が低迷している現状では、給料改定は、できないであろうと述べている。99年度の予算は、一般支出の引締めが特徴であると、大蔵大臣は表明した。
- ③ 99年度の国家予算は、Bs. 24,260,000,000.00であるが、これは、通貨の換算レートを考えると、98年度と同じレベルの引締め予算であり、暫定予算で 5% アップ、確定予算で 3.5% アップになる。99年度は、インフレ率 5.5%、経済成長率 5.2%、財政赤字 3.6% が夫々予定されている。国内税の増収は、98年度は、97年度比で 3% が予定されていたが、99年度は、98年度比 9% が予定されており、関税の増収は、98年度の 4% から、99年度は 17% 増が予定されているが、これは、余りにも期待し過ぎであると見られている。

99年度の経済成長率を 4% 台から 5% 台に引き上げ、最終的には、5.2% の成長率を達成するために、約 6億ドルの公共投資を行うが、この他にも、民間部門の多額の投資を期待している。然し、歴代の政府は、これまで 4% 台の経済成長率の壁を超えることができず、例えば、97年度は 4.1% 台、98年度は 4.7% 台であったが、99年度は、達成不可能と見られる 5.2% の成長率を設定している。生産部門への投資は、今後は民間に任せ、政府は、専ら社会部門への投資に専念することになる。公共投資の 54% は、国家収入で賄われるが、残りの 46% は国際融資や無償協力に頼ることになるとしている。

- ④ 99年度は、最低賃金を Bs. 30.-/月アップする予定である。従い、最低賃金は 98年度の Bs. 300/月から、99年度は Bs. 330.00 になる。軍隊の予算は、Bs. 30,000,000.-がカットされる一方、国家警察は Bs. 6,000,000.-がカットされる。



軍隊と警察に属する人員の自然増は見送られた他、各省でも人員カットが行われる。中央政府の各機関は、規模の縮小を行うと同時に、能率と成果の向上を目指さねばならない。貧困対策は、マクロ経済の安定に伴った民間投資の奨励を必要とすることより、マクロ経済の安定を強調して行く。

99年度の予算では、経済成長率 5.2%、インフレ率 5.5%、国内税の増収率は、98年度の3%から99年度は 9%、関税の増収率は 17%が予定されている。公共投資は、6億ドルが予定されているが、民間投資は 7億ドルに達し、無償協力は 2億ドルに達するであろうとしている。世界的な経済危機は、98年中に終わることが予想されることより、99年度には、鉱物資源、大豆などの農産物、石油や天然ガスなどの世界市場も回復するであろうと期待している。

- ⑤ 公共投資部門が不調を来している。政府の1997～2002年業務活動計画 (POA: PLAN OPERATIVO DE ACCION) では、99年度は、年間に 7億 6,740万ドルの公共投資が計画されていたが、予算では 5億 9,960万ドルに止まることになった。他方、98年度の公共投資は、6億1000万ドルが予定されていたが、実際には、その 82% の 5億 200万ドルに止まった。98年度の公共投資は、63% の 3億 2,260万ドルが、国家収入で賄われ、残りの 37% の 2億 7,690万ドルは、国際融資や無償資金協力である。99年度の公共投資の振り分けは、35% の 2億 1,400万ドルが中央政府、開発基金などの協調融資が 16.9%の 1億100万ドル、県庁が 28%の 1億 6,900万ドル、及び自治体政府が 19%の 1億 1,400万ドルとなっている (資料-III:表-25~27参照)。

- ⑥ 99年度の予算では、重債務最貧国 (HIPC) プログラムの枠内で、7,000万ドルの借金の棒引きが予定されており、資金の大きな節約を意味する。PAISES POBRES MUY ENDEUDADOS (PPME=HIPC) プログラムの枠内で棒引きされた負債額は、99年から基本衛生、保健、教育や基盤構造などの社会部門に投資されなければならない。98年 8月末までの対外債務は、41億 5,800万ドルであるが、その主な内訳は、国庫が 29億 2,200万ドル (40%)、中央銀行が 4億 6,400万ドル (9%)、TRANSREDES (ガスパイプライン社) が 1億 5,200万ドル (1.5%)、ENDE(電気社) 6,100万ドル (1.4%) となっている。世銀や BIDなどの国際協力機関からの借金は、26億 9,200万ドルであり、二国間政府借款は、14億 3,700万ドルに達する。98年度には、総額

7 億ドルの融資が予定されているが、その内、世銀からは 2 億ドル、BID からは 2 億 3,000 万ドルが、夫々予定されている。99 年度の予算では、12 省の予算が 5% カットされた。各大臣は、公共投資を優先し、一般経費で無駄使いをしてはならない。

### 1998 年 12 月

- ① 99 年度の予算では、省庁や分権機関、立法権、司法権、会計検査院、国防委員会などで構成されている中央政府の予算は、98 年度予算額の 7.64% に相当する Bs. 1,298,345,086.- が増額された。中央政府の 98 年度予算は、約 Bs. 15,700,000,000.- であったが、99 年度は、約 Bs. 17,000,000,000.- になった。地方を犠牲にしたこの増額に、地方選出の代議士、県知事や地方自治体政府は、抗議している。中央政府の予算割当増は、人民擁護局、司法審議委員会や立憲審議法廷などの設立に伴う、司法権の改革費用も含まれていると、副大統領は、地方の抗議に反論した。世界的な経済危機で、当国の輸出産業は低迷しており、これ以上の予算増は認められず、中央政府を初めとする各公共機関は、経済の安定を計るために一般支出を節約し、公共投資を促さなければならないとしている。
- ② 国際通貨基金 (IMF) の評価ミッションは、99 年度予算案を承認した。98 年度の経済成長率は 4.7% であり、通貨準備高は 7 億、200 万ドル、対外公共債務は約 43 億ドルが確認された。評価ミッションが承認した 99 年度のマクロ経済指数は経済成長率 (国内総生産成長率) 5.2%、インフレ率 5.5%、財政赤字 3.6% などとなっている。

99 年度は、98 年度に比して、約 2 億ドル増の公共投資が予定されている。更に、HIPC プログラムで、今後 5 年間に、12 億ドルの借金の棒引きが予定されているが、棒引き額は、政府の 1997 - 2002 年業務活動計画 (POA) で定められた優先計画に従って、投資される。98 年度には、6 億 1,300 万ドルの公共投資が予定されていたが、実際には、その 82% の 5 億 200 万ドルに止まった。

- ③ 低い給料水準と乏しい公共投資 (経済専門筋のコラム) :  
毎年の国家予算は、実際には、どの経済部門や地方も満足させ得ないことは、明

らかである。大蔵大臣は、乏しい資金を振り分ける仕事は容易ではなく、苦勞がつきまとうと言っている。何れにせよ、ポリヴィアの場合、公共部門の給料レベルの低さや公共投資の質の低下は、政党による公共機関の過剰な取り合いは勿論のことながら、支出予算の粗悪で不適切な割当てや実施に起因しているが、この政府機構の構造的な問題は、単なるつぎはぎや調節で解決できるものではなく、公共支出の構成を根本的に変える必要がある。この数年間に、一般支出、言い換えるならば、官僚機構の運営費は、継続的に増えているが、もっとも悪いことは、公共投資の微々たる成長とは、反比例的に増えていることである。即ち、官僚機構の運営費は、毎年増えているが、公共投資は低迷し続けている。国家を運営して行くには、様々な機関や機能を備えなければならないことは、言うまでもないが、何も際限なく機関を増やして行くだけが可能ではなく、既存の機関の能率や効率を向上させることが、不可欠な先決問題である。この概念は、比較的簡単に理解できようが、実際に実行するには、大きな使命感と努力を要する。現に、これまでの政権は、国際協力機関などの勧告を簡単に受入れ、国には、これまで存在しなかった今流行の機関や機能を新設するための概念を、早々と習得し、公共機関を新設したり、機能を設けて来たりした。民主主義を確立するためには、新しい機関や機能を設計し実施することも必要ではあろうが、時代遅れの機関、現実にそぐわない機関や、任務が重複している機関などを解散、又は再編成することも必要であろう。この改革を行わなかったことより、国は多数の足と無数の吸盤をもったタコに変貌している。結果として、行政機構の合理化の欠如と、貧国独特の制限も伴った新しい国家機関（新しい吸盤）は、貧しい予算を伴って生まれる一方、従来为国家機関（古い吸盤）は、その都度弱まっていき、国は、無数の吸盤を持ち、大きい機構を有してはいるが、弱いタコに変貌して行っている。その良い例が大衆参加法や行政地方分権化法に伴う、中央政府機構の縮小と、県庁や自治体政府の権限や役割の拡大に伴う行政の地方分権化が挙げられるが、これは、行政機構と開発資金の分散と非能率をもたらしている。国の発展に、国家機関を強化して行く必要がある現在、国家機関の分散が低い給料水準を招き、結果として、公務員の乏しい職務遂行となって現れている。低い給料水準は、公務員夫々に、個人的に悪影響を及ぼすのみではなく、国家機関の貧弱な任務遂行と、公共投資の乏しい達成度をも招いている。現に、公共投資は、量的に不十分であるのみでなく、質的にも不十分であり、このままでは、非能率と貧困の悪循環から脱することはできまい。新しい機関を設立す

ることも必要ではあろうが、瀕死の状態にある無駄な機関を廃設し、無駄な経費を節約することが、先決問題であろう。存在しなくても困らない省、次官室、局長室、分権機関や分離機関を整理して、少ない資金を節約し、身軽で能率的な中央政府を樹立する必要が叫ばれているが、何時、誰が、この事業に着手するのであろうか。

- ④ 経済危機が、98年度の公共投資に災いした。98年度の公共投資予算は、約6億1,300万ドルであったが、実際には、5億200万ドルしか実施されていない。大蔵省は、6億1,300万ドルの資金を実際に備えていた訳ではなく、予算に於ける目標額であったことより、5億200万ドルの実施は、少ないなどの議論の余地はなく、実施額5億200万ドルを素直に受け止めるべきであると表明した。99年度の予算は、5億9,960万ドル相当が、目標額として設定されているが、この予算は、1月1日から消化されて行くことより、98年度に比べて、好成績が期待されるとしている（財務省-IIIの表-25~27を参照）。
- ⑤ 国会は、12月16日の深夜に、99年度予算法第1798号を承認した。野党側は、99年度の予算案は、世界的な経済危機に対して最も弱い社会部門と生産部門を保護する処置をとっていないと強硬に反対したが、与党側は、野党側を押し切って承認した。確定予算は、98年度予算の3.9%減のBs. 24,105,300,000.00である。政府の優先的な目標は、社会部門への公共投資、低いインフレ率、財政赤字の減少、国内税の9%増収と関税の17%増収を達成して、より大きな経済成長を遂げることにある。財政的には、可なり厳しい制限があるが、公共投資の約50%を社会部門に振り向ける。インフレ率は5.5%、経済成長率5.2%、公共部門の財政赤字は3.6%が夫々予定されている。国の政治と経済を安定させて、国内民間部門の大きな投資と外国資本の誘致を促す。公共部門では、支出を厳しく管理し、支出予算の秩序ある実施を促す。県庁の予算は、昨年度に比べて減ったが、これは、県庁の予算は、国際融資と国庫からの助成金に依存していることに起因している。にも関わらず、地方規模の公共投資予算は、逆に24%アップとなっている。国家予算に述べる自治体政府の予算は、共同参加配分金の部のみであり、自己収入資金については、記載されていない。賃金アップについては、教育と社会部門のみを対象に、上限5.5%までの賃金アップが予定されているが、この部門で、Bs. 1,650.-以上の基本給を得ている公務員は、賃金アップの

#### 参考資料-VIII: 財政関係の推移

対象にはならない。公共部門の投資予算については、ベニ、チュキサカ、オルロ、パンド、ポトシ各県の予算を計 Bs. 20,400,000.- 増額した。賃金アップは2%が承認され、最低賃金 Bs. 330.00/月が設定された。公共投資は、国内総生産の6.5%を意味する約6億ドルに設定されたが、これは、世界的な経済危機にも拘らず、ボリヴィアでは、引き続き投資がなされて行くとの予測に立ったものである。農業分野では、大豆、綿花その他の農業生産への投資が引き続き行われ、この部門への投資額は、公共投資と民間投資を合わせると、全投資額の20%に達するであろうとしている。99年度の予算では、財政の安定、及びバランスの取れたマクロ経済、と経済成長率を確保するために、必要な条件を醸し出すための信頼性の確立を目指している。

- ⑥ 大蔵省の公共投資次官は、99年度の予算は、1月から実施しなければならないと9県庁に警告した。99年度の公共投資予算は、約6億ドルに達するが、その内、2,400万ドルは、国庫から割当てられる。この資金は、石油製品特別税(IEHD)や県補償基金と一緒に、毎月定期的に払い込まれて行くので、投資予算の実施遅延はあり得なとしており、99年度には、100%の消化を行わなければならないと警告している。
- ⑦ 98年度の全県庁の平均的な予算消化は、予算額の50%以下と言った惨澹たる結果であったが、県庁は、これについて、予算案の承認が2月に行われ、実際の振り込みは3月から始まったことより、公共投資に大幅な遅れをきたしたとしているが、99年度の資金は、1月から振り込まれるので、98年度の言い訳は聞かないと、大蔵省は言っている。99年度の暫定予算総額は Bs. 32,365,542,484.00であり、確定予算総額は Bs. 24,105,293,864.00に収まった。公共投資の予算は、約 Bs. 50,000,000.00 の増額が行われた。

#### 1999年 1月

- ① ボリヴィア経済の深刻な問題は貿易赤字。97年度の貿易赤字は、約6億3,700万ドルであったが、98年度は、約8億ドルに達した。ボリヴィアは、99年に約4億4,000万ドルの無償資金協力を受けることが、ほぼ確定している。

② 財政状態に関する批判 (コラム) :

85年から実施されている構造改革政策は、労働者の大量解雇、公営生産部門の閉鎖、労働市場と商品市場の自由化、家族収入を大幅に減らした厳しい通貨切下げなどの、大衆社会層の大きな犠牲の上に成り立っている。この構造改革政策は、安定した常設的な職場の不足、購買力の失墜、労働市場の自由化、公営企業の民営化、失業の恐れと生活不安などの一連の重荷を、毎年の如く大衆社会層に投げ掛けている。政府は、外貨準備高、インフレ率の低減、銀行預金高の増加、民営化された企業に対する外国投資の増加、マクロ経済指数の達成などを引き合いに出して、経済政策の成功を毎年声だかに叫び、社会経済の現実を隠しているが、大半の国民の生活条件の悪化、貧困や辺境性の増加などに見られるごとく、社会経済は、日に日に悪化している。過去10年間の経済成長率は、平均 4% で推移してきたが、これでは、国民大半の生活条件を改善し、貧困問題を克服するには十分ではなく、逆に、政治階級と政府に癒着した企業家の私腹を肥やしているだけである。政府の経済部門当局は、何故、もっと大きな経済成長を遂げることができないのかとの疑問を抱き、国際協力機関などにも相談したりしているが、その原因は、収入の不均衡な配分、民営化、社会保険制度の粗悪な改革、汚職政治、密輸、農村部の後進性、生産機能の崩壊などと、言うまでもなく明白である。他方、政府とその管下の統計機関は、世界的な経済危機やエル・ニーニョ現象がボリビアにもたらしている影響も考えずに、ボリビア経済は、好調に進展していると述べているが、経済の低迷、通貨の切下げや購買力の低下を理由に、政治階級は、自己の給料アップを行っていることは、何とも皮肉なことである。99年度の展望は、政府が述べるように楽観的なものではなく、世界的な経済危機の後遺症、低い賃金レベル、2万人以上の労働者の解雇、労働市場の自由化などで、景気の後退と失業問題などの暗い影を投げ掛けていることより、市民社会は、政府と与党に対して、国民の重荷を軽減する経済修正策を緊急に取り入れるよう、声を枯らして叫んでいる。

1999年 2月

- ① 1998～2000年経済計画について、ボリビア政府と国際通貨基金は、1) 経済成長率は、1998年 5% 以下、1999年 5.5%、2000年 6%、2) 1999年のインフレ率

は6%以下、2000年のインフレ率は 5.5% 以下に押さえると共に、貧困指数を減らして行くことが合意されていたが、ブラジルその他の近隣諸国の経済危機が、当国に深刻な影響を与えつつあり、ここにきて、99年度の経済目標を達成できない恐れが出て来たことより、政府は、早くも、マクロ経済指数の変更を国際通貨基金と交渉する旨を決定した。

### 1999年 3月

- ① 国際通貨基金と交渉した結果、99年度の経済成長率は、5.2% から 4.5～5%に縮小、財政赤字は、3.6%から3.9%に拡大し、3,000万～4,000 万ドルの追加融資の可能性を得たが、追加融資が得られた場合、その資金は、道路の復旧と維持管理に回される。貿易収支の赤字幅を、98年の7.9%から、99年には7.2%に押さえる。この見直しは、経済危機が長引き、ボリヴィアの主要輸出産物である農業や鉱業部門の原料産物の国際市場価格の回復が、上半期には見込まれないことと、長引く雨で、特に東部地域の農業生産量が低下したことなどを考慮して行われた。更に、石油公社やピント鑄造公社の民営化を早急に行うと共に、納税改革法と関税法を早急に発布することが約束された。借金の棒引きがなければ、ボリヴィアの対外債務は、80億ドルに達する。政府は、借金の棒引きに、多くの努力を払った結果、現在の対外債務は、42億ドル程度になった。棒引き分は、保健、教育、基本衛生などの社会分野に投資される。
- ② 政府は、国立大学に対する国庫振替え金を、4.4% 増の総額 1億 1,000万ドルに増やす旨を大学に提案した。これは、国庫収入の 10%を意味する。これに対し、大学側は、大衆参加法と行政地方分権化法が発布されるまでは、税収は政府 75%、地方開発公社 10%、自治体政府 10%、大学 5% に配分されていたが、大学は、地方開発公社から、更に2.5%の配分を受けていた。大衆参加法と行政地方分権化法により、政府 75%、自治体政府 20%、大学 5% に再編されたが、これを政府 70 - 72.5%、自治体政府 20%、大学 7.5% にするよう、政府に要求したが、政府は 1億1,000 万ドルの助成金を出すので、その要求は受け入れられないと、却下した。

- ③ 密輸改造車の特赦通関の期間を、99年 2月まで延長したことで、約 1億 1,000万ドルの追加収入を得たが、国内税と関税の徴収は低迷しており、上半期は、不調に終わろう。 99年度の第 1 四半期の税収は、国内税が予定の18%、関税が予定の 12%に止まり、大蔵省は心配している。 低い徴収率は、国内外の経済環境、徴収監督の不足、滞納者の係争問題、関税局員の業務の怠慢などが原因であるとされている。 但し、下半期には回復して、国内税と関税は、99年度予算に示す予定通りに、前年度に比して、夫々 9% 及び 17%アップして、予定の12億ドルの徴収額に達するであろうと発表した。 12億ドルの 20%である 2億 4,000万ドルは、共同参加配分金として 314の自治体政府に配分される。

#### 1999年 4月

- ① 大蔵省公共投資次官の発表によると、公共投資予算額約 6億ドルの 50%は、保健、教育、基本衛生などの社会部門に仕向けられる。 これに、農業部門に対する公共投資を加えると、社会部門への投資は、投資予算総額の 60%に達する。 更に公共投資の 25%は、教育改革、保健対策や政府の統治性の確立などの諸計画やプログラムに仕向けられる。 公共投資予算額の中の 3,300万ドルは、国庫が直接負担するが、残りの資金は、地方還元税、石油製品特別税、県補償基金や国際協力資金で賄われる。 予算は、1月から実施されているので、年末には、100%が消化されるよう期待している。

#### 1999年 5月

- ① ボリヴィアの99年 3月末の対外公共債務は、1998年12月末に比べて 1億 4,380万ドル減ったが、前年度の 3月末と比べると 1億 2,080万ドル増えている。 但し、98年の半ばに国際通貨基金との間で合意した、重債務最貧国 (HIPC) プログラムによる対外債務の棒引きは、未だ計上されていないことを留意しなければならない。 99年 3月末の対外債務の内訳は、BID、世銀、CAF、FONPLATA、FIDAその他の国際協力機関が 63.7%の27億 280万ドル、日本、ドイツ、ベルギー、スペイン、オーストリア、イタリア、フランス、アメリカ合衆国、イギリス、オランダ



その他の二国間債務が 35.8%の15億 1,660万ドル、外国の民間部門からの借金は 0.5%の 2,120万ドルとなっている。 借入金受入機関別に見ると、国庫が 73%の 30億 9,560万ドル、中央銀行 4億 6,860万ドル (11%)、TRANSREDES (ガスパイプライン会社) 1 億 2,690万ドル(3%)、地方開発基金 1億 2,910万ドル (3%)、その他 ENDE(電力公社)、FONDESIF(金融システム国家基金)、CORANI電力会社、石油公社、GUARACACHI電力会社、サンタクルス県庁、SAMAPA (ラパス市水道公社)、ENTEL(電力公社)、BANCO INDUSTRIAL(BISA: 興業銀行) などである。

### 1999年 6月

- ① ボリヴィアは、国家社会経済開発計画の4本柱である尊厳、機会、平等、制度化を推し進めるために、2002年までに 9億ドルを世銀の債権国グループから取得すべく、交渉に旅だった。 この交渉では、環境保護や大衆参加の成果についても説明することになっている。

### 1999年 8月

- ① 99年 7月末までの国内税収は、予定の Bs. 4,210,000,000.-に比べ、12.41%減の Bs. 3,679,000,000.- に止まっているが、その原因として、世界的な経済危機による国内経済の減速、税収予算の過大設定、納税者の不正申告、偽領収書の提出や脱税などが挙げられている。 税収は、7月末までに Bs. 500,000,000.-の累積赤字を記録しており、年末までに取り戻すことは、ほぼ不可能となったが、この状態を少しでも改善すべく、努力を払って行く。 最も大事なことは、国家の収入と支出の均衡を保ち、国家経済の安定を崩さないことである。 結果として、公共投資の目標は、達成されないことが、確実となった。

### 1999年 9月

- ① 国会は、99年度確定予算の 2.47%相当の約 Bs. 807,000,000.-を追加する補正予

#### 参考資料-VIII: 財政関係の推移

算を9月24日に承認した。追加額の内、約 Bs. 701,000,000.-は、社会保険金庫 (CNS)などの自己収入資金に由来し、残りの約 Bs. 97,000,000.- は、国庫の臨時支出費や給料・賃金の項目からの振替えである (参考資料-V:表-53/54を参照)。

- ② 大蔵省は、2000年度の予算は、99年度の収入予算の30%減をベースに作成するよう、全ての公共機関に指示した。公共機関は、公共投資諸計画の優先度に従って支出予算を策定し、他の予算項目は、10%から30%の削減を行うことになる。更に、各公共機関の業務の効率と目標の達成度を評価するために、予算案に業務効果指数を添付するよう要求した。2000年度の予算では、全ての分野が、同じ待遇を受ける訳ではなく、99年度に比べて予算の削減を受ける分野と、逆に予算が増える分野が出てくる。保健、教育、基本衛生、基盤構造物などの社会分野の投資と一般経費に、国際協力機関から多額の援助約束を取り付けているので、これらの分野の公共投資計画に、資金を優先的に割当てる。99年度の国内税収と関税収入は、余りにも過大に設定されたが、2000年度は、現実的で効率的な税収を設定する。2000年度の政府の収入源は、国内税と関税による収入、無償資金協力やソフトな国際融資などの外国資金と、AFPs (年金基金) からの国内融資に限定される。2000年度には石油公社、VINTO 精練公社、SAMAPA (ラパス鉄道公社)、MILKA 乳製品会社、SETAR (カリフォルニア公社)、SEPSA (ボリボボ公社)、HUANUNI 鉱山、COLQUIRI 鉱山その他が民営化されるが、それにも関わらず、支出予算は、99年度にも増して引締めるとしている。例えば、石油公社と VINTO製錬所の民営化で、夫々 Bs. 4,400,000,000.-及び Bs. 300,000,000.-の節約がもたらされるとしている。99年度の財政赤字については、3.9%の目標を達成する。99年9月末の財政赤字は、1.6%であるが、年末には、給料・賃金の予算項目が倍増することもあり、目標額にほぼ近づくであろうとしている。

#### 1999年10月

- ① 税務政策次官によると、政府は99年度の国内税収の目標額を Bs. 6,800,000,000.-、関税収入の目標額を Bs. 700,000,000.-に夫々設定し、国会の承認を受けたが、これは、国際的な経済危機の真のインパクトを予測できなかった過大設定であるとしている。国税局は、9月末までに Bs. 4,560,000,000.-を徴収し、98年度

9 月末の Bs. 4,500,000,000.- に比べて Bs. 60,000,000.- の増収であるが、99年度の目標額の 20% 減となっている。税関は、9 月末までに Bs. 456,000,000.- を徴収し、98年度 9 月末の Bs. 423,000,000.- に比べて Bs. 33,000,000.- の増収となったが、99年度目標額の 20% 減となっている（参考資料-V:表-55/56を参照）。

政府は税収の不振による国庫赤字を埋めるために、現在、国内に 25,000 台以上もある密輸改造車の特赦通関を再開することを決定し、CONAPE（国家経済政策委員会）の承認待ちにあるが、新車の輸入業者の反対を受けている。

### 1999年11月

- ① 99年度の財政赤字は、3.9%に見直されたが、年末までには、4.1%に達することが、ほぼ明らかになった。赤字幅は、0.2%の増率であるが、これにて、政府は約 1,800 万ドルの借金を行うことができるが、この借金で、生産部門の活性化が行われるとしている。8 月末までの財政赤字は、1.6%に収まっていたが、年末には、一般経費の中で、特に給料・賃金の支出が倍増するので、4.1%の財政赤字は避けられないであろうとのこと。0.2%アップした赤字は、年金基金管理代理業者 (AFPs) から借入する予定である。尚、99年度のインフレ率は、3%前後に収まるであろうとしている。
- ② 大蔵大臣の発表によると、2000年度の賃金アップは、未だ検討されていないが、今年のインフレ率を補う 2.5% から 3% 程度に止まるであろう。99年には国内経済が低迷し、減速経済となったが、2000年も、経済は引き続き低迷すると見られることより、2000年度のマクロ経済指数は、経済成長率 4.5%、インフレ率 4.5%とし、財政赤字は 3.7%にすることが、国際通貨基金との暫定協約で設定された。3.7%の財政赤字の内、2.3%は国際協力に頼り、残りの 1.4% は年金基金 (AFPs) からの国内融資に頼ることになる。通貨政策は、2000年度も、99年度の政策を維持し、通貨準備高を現状のまま保ち、6ヶ月以上の輸入を保証する資金を常に備えるとしている。国際通貨基金と結ばれた暫定協約は、来年早々には、最終的に合意しなければならないが、納税改革法、国税局再編成法、銀行金融法、運輸法、社会保険基本法、労働改革法などの発令と実施が予定されている。

これらの合意に至ると、ボリヴィアは、第二次重債務最貧国プログラム(HIPC-II)の恩恵を被り、対外債務約7億ドルの棒引きを受けることになるが、その資金は、貧困対策に投資される。政府は、2000年度のマクロ経済指数を達成するために国内貯蓄高の増加、税収の向上、納税対象者の拡大などの他に、各種の統一税対象者を一般の税制に編入するなどの課題を達成しなければならない。99年度のインフレ率は、3%前後に収まるが、2000年度の賃金アップは、99年度のインフレを補うだけの2.5~3%程度に止まるとしている。

- ③ 商工会議所は、99年度の経済成長率は、どう見ても2.2%程度であり、国際的な経済危機は、未だ続いていることより、2000年度の経済成長率を4-4.5%に設定して、国民を惑わしてはならないと、政府に警告した。政府は、99年度の成長率を、当初は5.2%に設定し、その後4.5%に減らしたが、現実には、上半期の成長率は1.5%程度であり、その後上昇したとしても、年末には2.2%程度に止まるであろうとしている。ボリヴィアよりも強い経済構造を備えているチリでさえも、10年間に渡って7%の成長率を維持した後で、ここにきて急に0.5%に落ち込んだ現状を踏まえるべきであるとしている。
- ④ 大蔵省の公共投資・国際金融次官の発表によると、99年度の公共投資予算額は、約6億1,300万ドルであるが、6月末までには、2億2,200万ドルしか消化されておらず、低い水準に止まっている。但し、公共投資は、通常下半期から活発になるので、年末までには、目標額が達成されるよう期待するとしている。公共投資全予算額の3分の2は、地方自治体規模及び県規模の公共投資に仕向けられた、即ち、自治体政府、県庁と協調融資を行う社会投資基金や開発基金によって実施され、残りの3分の1が、中央政府担当の公共投資に仕向けられた。上半期には、国際的な経済危機や気象条件などが災いして、予算額の36.2%のBs. 1,267,000,000.- (2億2,220万ドル)が実施されたが、Bs. 782,000,000.-は、国内資金で賄われ、残りのBs. 486,000,000.-は、借款や無償資金協力などの国際援助で調達されたものである。社会部門には、Bs. 632,000,000.-が投資されたが、その内訳は、基本衛生部門にBs. 226,000,000.-、教育・文化部門にBs. 175,000,000.-、住居・生活基盤整備部門にBs. 146,000,000.-、及び保健部門Bs. 84,000,000.-となっている。基盤構造部門にはBs. 452,000,000.-が投資されたが、その内訳は、夫々、輸送Bs. 399,000,000.-、エネルギー(電力)

Bs. 26,000,000.-、水資源 Bs. 26,000,000.-、及び通信 Bs. 378,000.-となっている。農業部門には Bs. 86,000,000.- が投資された。石油、鉱業、工業、観光などの他の生産部門への公共投資は、民営化の結果として、微々たるものであるが、その代わり、上半期には外国資本 4億ドルの直接投資が行われた。

- ⑤ 大衆参加次官によると、314 の自治体政府は、2000年に、総額約Bs. 13億に達する大衆参加資金（共同参加配分金）を受け取るが、自己収入金を適格に徴収する一方、非政府機関などの援助機関からの特別援助を適切に導入すれば、収入資金を倍増することもできよう。自治体政府は、全体として、自己収入資金の徴収と管理の能力に欠けているが、これを克服して、経済的な効果を上げるために、政府は、政府管理監督法とそのシステムの普及、財政管理能力、経理能力、人的資源の管理能力などの向上を促すとしている。地方自治体開発計画（PDM）や年度業務計画（POA）を満足に備えていない自治体政府も多いが、この分野も改善して行く必要があるとしている。
- ⑥ 大蔵省の予算・会計次官によると、2000年度の公共投資の 95%は、社会分野と基盤構造部門に仕向けられ、バンセル政権が押し進めている貧困対策に立ち向かうことになる。2000年度の投資予算は、約 Bs. 3,772,000,000.-が予定されており、99年度の予算を上回る。投資予算の 60%は、保健、教育、住宅、基本衛生や農業基盤などの社会部門、30% は道路などの輸送部門、残りの10% は、その他の部門に仕向けられる。2000年度の投資予算では、特に、輸送部門が大幅に増えるが、優先的な投資部門は、引き続き社会分野である。投資金の 50%は、国の自己収入金で賄い、残りの 50%は国際協力機関などのソフト融資を仰ぐことになる。
- ⑦ 大蔵省の予算・会計次官によると、2000年度の予算は、石油公社などの民営化もあり、99年度に比して、約 15%の削減が行われる可能性もある。石油公社からの収入は、年間約 Bs. 4,000,000,000.-であったが、この収入が無くなる代わりに、石油公社の支出予算も無くなる。但し、全体予算は、99年度のレベルを保つように検討している由。
- ⑧ 9 月末までの財政赤字と国内融資は、国際通貨基金との約束通りに達成されてい

る。収入の部は、特に税収部門の不振もあって、予算額の約20%減になることより、支出の部も、それに合わせて調整し、国際通貨基金と約束した目標を達成するとしている。県庁に対する地方還元税、石油製品特別税や県補償基金などの予算も削減され、振り込みに少々の遅れが生じたこともあるが、予定どおりに実施されており、支出予算の上限を可なり下回ることも予想されるが、基準である一般経費15%、投資85%の配分は、守られるであろうとしている。2000年度の予算は、財政引締め予算になる。99年度の財政赤字は、当初3.9%に設定し、その後4.1%に増やされたが、2000年度は3.7%に設定し、特に、税収に由来する国庫収入金は優先分野に優先的に割当てられ、重要ではない分野は、予算が削減されることになる。

⑨ 国税局は、99年度の国内税収の目標額を達成することはできず、その85.49%に止まるであろう。国税局は、かなりの努力を払ったが、目標額が可なり過大に設定されたこともあり、目標額を達成することは不可能であるとしている。本年度は、10月末までにBs. 4,972,000,000.-を徴収したが、これは98年10月末の徴収額に比べて2.29%減になっている一方、本年度10月末の目標額に比べて15%減になっている。税収の不振については、様々な原因が考えられるが、その一つとして、昨年の8月から10月にかけて、密輸改造車の特赦通関が行われた結果、昨年の税収が、一時的ではあるが飛躍的に伸び、その実績が、本年度の目標額に反映されたが、今年は、そのような処置は取られなかったことより、徴収額も低減した。別の原因として、国際的な経済危機が、今年の半ば頃から当国経済に影響し、国内の経済が減速して、多くの産業分野が収縮し、それが税収額に反映されているとしている。

⑩ 大蔵省の公共投資・国際金融次官によると、2000年度の予算は、貧困対策を強調したものとなる。2000年度の公共投資予算の95%は、社会部門と基盤構造物に割当てられ、現政権の大きな課題である貧困対策が推し進められる。公共投資予算の60%は保健、教育、基本衛生、農村開発などの社会部門、35%は道路などの輸送部門、残りの5%がその他の分野に夫々割当てられ、99年度予算に比して社会部門と輸送部門がアップされることになる。例えば、99年度は、輸送部門の公共投資予算の比率は30%であったが、2000年には35%にアップされる。99年度の公共投資予算は、約6億1,300万ドルであるが、6月末までに予算額の

36% 相当の 2億 2,200万ドルしか消化されていない。然し、公共投資は、下半期から活発になることより、99年度の目標は、達成されるであろうとしている。公共投資の約3分の2は、自治体政府、県庁、及び協調融資を行う社会投資基金や開発基金で実施され、残りの3分の1は、中央政府で実施されている。

- ⑪ 経済開発大臣は、経済危機に伴う過去数ヶ月の経済成長率を踏まえると、99年度の経済成長率は、1.5%に止まるであろうとしている。当初の目標率 5.2% に比べると、大幅に後退しているが、他の近隣諸国のマイナス成長を見た場合、1.5%の成長率も大きな意味を持つとしている。2000年度からは、経済状況も好転し4%台の経済成長率が期待されるとしている。
- ⑫ 国際通貨基金によると、99年度の経済成長率は（PIB の）2.5%に達するであろうとしている。バンセル大統領とその閣僚が行った予測は、75-80% 程度の産業部門しか対象にしていないが、来年初めに全ての数字が出揃い、特に農業分野の数値が出てくると、1.5%を超えて2.5%程度になると予想している。現に、三次産業のサービス部門は、上半期に 2.9% の成長率を記録しているし、セメント業界は 17%の成長率を記録しており、下半期も 10%以上の成長率が期待されるとしている。国際市場の於ける原料価格の低迷により、マイナス成長率を記録するであろう鉱業部門と石油部門を除き、他の産業部門は、全てプラスの成長率を記録するであろうとしている。2000年度には、サンタクルス〜クイアバ間ガスパイプライン建設やサンクリストーバル銀山の開発などに、国内総生産（PIB）の20% 相当の国際民間資本の直接投資が行われること、更に、東南アジアやブラジル、チリ、アルゼンチンなどの近隣諸国の経済も好転し、世界の経済が回復すると予測されることより、2000年度のボリヴィアの経済成長率は、4.5%を超える可能性があるとしている。

密輸改造車の特赦通関が施行されたが、この特赦通関は、関税法を犯すことより、これを最後に今後は絶対に行ってはならず、関税法を遵守しなければならないと、国際通貨基金のボリヴィア事務所代表は警告した。

- ⑬ 前記の⑪と⑫に対し、今年の経済成長率 1.5~2%は、基本的には、外国系の企業や民営化された企業の直接投資でもたらされた成果であり、この成長率は、外国

系企業や民営化企業を潤すのみで、国内経済は、相変わらず停滞しており、国民には何ら益しないのみか、日毎に深刻な生活苦をもたらしていると、経済筋は反論している。これにつき、予算・会計次官は、上半期には1.5%の経済成長率であったが、下半期には回復し、1.5%~2%の成長率は達成されるであろうとしている。確かに、1.5%の経済成長率は、98年度以前に比べると低いが、経済危機の影響を考えると、南米でプラスの成長を遂げている国はペルーとボリビアだけであり、その面から見ると、好成績を収めていると言える。国際通貨基金との最後の合意では、経済成長率2%、インフレ率3.5%、財政赤字4.1%が設定された由。

- ⑭ 第一次及び第二次重債務最貧国プログラム(HIPC-I/II)で、ボリビアは、将来10年から20年の間に、計25億ドルの債務の棒引きを受けるであろうと、国際通貨基金ボリビア事務所代表は語った。この棒引きは、現行価格で13億ドル、名目価格で約25億ドルに達するが、国際通貨基金と世銀は既に確約しており、後はBIDやCAFなどの国際協力機関や、G7諸国の確約を待つことになる。棒引きされた資金は、貧困対策に仕向けられることになるが、このために、政府は、市民社会、カトリック教会、中央労働連盟や農民組合連盟などと、来年の初めから話し合い、貧困対策の戦略を打ち立てなければならない。

### 1999年12月

- ① 政府は、2000年度の予算、特に賃金アップについて、中央労働連盟から猛烈な非難を受けているが、これに対し、副大統領は、『国の予算は、手持ち資金の可能性にもとづいて作成すべきものであり、常に反対ばかりしている一部の階層の希望に従って、作成する訳にはいかない』と反論した。
- ② 国際協力機関との約束を履行して、貧困対策を促すために、2000年度の公共投資予算は、大幅にアップするであろうとしている。このために、税収は、99年に比して15%前後の増収を予定している。税収が増えれば、その分、地方の公共投資用資金も潤うことになるので、国税局と関税局の活躍に期待すると、大蔵大



臣は述べた。 2000年の主なマクロ経済指数の目標は、経済成長率 4~5%、インフレ率4.5%、財政赤字は 3.5% に夫々設定された。

- ③ 2000年度国家予算案は、本日(12月 7日)国会に提出された。 予算が2000年の1月 1日から実施されるよう、国会は、12月中に承認しなければならない。 予算案によると、確定予算は、99年度と同程度のBs. 24,065,280,000,000.-、暫定予算は、99年度よりも Bs. 5,000,000,000.-少ない Bs. 31,437,000,000.- に夫々設定されたが、これは、現政権の財政引締め政策に従うものである。 暫定予算は、或る機関には収入を意味するが、他の機関には支出を意味し、その収入と支出がダブルで計上されることより、確定予算よりも膨らむことになる。 確定予算は、様々な機関の間で振替える国の純資金を意味する。 確定予算の一般収入約 Bs. 15,600,000,000,000.-は、主として、民営化、税収、資産売却などで構成されている。 資本収入は Bs. 1,349,500,000,000.-であるが、その内の Bs. 514,130,000,000.-は、外国からの無償資金協力と、Bs. 7,116,000,000,000.-の国際/国内融資が予定されている。 これらの収入資金は、一般支出 Bs. 14,544,550,000,000.-、資本支出 Bs. 4,824,750,000,000.-、及び債務返済資金 Bs. 4,696,000,000,000.-に夫々仕向けられる。 一般支出の中の給料・賃金項目は、特に、教育部門、保健部門、軍隊や国家警察の公共使用人の自然増員や99年度のインフレ率などを考慮し、2.5%アップの Bs. 295,000,000,000.-を増額した。 即ち、賃金アップは、基本的には行われず、99年度のインフレ率約 3%の一部を払い戻すものと、理解しなければならない。 給料改定については、2000年の1月から交渉されることになる。 財政赤字は、国内総生産 (PIB)の3.7%の Bs. 2,030,000,000,000.-が予定されているが、赤字分は、国際融資 Bs. 1,305,000,000,000.-、及び国内融資 Bs. 725,000,000,000.-で賄われる。 経済成長率は、ブラジル経済の小康とアジア経済の回復が見られることより、ボリヴィアの主な輸出品である原料価格の上昇を見越して、4~4.5%に設定、インフレ率も 4~4.5%、通貨換算率は、平均で Bs. 6.15/US\$、関税の増収率 21.8%、国内税の増収率 9.9% が設定されたが、空路で出国の際の空港使用料を、現在のUS\$, 20.-から US\$, 25.-に増額することになった。 これらのマクロ経済指数は、既に国際通貨基金と暫定的な合意に至っている。

2000年度の予算では、公共投資が優先され、99年度の Bs. 3,500,000,000,000.-の8%増の Bs. 3,772,000,000,000.-に設定された。 中でも、特に教育、保健、基本衛生

などの社会部門への投資は、教育分野に Bs. 560,000,000.-、保健分野には Bs. 409,000,000.-、都市計画・住宅分野に 315,000,000.-が夫々投資され。公共投資総額の 48%の Bs. 1,818,000,000.-に達する。これに、生産部門ではあるが、農村開発に直接繋がっている農業分野への投資予算額 Bs. 392,000,000.-も社会社会部門と見なすと、社会部門の投資予算は、約 59%に達する。輸送、電力、通信、水資源などの基本構造物部門は、32.%相当の Bs. 1,218,000,000.-になっている。公共投資を各県別にみると、サンタクルス、コチャバンバ、ラパスへの配分が大きい。特に、サンタクルスには、ABAPO-CAMIRI間道路の建設資金に Bs. 729,200,000.-、PAILON-SAN JOSE 間道路建設に Bs. 621,300,000.-が予定されている。(以上については、参考資料-VII:表-60~64を参照)。

各県の全地方自治体政府に割当てられる大衆参加資金(共同配分)は、チュキサカ県 Bs. 87,357,038.-、ラパス県 Bs. 365,939,066.-、コチャバンバ県 Bs. 213,939,514.-、オルロ県 Bs. 65,478,701.-、ポトシ県 Bs. 124,346,461.-、タリハ県 Bs. 56,101,635.-、サンタクルス県 Bs. 262,671,986.-、ベニ県 Bs. 53,168,982.-、及びパンド県 Bs. 7,329,615.-となっている。国立の大学は、全体で Bs. 309,032,500.00 の大衆参加配分金を受けるが、他にも補助金として Bs. 315,000,000.- を受けるので、総額は、約 Bs. 624,000,000.-に達する。注目されることは、公共投資予算額 6億ドル強は、現在の公共投資の需要からすれば少なすぎるが、これは、99年度に棒引きされた対外債務額約 8億ドルが計上されていないことによるものであり、政府は、本当に本腰をいれて、貧困対策を行っているのかとの批判の声も上がっている。これに対し、政府は、重債務最貧国プログラム(HIPC)で、8月末までに、43億 9,100万ドルの棒引きを受けたが、第2次プログラム(HIPC-II)の交渉は、来年の半ばに行われることより、未だ2000年度の予算には含めていないと表明した。

- ④ 輸出会議所によると、ボリヴィアは、年間に10億ドルから13億ドルの輸出で外貨を稼いでいるが、労働力を吸収し、経済規模を拡大して、貧困対策に立ち向かうためには、2010年には、100億ドルの輸出を行わねばならない。これは、毎年19%の輸出成長率を維持し、毎年約10億ドルの輸出増を行って行かねばならないことを意味するが、現在の経済成長率では、それを達成することは、不可能であるとしている。

経済専門筋によると、2000年度の経済成長目標率 4.5% の達成は、外国資本の直接投資にかかっている。99年度の外国資本の投資は 8億ドル、国内資本の投資は 1億 5,000万ドル、及び公共投資は 4億ドル程度に収まっており、これに対して、経済成長率は 2% が予測されているが、2000年度に4.5%の経済成長率を達成するとなると、少なくとも、現在の投資額を倍増しなければならないが、予算には、その気配が全く見られないとしている。

- ⑤ 国際通貨基金のポリヴィア事務所代表によると、2000年度のマクロ経済指数として、政府は、経済成長率を4.5%~5%、財政赤字を 3.7% に設定しているが、これらの数値は、経済構造改革プログラムと重債務最貧国 (HIPC) の対外債務軽減プログラムの枠内で、政府と国際通貨基金が合意した数値であり、2000年の後半には、経済も回復し 5% の経済成長が見込まれることより、これらの数値は現実的である。更に、3.7%の財政赤字を設定しているが、これは、年金システム改革プログラムで、政府は、96年に 7,000万ドルを費やしていたが、2000年には 4億ドルを費やしなければならず、財政赤字が 3億 3,000万ドルに増えることも現実的であるとしている。政府の財政赤字の殆どは、年金システム改革プログラムに由来していることより、これをカバーするために、他の分野の予算をカットして、引締めた国家予算にしているが、それでも賸いきれないので、友好諸国や国際協力機関からソフト融資を仰ぐ必要があるとしている。
- ⑥ 重債務最貧国 (HIPC) の対外債務軽減プログラムで得た棒引き資金の一部は、社会部門の一般経費、即ち、教育や保健分野のワクチン、薬品、感染症予防対策、教育改革普及教員のサラリー、新規採用教員のサラリー、文房具などに仕向けられる。8億ドルの借金が棒引きされたと報道しているが、これは、名目的な金額であり、実際には 7億 5,000万ドルである。この金額は、社会部門に 1年間で投資される性格のものではなく、数年に渡って投資されるものである。7億 5,000 万ドルの内の 8,400万ドルが、2000年度の公共投資予算約 6億ドルの一部をなしている。即ち、2000年度の公共投資予算約 6億ドルの 70%は、投資に回され、30% は投資に於ける一般経費を賸うことになっている。第一回目の債務軽減協定は、1998年に、現行価格 4億 5,000万ドルで行われたが、その後、パリクラブ債権国会議で、7億 5,000万ドルの軽減が約束された。1998年度の債務軽減協定は、9月に 2,200万ドルで行われ、同年度第4四半期に使われた。

1999年度の軽減額は、約 7,000万ドルであるが、これも同年度の予算で使われた。2000年度の軽減額は、8,400万ドル前後であり、これは、2000年度の予算に編入されている。

- ⑦ 輸出会議所は、2000年度の予算は、過剰な公務員の人員カットを十分に行っておらず、浪費の多い予算になっていると非難した。4.5%の経済成長率は、極めて楽観的な数値であるが、この成長率を達成するためには、様々な産業分野に奨励策を施すと共に、輸出産物に競争力をつけるために、付加価値税（IVA）を免除し、国内外からの民間投資を奨励し、且つ輸出産物の潜在力や競争力を開発するために、資本金の輸入に対する確定関税（GAC）を免除する必要があるとしている。
- ⑧ 企業家連盟は、政府公務員の人数を減らすと共に、業務の能率化を計るよう要求した。2000年度の予算では、公務員法にもとづいて、12%の人員カットが予定されている。下院議会の財務委員長によると、2000年度の国家予算案では、賃借、コンサルタント業務、営業費、水道・電熱・電話料金などを含む、予算項目 200.00 “人件費外サービス”の予算が、1999年に比して50%の削減され、旅費、燃料費、文房具代などを含む、予算項目 300.00 “資材・補給品”の予算が20%削減される一方、給料・賃金を対象にした予算項目 100.00 “人件費”は、1999年に比して、2%増やしているが、この人件費項目で、14省の職員の12%の人員カットが予定されている。人員カットは、解雇6%、定年退職3%、任意退職3%の割合で行われる。カットされた分に対する新規採用は行われない。企業家連盟などの民間部門は、無駄な公共使用人を減らして、効率的な政府の運営と出費の節約を行うよう要求していることより、これらの予算カットは、絶対に行うべきであるとしている。
- ⑨ 貧困対策用の資金が眠っているのは正しくない、県庁と自治体政府は、貧困対策事業の実施で落第していることより、今後は、より厳しい管理を行うと、大蔵省の公共投資・国際金融次官は述べた。中央政府、県庁、地方自治体の全ては、貧困対策事業の実施に努力しなければならないが、貧困対策のための公共投資資金が眠ったままの状態にある場合が見られるが、悪いことには、その資金が、別の予算項目に流用されている場合も多々ある。今後、貧困対策用の公共投資用資金を不正に使用する公務員や当局者は、法的に厳しく罰するとしている。

9 県の当局者や県民は、2000年度の公共投資予算を 100% 実施すべく、努力しなければならない。99年度第3四半期の公共投資実施率は、57%程度であることより、年末までの実施率は、85%程度に止まるであろうが、各県庁や各地方自治体は、公共投資の予算を、少しでも多く取るべく、奪い合いを行う反面、実際には、予算の半分程度しか実施しないところもある。最も重要なことは、予算を奪い合うことではなく、年間 100% の実施率を達成することにある。公共投資・国際金融次官は、公共投資計画の実施状態については、これまで、財務的な監督しか行っていなかったが、2000年度から、は財務的及び物理的（現物的）な監督を行うとしている。

失業者は毎日増え、収入は毎日減っており、経済危機が、国民の大半を脅かしているが、この深刻な状態から脱却するために、各社会層や各地方が、多くの公共投資を要求することは理解できるが、全ての地方を満足させる資金の手持ちはない。政府は、貧困を軽減するために、多くの努力を払っており、現在の貧困の度合いに比べると公共投資予算は、微々たるものではあろうが、2000年度の予算額は 3,772,000,000.- に設定された。この公共投資予算は、49.9% を意味する Bs. 1,883,000,000.- が、国庫、石油製品特別税、地方自治体の共同参加配分金、地方還元税、投資基金や開発基金などの国内資金で賄われ、残りの 50.1% は、外国の援助資金を仰ぐことになるとしている。国庫資金、投資基金や開発基金、及び外国の援助資金を仰ぐ場合、県庁や自治体政府は、現地分担金を用意しなければならないが、2000年度の公共投資予算は、その分も予定して作成されている。公共投資予算の 51.7% は、ラパス、コチャバンバ、サンタクルスの中心地方に割り当てられているが、これは、人口分布からしても止むを得ないことであり、他の県には、外国からの無償援助の比率を増やして行くとしている。

公共投資金の 90% は確保されていることより、県庁や自治体政府は予算の 100% 実施に向かって、努力しなければならない。社会部門には、Bs. 8,181,000,000.- の予算が割り当てられているが、同部門の教育分野には Bs. 560,000,000.- が予定されており、その内、教育・文化省の投資予算は、Bs. 210,000,000.- であり、99年度の予算額 Bs. 154,000,000.- に比べて、36% 増額された。保健分野の普及やサービス業務などを改善するために、本分野の予算は、99年度の倍に近い Bs. 480,000,000.- が予定されており、その内、保健・年金省の予算は、99年度の

Bs. 137,000,000.- に比べて、約 90%増の Bs. 258,000,000.-に設定された。

貧困の重圧に喘いでいる農村部には、保健や教育分野に割当てた予算の他に、灌漑、農村道、上下水道などに、Bs. 107,000,000.- が割当てられている。この他に、道路部門には Bs. 1,218,000,000.-が割当てられているが、これは、2000年度の公共投資予算の 32%を意味する。

- ⑩ 99年の 5月に発令された法令第1981号で、石油製品特別税の徴収額の 25%は、還元税の名目で、全県に配分されることになった。これにより、全県庁は、石油製品特別税、地方還元税及び県補償基金の名目で、99年度に Bs. 617,000,000.-の予算を受け取る。2000年度の予算では、これらの名目で Bs. 783,000,000.-を受け取ることより、Bs. 165,000,000.-の増額となる。2000年度の石油製品特別税の配分額は、22% アップする。石油の産出県に対する地方還元税は、16%の増額になる一方、県補償基金は、99年度は Bs. 87,000,000.-であったが、2000年度にはBs.970,000,000.-が予定されている。
- ⑪ 国際的な経済危機に影響され、当国の輸出原料、特に、鉱業分野と農業分野の原料価格が下落し、国の経済成長率は、1%に達するのがやっとなり、政府が支持している 1.5%の成長率は、不可能であることが、ほぼ確実となった。原因は、97年のアジア経済の危機に端を発して、98年10月に、ロシア経済が不況に陥り、更に、99年 1月にはブラジル通貨のレアールの切下げなどで、近隣諸国の経済に不調を来し、ボリヴィアも輸出産物の価格が下落すると共に、輸出量が激減したることによるとしている。
- ⑫ FNDR（地方開発基金）は、2000年度に、全国 9県に 5,000万ドル以上の協調融資を予定している。
- 密輸盗難車の特赦通関で、関税局は、確定関税(GAC)、付加価値税(VA)、及び特別消費税(ICE)の名目で Bs. 193,059,000.-の税収を得た。
- 石油製品特別税(IEHD)の増収分 6,800万Bs. と、予算項目カット分で 9県庁の予算が Bs. 73,000,000.- 増えたが、その内の Bs. 54,000,000.- は、公共投資に回される。給料・賃金の予算項目の増額は 2.5% に設定された。
- 98年度に、ボリヴィアは 4.6%の経済成長率を記録したが、99年度は 1%程度であろうと、ラ米・カリブ諸国経済委員会(CEPAL)は発表した。

- ⑬ 下院議会が2000年度の予算案を承認したが、確定予算は Bs. 24,065,000,000.-、暫定予算は Bs. 31,437,000,000.- に、夫々設定された。更に下院議会は LEY MARCO DE ADMINISTRACION PRESUPUESTARIA (予算管理基準法) を承認した。これは、これまでの予算法案は、35項目以上で成り立っていたが、30項目近くは、毎年繰り返される条項であることより、それを予算管理基準法に纏め、毎年変わる残りの5-6項目と、予算の明細を予算法案として、提出することを規定するものであり、2001年度の予算法案から適用される。
- ⑭ 経済危機に対応した引締め予算が、今朝(12月17日)国会で承認された。確定予算約 24,000,000,000.- は、そのまま承認された。給料・賃金項目の増額2.5%、財政赤字3.7%、インフレ率4.5%も、そのまま国会を通過した。野党議員は、経済成長率4.5%は、達成不可能な数値であり、国際通貨基金の要求に屈したものであると、反対している。2000年度の予算の特徴は、地方規模の公共投資予算の増額、大学の予算の増額と、一般経費の減額である。国家機構は縮小に向かっており、公共部門には職員が余っているが、与党に属することを理由に、公共機関に居座り、国を食い物にしている公共使用人は、別の仕事を探さなければならないとしている。特に、私腹を肥やすために、税関や国税局に居座り続けている職員は、早急に解雇すべきであるとのこと。
- ⑮ 野党のMNR(国民革命党)は、与党が承認した2000年度予算法は、政府の偽りと独断で偽装されていると非難している。政府は、貧困対策を声だかに叫んでいるが、2000年度の予算法には、それが反映されていないのみか、予算には、資金的な裏付けもない。例えば、99年度税収の予算は Bs. 7,749,000,000.-であったが、国税局も関税局も目標を達成できずに、かなりの減収になっているが、驚くことには、2000年度の税収予算額を Bs. 8,731,000,000.-に設定していることは、非常に無責任であり、国民を騙しているとしている。予算法案の作成と承認は、政府と与党の独断で行われており、国会に於ける審議は、無かったに等しい、資金の裏付けもないのに、各県や地方に、非現実的な予算を振り分けるから、予算が100%実施されないのは、火を見るよりも明らかであるとしている。他方、国立統計局は、99年度のインフレ率は1.8%程度に落ち着くとしているが、政府は、給料・賃金の予算項目を2.5%増額した。現実的に見て、99年度のインフレ率は5%を上回るが、インフレ率と給料・賃金のアップに、全く関連性がなく、無責任であるとしている。

企業家連盟： 国の経済は、深刻な状態にある。 経済の安定は、確かに重要であるが、99年度の経済成長率 1% は、人口成長率 2.3% 前後に比較すると、何の意味も持っていない。 99年度の経済成長率は、5.2% に設定され、それが、現実では 1.%であるが、他の近隣諸国のマイナス成長率に比べて、ボリヴィアは好成績を収めたと言うのは欺瞞であると、企業家連盟は発表した。 企業家連盟 (CEPB)によると、国の経済は、企業活動の縮小、失業の増加、流通の停滞、資金流動の停止、金融システムに於ける支払い遅延、経済のより大きな非正規化（アングラ経済）が進んでおり、国の経済危機は、2000年には更に顕著になるであろうとしている。

工業会議所： 政府は、民間投資と公共投資の目標に従って、経済成長率を4.5% に設定したが、この目標を達成するためには、民間部門は、現在の原料輸出から付加価値を付けた輸出を行って、国際市場の原料価格に左右されない安定した外貨獲得を行うために、投資に努力しなければならないし、工業の近代化を行わなければならないが、工業の近代化が極めて短期間でできる訳はなく、政府が述べるように、世界や近隣諸国の市場が回復したとしても、2000年度の経済成長率は、精々3%程度であろうと指摘した。 年間 3% の成長率では、ボリヴィアは、実現性のない成長不可能な国になるとしている。

経済専門筋： 実際に 4.5% の経済成長率を達成するには、1997~1998年と同じ水準で、年間に最低 6億ドルから 8億ドルの投資を行わなければ、達成は不可能である。

⑯ 大統領は、国会で承認された2000年度の予算法を、12月23日に発令した。 確定予算は、Bs. 24,065,280,595.00 であるが、12月中に発令されたことより、全ての公共機関は、2000年の 1月 1日から、特に公共投資の予算を実施しなければならないとしている。 2000年度の目標は、国家収入を増やし、一般支出を節約して、公共投資を増やすことである。 更に、1999年度の成果は、インフレ率を3%程度に押さえ、マクロ経済の安定が達成され、好ましい経済状態を保っている。

⑰ 商工会議所： 政府は、ボリヴィアは好ましい経済状態を保っていると言っているが、ボリヴィアの経済状態は、どう見ても好ましくはないと、商工会議所は、



反論を交わしている。失業者が増えていることと、賃金の購買力が下がったことは、国内各都市を見れば一目瞭然であるが、経済の減速、不況や経済政策の不調整は、正に経済危機の代名詞であるとしている。政府は、2000年度の経済成長率を4.5%に設定したが、1999年度のそれは、どう見ても2.2%を超えることはなく、且つ2000年度の経済は、下半期から漸く回復すると見られていることより、4.5%の成長率は、達成不可能な数値であるとしている。

経済専門筋 (CEDLA) : 1999年度の鉱業部門は、国際相場の下落などで、成長率はマイナス(-)19%であり、2000年度には、更に-2.7%のマイナス成長が予想される一方、農業部門も引き続き低迷して-0.6%のマイナス成長になると見られることより、石油部門の成長率を5.6%に予定しても、2000年度の経済成長率は、精々2.5%~3%が予想されることより、政府が設定した4.5%は、余りにも楽観視し過ぎていると非難した。

他の経済専門筋 : 政府は、国際通貨基金との合意で、2000年度の経済成長率を4%以上に設定したが、鉱業部門、農業部門、及びその他の原料生産部門の現状を見ると、世界市場が早急に回復する兆候はないことより、国のこれら部門の回復も緩慢であるとするべきである一方、1999年度末の大豆、トウモロコシ、米やヒマワリなどの夏季栽培面積は、1998年度の同季に比べて、17%の減反になっていることもあり、2000年度に、経済成長率を4%達成することは、不可能であるとしている。

- ⑱ 1998年の国民平均所得は854.60ドルであったが、1999年は841.8ドルであり、13ドルの所得減となった。1999年度の経済成長率は1%以下であるが、2.5~3%の人口成長率と比較すると、3%以上の経済成長率を保たなければ、貧困問題は、更に深刻化して行くとされている。所得層で見ると、全国民数の3分の1が年間198ドル以下の収入、3分の1が441ドル以下、残りの3分の1が平均1,791ドルであり、収入の格差が日増しに増えている。現在、ボリヴィア国民の約70%は、貧困に喘いでいる。
- ⑲ 政府は、1999年度の予算で経済成長率を、国際通貨基金と合意の上で、5.2%に設定し、経済不況が当国を最も襲った年半ばに、目標率を2.5%に半減した。

他方、国立統計局は、第1四半期の経済成長率は2.2%であることを確認し、その時点で、年間成長率を1.5%に予測したが、現実はもっと厳しく、国立統計局の最後の数値によると、1999年の成長率は僅か0.85%である由。その主な原因は、農業部門-2%、鉱業部門-16%、石油部門-8%、建設部門-5%のマイナス成長にあり、工業部門が、僅か2.6%のプラス成長に止まったことによる。国内には失業者が溢れ、現在では、国民の70%が貧困に喘いでいるとしている。

- ㊸ 推定31,000台の密輸改造車の特赦通関は、国庫に、約4,100万ドルの追加収入をもたらす予定である。特赦通関は、2月15日に終わり、それ以降は、不法車は没収の上、競売に付されることになる。12月には、公務員の給料と年末手当での支払いの他に、公共投資金の払い込みと、対外公共債務返済金約Bs. 1,000万の支出で、国庫は空になり、2000年の予算は、1月から準備金ゼロでスタートする。但し、密輸改造車の特赦通関で追加収入を得ることより、この資金を、特に1月の人件費予算に当てて、難関を越える予定である。1999年には、かなりの額の借金の棒引きを受けたが、国庫は、それでも年間に約7億ドルの金額を返済しなければならず、重圧に苦しんでいる。
- ㊸ 国税局の1999年度の税金徴収目標額は、当初はBs. 7,749,000,000.-に設定され、後半になってBs. 6,886,000,000.-に見直されたが、最終的には15%減、即ち、約Bs. 915,000,000.-減額のBs. 5,934,000,000.-程度で終わる予定である。2000年度の予算で課された増収目標率9.9%は、かなり高めに設定されており、達成は困難であると、国税局長は表明した。
- ㊸ 1999年度の政府の一大成果は、国の経済安定を保ったことにあると、政府側は表明しているが、この安定は大きな社会犠牲、即ち、貧困の増大を招いたことも認めている。然るに、国の経済安定は、大きな社会負担の上に成り立っているが、政府は、貧困問題について真剣に取り組んでいないと、労働組合連盟やカトリック教会などから非難を受けている。2000年には、労働問題、失業問題、貧困問題などに関する社会紛争が多発することが、予測されてる。

2000年には、新納税改革法が発令され、納税者層を広げると共に、1999年に行われた関税局の再編成と同じ処置が国税局に施される予定である。

エネルギー、電気通信、石油、鉱業部門は、2000年に大きな回復を示し、農業、畜産、農産加工や鉱業部門は、1999年度よりも順調に展開し、最終的に、国の経済成長率は4.5%に達するであろうと、経済開発大臣は表明しているが、或る経済専門筋は、脆弱で不景気なボリビア経済は、2000年度の上半期には、未だ国際危機の影響から脱しきれず、下半期に漸く回復して行くものと予想されることより、4.5%の経済成長率は達成できないであろうとしている。

## 参考文献

### 法令

- Ley No. 1615 Constitucion Politica del Estado, 6/Feb/95 (国家宪法、95年2月6日)
- Ley No. 696 Ley Organica de Municipalidades, 19/Dic/84  
(法令第969号:地方自治体組織法、84年12月19日)
- Ley No. 843 Reforma Tributaria, 20/May/86 (法令第843号:納稅改革法、86年5月20日)
- Ley No. 1178 Administracion y Control Gubernamental, 23/Jul/90  
(法令第1178号:政府管理監督法、90年7月20日)
- Ley No. 1297 Regimen Impositivo Minero, 27/Nov/91(法令第1297号:鑛山稅制、91年11月27日)
- Ley No. 1314 Modificaciones Impuestos IVA, RC-IVA E IT, 27/Feb/92  
(法令第1314号:付加價稅、付加價稅補足稅、取引稅の改定、92年2月27日)
- Ley No. 1330 Ley de Privatizacion, 24/Abr/92 (法令第1330号:民营化法、92年4月25日)
- Ley No. 1340 Codigo Tributario, 28/May/92 (法令第1340号:納稅法、92年5月28日)
- Ley No. 1489 Desarrollo Impositivo de las Exportaciones, 16/Abr/93  
(法令第1489号:輸出稅制、93年4月16日)
- Ley No. 1493 Ley de Ministerios del Poder Ejecutivo, 17/Sep/93  
(法令第1493号:行政權省庁法、93年9月17日)
- Ley No. 1551 Participacion Popular, 20/Abr/94 (法令第1551号:大眾參加法、94年4月20日)
- Ley No. 1534 Regalia Minima Minera, 24/Feb/94 (法令第1534号:鑛山最低還元稅制、94年2月24日)
- Ley No. 1565 Reforma Educativa, 7/Jul/94 (法令第1565号:教育改革法、94年7月7日)
- Ley No. 1606 Modificatociones de la Ley 843 22/Dic/94  
(法令第1606号:納稅改革修正法、94年12月22日)
- Ley No. 1654 Descentralizacion Administrativa, 28/Jul/95  
(法令第1654号:行政地方分權化法、95年7月28日)
- Ley No. 1669 Secciones de Provincias, 31/Oct/95 (法令第1669号:郡行政区、95年10月31日)
- Ley No. 1670 Ley de Banco Central de Bolivia, 31/Oct/95  
(法令第1670号:中央銀行法、95年10月31日)
- Ley No. 1689 Ley de Hidrocarburos, 30/Abr/96 (法令第1689号:石油法、96年4月30日)
- Ley No. 1700 Ley Forestal, 12/Jul/96 (法令第1700号:森林法、96年7月12日)
- Ley No. 1702: Modificaciones de la Ley de Participacion Popular No.1551,  
17/Jul/96 (法令第1702号:大眾參加法修正法、96年7月17日)
- Ley Electoral, 1997 (選舉法、1997年編纂)

- Ley No. 1777 Código de Minería, 17/Mar/97 (法令第1777号:鉱山法、97年3月17日)
- Ley No. 1788 Ley de Organización del Poder Ejecutivo, 16/Sep/97  
(法令第1788号:行政権組織法、97年9月16日)
- Ley No. 1544 Ley de Capitalización, 21/Mar/94 (法令第1544号:資本強化法、94年3月21日)
- Ley No. 1565 Ley de Reforma Educativa, 7/Jul/94 (法令第1565号:教育改革法、94年7月7日)
- Ley No. 1819 Presupuesto Adicional Agregado Gestión 1997, 22/Dic/97  
(法令第1819号:1997年度補正予算、97年12月22日)
- Ley No. 1826 Presupuesto General de la Nación 1998, 20/Feb/98  
(法令第1826号:1998年度予算法、98年2月20日)
- Ley No. 1837 Crease Segunda Sección de Prov. Warnes, 6/Abr/98  
(法令第1837号:ワルネス郡第2行政区(オキナワ-II)制定、98年4月6日)
- Ley No. 1908 Modificación Presupuestaria 1998, 23/Nov/98  
(法令第1908号:1998年度補正予算、98年11月23日)
- Ley No. 1928 Presupuesto General de la Nación 1999, 17/Dic/98,  
(法令第1928号:1999年度予算法、98年12月17日)
- Ley No. 1990 Ley General de Aduanas, 28/Jul/99 (法令第1990号:関税法、99年7月28日)
- Ley No. 2016 Modificación Presupuestaria 1999, 24/Sep/99  
(法令第2016号:1999年度補正予算、99年9月24日)
- Ley No. 2027 Estatuto de Funcionario Público, 27/Oct/99  
(法令第2027号:公務員規程法、99年10月27日)
- Ley No. 2028 Ley de Municipalidades, 28/Oct/99 (法令第2028号:自治体政府法、99年10月28日)
- Ley No. 2047 Modificación Reforma Tributaria, 28/Ene/2000,  
(法令第2047号:納税改革法修正、2000年1月28日)

## 政 令

- Decreto No. 21060 Reforma de Régimen Económico, 29/Agos/85  
(政令第21060号:経済制度改革令、85年8月29日)
- Decreto No. 23813 Reglamento de la Ley de Participación Popular, 20/Jun/94  
(政令第23813号:大衆参加法細則、94年6月30日)
- Decreto No. 23858 Organizaciones Territoriales de Base, 9/Sep/94  
(政令第23858号:地域基礎組織、94年9月9日)
- Decreto No. 23866 Mancomunidades, 22/Sep/94 (政令第23866号:自治体連合体、94年9月22日)

- Decreto No. 23943 Secciones Receptoras de Coparticipacion Tributaria,  
21/Ene/95 (政令第23943号:共同参加配分金を受ける行政区、95年2月21日)
- Decreto No. 23944 Tratamiento Impositivo de la Exportacion, 30/Ene/95  
(政令第23944号:輸出税の処理、95年1月30日)
- Decreto No. 23949 Organo de Participacion Popular, 1/Feb/95  
(政令第23949号:教育部門大衆参加組織、95年2月1日)
- Decreto No. 24037 Reglamento Servicio de Relaciones Exteriores, 27/Jul/95  
(政令第24037号:外交業務規定、95年7月27日)
- Decreto No. 24182 Decreto Complementario Ley de Descentralizacion  
Administrativa, 12/Dic/95 (政令第24182号:行政地方分権化法補足令、95年12月12日)
- Decreto No. 24202 Receptores de Coparticipacion Tributaria, 23/Dic/95  
(政令第24202号:共同参加配分金を受ける地方自治体、95年12月23日)
- Decreto No. 24204 Reglamento del Impuesto a la Propiedad de Bienes  
Inmuebles, 23/Dic/95 (政令第24204号:不動産所有税細則、95年12月23日)
- Decreto No. 24205 Reglamento de Impuesto a la propiedad de Vehiculos  
Automotores, 23/Dic/95 (政令第24205号:車両所有税細則、95年12月23日)
- Decreto No. 24206 Reglamento Ley de Descentralizacion Administrativa,  
29/Dic/95 (政令第24206号:行政地方分権化法細則、95年12月29日)
- Decreto No. 24268 Mancomunidades, 18/Abr/96 (政令第24268号:自治体連合体、96年4月18日)
- Decreto No. 24299 Regula el Regimen Impositivo Minero, 20/May/96  
(政令第24299号:鉱山税制の規定、96年5月20日)
- Decreto No. 24301 Patentes Mineros, 22/May/96 (政令第24301号:鉱山租借料、96年5月22日)
- Decreto No. 24335 Reglamento de la Ley 1689 de Hidrocarburos, 19/Jun/96  
(石油法第1689号細則令第24335号、96年6月19日)
- Decreto No. 24440, Regimen Aduanero de Importacion e Internacion temporal,  
13/Dic/96 (政令第24440号:輸入関税制度、96年12月13日)
- Decreto No. 24447, Decreto Reglamentario, 20/Dic/96  
(政令第24447号:大衆参加・行政地方分権化法細則令、96年12月20日)
- Decreto No. 24463 Regimen Agropecuario Simplificado, 27/Dic/96  
(政令第24463号:農牧業統一税制、96年12月27日)
- Decreto No. 24554 Modificacion U. T. E., 31/Ago/97  
(政令第24554号:石油開発地区の修正、97年8月31日)
- Decreto No. 24595 IVA, IT e IEHD a Cargo de YPF, 6/May/97  
(政令第24595号:石油公社負担のIVA, IT, IEHD、97年5月6日)

- Decreto No. 24596 Reglamentacion Pago de Tributos, 6/May/97  
(政令第24596号:税金徴収規定、97年5月6日)
- Decreto No. 24602 Texto Ordenado Ley No. 843, 6/May/97  
(政令第24602号:納税改革法整理条項、97年5月6日)
- Decreto No. 24776 Ventanilla Unica de Tramites (VUTs), 30/Jul/97  
(政令第24776号:統一手続窓口、97年7月30日)
- Decreto No. 24788 Normas de Privatizacion a Cargo de Consejo Municipal,  
4/Agos/97 (政令第24788号:市議회가担当する市營企業の民營化規定、97年8月4日)
- Decreto No. 24790 Fondo de Control Social, 4/Agos/97  
(政令第24790号:社会管理基金、97年8月4日)
- Decreto No. 24829 Unidad de Asuntos Estrategicos de la Presidencia,  
25/Agos/97 (政令第24829号:大統領府戰略問題室、97年8月25日)
- Decreto No. 24833 Estructura Organica de las Prefecturas de Departamento,  
2/Sep/97 (政令第24833号:県庁組織令、97年9月2日)
- Decreto No. 24855 Reglamento a la Ley de Organizacion del Poder Ejecutivo,  
23/Sep/97 (政令第24855号:行政権組織法細則、97年9月23日)
- Decreto No. 24879 Unidad de Asuntos Estrategicos de la Presidencia,  
28/Oct/97 (政令第24879号:大統領府戰略問題室、97年10月28日)
- Decreto No. 24886 Unidad de Seguridad Presidencial, 29/Oct/97  
(政令第24886号:大統領安全保障隊、97年10月28日)
- Decreto No. 24938 Modificacion D.S. No. 24855, 8/Ene/98  
(政令第24938号:政令第24855号修正、98年1月8日)
- Decreto No. 24997 Consejos Departamentales, 30/Mar/98  
(政令第24997号:県議會、98年3月30日)
- Decreto No. 25055 Normas Complementarias al D.S. 24855, 23/May/98  
(政令第25055号:政令第24855号行政権組織法細則の修正、98年5月23日)
- Decreto No. 25060 Estructura Organica de las Prefecturas de Departamento,  
2/Jun/98 (政令第25060号:県庁組織令、98年6月2日)
- Decreto No. 25116 Unidad de Asuntos Estrategicos de la Presidencia,  
3/Agos/98 (政令第25116号:政令第24879号、大統領府戰略問題室の一部改定、98年8月3日)
- Decreto No. 25149 Servicio Nacional de Organizacion del Poder Ejecutivo,  
4/Sep/98 (政令第25149号:政府行政組織業務局、98年9月4日)
- Decreto No. 25150 Servicio Nacional de Migracion, 4/Sep/98  
(政令第25150号:移民局、98年9月4日)

- Decreto No. 25151 Servicio Nacional Tecnico de Minas, 4/Sep/98  
(政令第25151号:鉱山技術局、98年9月4日)
- Decreto No. 25152 Servicio Nacional de Patrimonio del Estado, 4/Sep/98  
(政令第25152号:国家資産局、98年9月4日)
- Decreto No. 25153 Servicio Nacional de Telecomunicaciones Rurales  
4/sep/98 (政令第25153号:農村電信局、98年9月4日)
- Decreto No. 25154 Servicio Nacional de Defensa Civil, 4/Sep/98  
(政令第25154号:国民防衛局、98年9月4日)
- Decreto No. 25155 Servicio Nacional de Impuestos Internos, 4/Sep/98  
(政令第25155号:国税局、98年9月4日)
- Decreto No. 25156 Servicio Nacional de Administracion de Personal,  
4/Sep/98 (政令第25156号:人事管理局、98年9月4日)
- Decreto No. 25157 Servicio Nacional de Aduanas, 4/Sep/98  
(政令第25157号:関税局、98年9月4日)
- Decreto No. 25158 Servicio Nacional de Areas Protegidas, 4/Sep/98  
(政令第25158号:保護地域局、98年9月4日)
- Decreto No. 25159 Servicio Nacional de Propiedad Intelectual, 4/Sep/98  
(政令第25159号:知的所有権局、98年9月4日)
- Decreto No. 25160 Servicio Nacional de Registro de Comercio, 4/Sep/98  
(政令第25160号:商業登録局、98年9月4日)
- Decreto No. 25171 Alquiler Establecimiento qescolar, 11/Sep/98  
(政令第25171号:教育施設の賃借料、98年9月11日)
- Decreto No. 25232 Servicio Departamental de Educacion, 27/Nov/98  
(政令第25232号:県教育業務局、98年11月27日)
- Decreto No. 25233 Servicio Departamental de Salud, 27/Nov/98  
(政令第25233号:県保健業務局、98年11月27日)
- Decreto No. 25286 Servicio Departamental de Fortalecimiento Municipal y  
Comunitario, 30/Ene/99 (政令第25286号:県地方自治体・共同体強化業務局、99年1月30日)
- Decreto No. 25287 Servicio Departamental de Gestion Social, 30/Ene/99  
(政令第25287号:県社会管理業務局、99年1月30日)
- Decreto No. 25297 Servicio Departamental Agropecuario, 4/Feb/99  
(政令第25297号:県農業畜産業務局、99年2月4日)
- Decreto No. 25298 Fondo Vial, 10/Feb/99 (政令第25298号:道路基金、99年2月10日)



- Decreto No. 25366 Servicio Departamental de Caminos, 26/Abr/99,  
(政令第25366号: 県道路業務局, 99年4月26日)
- Decreto No. 25437 Ministro Sin Cartera Responsable de la Informacion  
Gubernamental, 21/Jun/99 (政令第25437号: 政府広報担当無任所大臣, 99年6月21日)
- Decreto No. 25471 Decreto Complementario de LOPE, 28/Jul/99  
(政令第25471号: 行政権組織法補足令, 99年7月28日)
- Decreto No. 25660 Modificacion Tasas de IEHD, 28/Ene/2000  
(政令第25660号: 石油製品特別税改定, 2000年1月28日)

### 最高決裁令

- Resolucion Suprema No. 216145 Normas Basicas del Sistema de Administracion  
de Bienes y Servicios, 3/Agos/95 (最高決裁令第216145号: 資産・サービス管理システム基準, 95年8月3日)
- Resolucion Suprema No. 216768 Normas Basicas del Sistema Nacional de  
Inversion Publica, 18/Jun/96 (最高決裁令第216768号: 国家公共投資システム基準, 96年6月18日)
- Resolucion Suprema NO. 216779 Normas Basicas del Sistema Nacional de  
Planificacion, 26/Jul/96 (最高決裁令第216779号: 国家企画システム基準, 96年7月26日)
- Resolucion Suprema No. 217055 Normas Basicas del Sistema de Organizacion  
Administrativa, 20/May/97 (最高決裁令第217055号: 行政組織システム基準, 97年5月20日)
- Resolucion Suprema No. 217095 Normas Basicas del Sistema de Presupuesto,  
4/Jul/97 (最高決裁令第215095号: 予算システム基準, 97年7月4日)
- Resolucion Suprema No. 217964 Normas Basicas del Sistema de Administracion  
de Personal, 23/May/97 (最高決裁令第217064号: 人事管理システム基準, 97年5月23日)
- Resolucion Suprema No. 218040 Normas Basicas del Sistema de Contabilidad  
Gubernamental Integrada, 29/Jul/97 (最高決裁令第218040号: 政府統一経理システム基準, 97年7月29日)
- Resolucion Suprema No. 218041 Normas Basicas del Sistema de Credito  
Publico, 29/Jul/97 (最高決裁令第218041号: 公共債務システム基準, 97年7月29日)
- Resolucion Suprema No. 218056 Normas Basicas del Sistema de Tesoreria del  
Estado, 30/Jul/97 (最高決裁令第218056号: 国庫システム基準, 97年7月30日)

### 省令

- Resolucion No.1021 Lineamiento General para la Elaboracion de Presupuestos  
Institucionales Gestion 2000, 3/Ago/99 (省令第1021号: 2000年度予算案基準書, 99年8月3日)

Compendio de Normas Tributarias, Edicion 1992 (92年刊行納税基準一覽書)  
Compendio de Normas Tributarias, Edicion 1996 (96年刊行納税基準一覽書)  
Compendio de Normas Tributarias, Edicion 1997 (97年刊行納税基準一覽書)  
Guia de Procedimiento Tributario Nos. 1, 2, 4, 5, 6 (納税手順ガイドブック)  
Guia del Contribuyente (納税者ガイドブック)

Participacion Popular: Evaluacion-Aprendizaje de la Ley 1994 - 1997  
Ministerio de Desarrollo Sostenible y Planificacion  
Viceministerio de Parricipacion Popular y Fortalecimiento Municipal  
(大衆参加法の評価・現状把握 1994 - 1997、持続開発企画省、大衆参加・地方自治体強化次官室)

Plan General de Desarrollo Economico y Social 1997 - 2002,  
Presidencia de la Republica (社会経済開発総合計画 1997 - 2000、大統領府)









**JAPÓN**

Asistencia oficial para el Desarrollo

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12